

行政評価報告書

- ◇ 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査結果（政策評価）
- ◇ 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）の達成状況（施策評価）
- ◇ 総合戦略（後期基本計画実施計画）における指標の達成状況（事業評価）



大 竹 市

令和2年（2020年）9月作成

目 次

第1章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査報告書

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査項目	4
4	その他	4
II	アンケート分析	5
A	「一般回答分」について	5
1	総括（全体）分析	5
	（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について	8
	（2）市民自治（問2）について	13
2	属性別分析	14
	（1）性別	14
	（2）年齢	16
	（3）住所	19
	（4）居住年数	20
	（5）今後の居留意向	22
3	「わがまちプラン」中の数値の動き	24
	（1）項目毎の推移	24
	（2）設問毎の推移	24
B	「モニター回答分」について	28
1	総括（全体）分析	28
	（1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について	29
	（2）市民自治（問2）について	31
	（3）一般の回答との比較	31
III	自由記述「幸せ感に関するご意見、ご提案」など	32
1	個別の設問に関する回答（問1）	32
2	市民自治について（問2）	40
3	心配に思っていることと解消する方法（問3）	43
4	大竹市での「イチオシ」（問4）	54
5	幸せを感じる時（問5）	57
IV	資料	
1	アンケート調査用紙（一般用）	61
2	アンケート調査用紙（モニター用）	69

第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況

I 概要	75
1 内容	75
2 数値の見方	75
II 重要業績評価指標（KPI）の達成状況	77
III 指標の達成状況	95



大好き ♡♡♡ おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも

第1章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」 調査報告書

I 調査の概要

1 調査の目的

このアンケートは、市民の誇りや幸せ感を高め、第五次大竹市総合計画「わがまちプラン（平成23年3月策定）」のまちづくりのテーマである「大竹市に住んでよかった」と思えるようなまちづくりに役立てるため、本市の政策評価として平成23年度から実施しています。

また、アンケートは、市民が心配や不安に思っていることを解消することで、市民の幸せ感に関するポイントを上げることを目標に、モニター登録*いただいた市民の皆さんのご協力も得ながら、わがまちプランの計画期間中（平成23年度～令和2年度）に継続して実施します。

モニター登録・・・モニターは当初、前期・後期の5年ずつで考えていましたが、前年比較を続けるにあたっては、10年間同じ方をお願いする方が長い間の動きがわかるため、平成27年度分以降は、原則平成26年度に引き続き、モニターとして協力いただける方にお送りしています
※ 転出等によりモニターから除いている場合があります。
※ モニター用アンケートを送付したのは、181人です。

2 調査の内容

(1) 調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女
(住民基本台帳法に基づく登録者)

(2) 標本数

- ①一般 1,500人
- ②モニター 181人

(3) 抽出方法

- ①一般
地区別層化抽出：1,000人
20歳以上50歳未満から抽出：500人
(いずれも令和2年5月1日現在)
- ②モニター
モニター登録者181人

(4) 調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式

(5) 調査期間

令和2年5月25日(月)～6月8日(月)
(期限後の返信が多数あったため、集計は、6月26日(金)消印分まで実施。)

(6) 有効回答数及び回収率

- ①一般 389件(25.9%)
- ②モニター 133件(73.5%)

(7) 回答者構成

①一般

属性		人数	構成割合
性別	男	182 人	46.7 %
	女	206 人	53.0 %
	無回答	1 人	0.3 %
年齢	18～29 歳	36 人	9.3 %
	30～39 歳	50 人	12.9 %
	40～49 歳	72 人	18.5 %
	50～59 歳	34 人	8.7 %
	60～69 歳	63 人	16.2 %
	70 歳以上	131 人	33.6 %
	無回答	3 人	0.8 %
住所	新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野	137 人	35.2 %
	西栄, 南栄, 東栄, 北栄	58 人	14.9 %
	立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海, 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘	115 人	29.6 %
	阿多田	1 人	0.3 %
	防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷	6 人	1.5 %
	玖波, 玖波町, 湯舟町	63 人	16.2 %
	松ヶ原町	4 人	1.0 %
	栗谷町	4 人	1.0 %
	無回答	1 人	0.3 %
住んで いる 何 年 前 か ら	3 年未満	40 人	10.3 %
	3～10 年	67 人	17.2 %
	11～20 年	58 人	14.9 %
	21～30 年	53 人	13.6 %
	31～40 年	50 人	12.9 %
	41 年以上	115 人	29.6 %
	無回答	6 人	1.5 %
大竹に 住む か こ れ か ら も	ずっと住み続けるつもり	261 人	67.1 %
	当分の間は住むつもり	56 人	14.4 %
	将来的には転居したい	24 人	6.2 %
	近いうちには転居するつもり	7 人	1.8 %
	わからない	37 人	9.5 %
	無回答	4 人	1.0 %

②モニター

属性		人数	構成割合
性別	男	61 人	45.9 %
	女	71 人	53.3 %
	無回答	1 人	0.8 %
年齢	18～29 歳	0 人	0 %
	30～39 歳	8 人	6.0 %
	40～49 歳	16 人	12.0 %
	50～59 歳	15 人	11.3 %
	60～69 歳	21 人	15.8 %
	70 歳以上	72 人	54.1 %
	無回答	1 人	0.8 %
住所	新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野	59 人	44.3 %
	西栄, 南栄, 東栄, 北栄	17 人	12.8 %
	立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海, 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘	37 人	27.8 %
	阿多田	2 人	1.5 %
	防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷	1 人	0.8 %
	玖波, 玖波町, 湯舟町	13 人	9.7 %
	松ヶ原町	0 人	0.0 %
	栗谷町	3 人	2.3 %
無回答	1 人	0.8 %	
住んでいる何年前から	3 年未満	1 人	0.8 %
	3～10 年	12 人	9.0 %
	11～20 年	14 人	10.5 %
	21～30 年	12 人	9.0 %
	31～40 年	20 人	15.1 %
	41 年以上	72 人	54.1 %
	無回答	2 人	1.5 %
大竹に住むか これから	ずっと住み続けるつもり	105 人	78.9 %
	当分の間は住むつもり	16 人	12.0 %
	将来的には転居したい	7 人	5.3 %
	近いうちには転居するつもり	0 人	0.0 %
	わからない	4 人	3.0 %
	無回答	1 人	0.8 %

3 調査項目

(1) 回答者の属性

性別、年齢、住所、大竹市居住年数、今後の居留意向

(2) 大竹市について普段思っていること（問1）

次のわがまちプランの基本目標に関連する項目①～⑤について、それぞれ設定した幸せ感の尺度から、各項目3設問について、回答をいただきました。

※ 一般については、「はい」・「いいえ」の2択及び自由記述。

※ モニターについては、特に1年前と比べてどうかという視点で、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」の5択。

【幸せ感の尺度】

①項目「生活基盤が整ったまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」）

②項目「安全なまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「ありがたい」）

③項目「安心できるまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」）

④項目「心にゆとりを感じるまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」）

⑤項目「大竹を愛する人づくり」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「好きだ」）

(3) 「市民自治」についての考え（問2）

※ 一般、モニターいずれも問1と同様

(4) 普段の生活で心配なことと、その解消方法（問3）

※ 一般のみ自由記述

(5) 大竹市での「イチオシ」について（一般…問4、モニター…問3）

※ 一般、モニターいずれも自由記述

(6) 幸せを感じる時（問5）

※ 一般のみ自由記述

4 その他

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%とならない場合があります。性別や年齢などの基本情報等が未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。また、属性別調査の分類で回答数が少ない場合、傾向等が把握できないため、省略している場合があります。

平成26年度までは、記述時点での状況を回答していただき、実施年度としていましたが、平成27年度からは、前年度を振り返って回答していただくよう変更しています。

Ⅱ アンケート分析

A 「一般回答分」について

1 総括（全体）分析

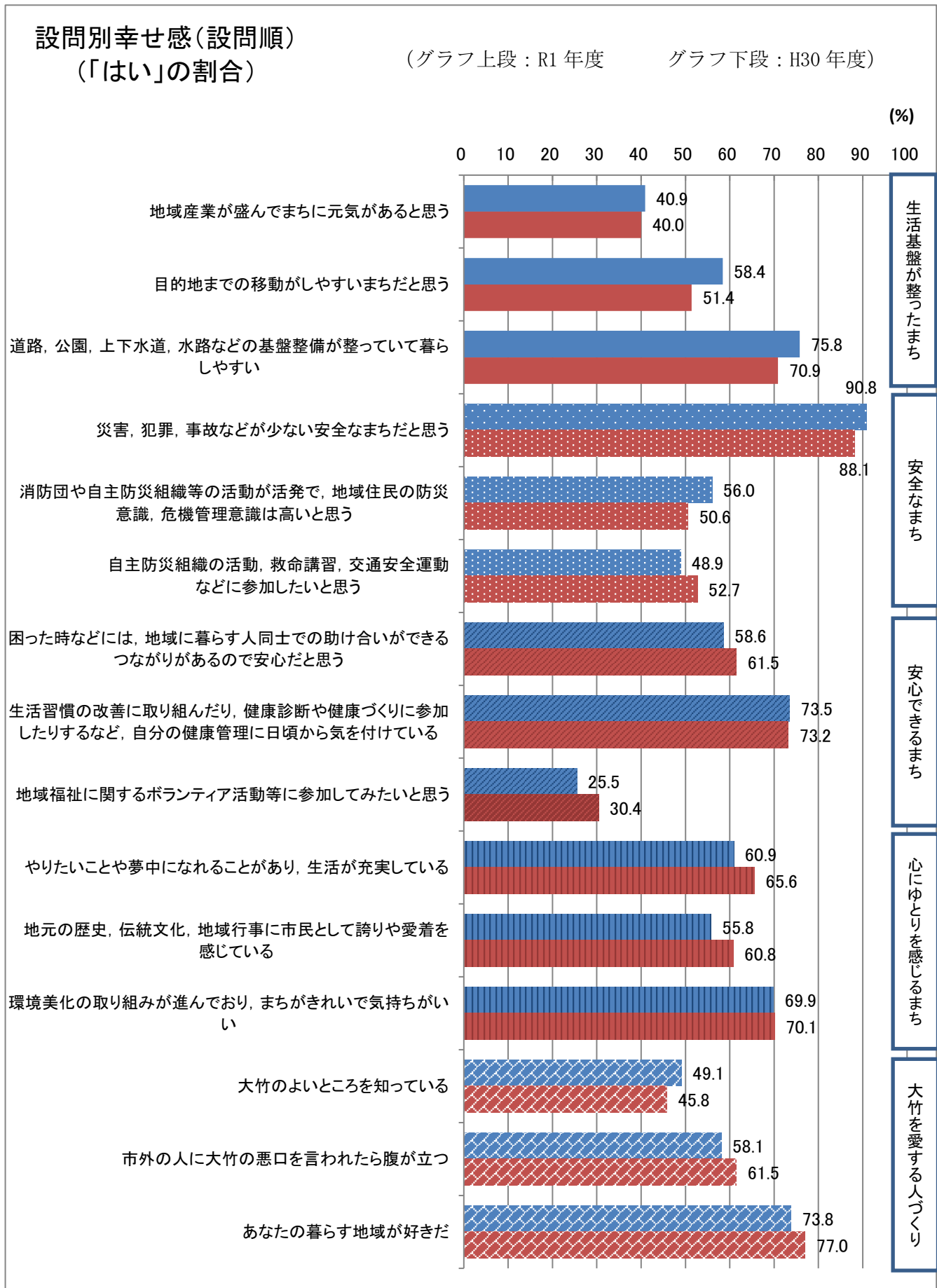
単純集計結果（問・項目・設問別幸せ感）

問番号 と項目	設問	R1						H30			全項目 での 「はい」 の順位 変動		
		回答数(人)			設問の 「はい」		項目の 「はい」		設問の 「はい」	項目の 「はい」			
		はい	いいえ	無回答	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	割合 (%)		順位	
問 1	生活基 盤が整 ったま ち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	159	219	10	40.9	14	58.4	4	40.0	54.1	5	↗
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	227	159	3	58.4	8			51.4			
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	295	89	5	75.8	2			70.9			
	安全な まち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	353	34	2	90.8	1	65.2	1	88.1	63.8	2	↗
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	218	162	9	56.0	10			50.6			
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	189	189	11	48.9	13			52.7			
	安心 できる まち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	228	148	13	58.6	7	52.5	5	61.5	55.0	4	↘
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	286	95	8	73.5	4			73.2			
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	99	271	19	25.5	15			30.4			
	心にゆ とりを 感じる まち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	237	139	13	60.9	6	62.2	2	65.6	65.5	1	↘
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	217	160	12	55.8	11			60.8			
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	272	105	12	69.9	5			70.1			
	大竹を 愛する 人づく り	大竹のよいところを知っている	191	164	33	49.1	12	60.3	3	45.8	61.4	3	→
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	226	150	13	58.1	9			61.5			
		あなたの暮らす地域が好きだ	287	81	21	73.8	3			77.0			
問1全体		3,484	2,169	182	59.7%			60.0%					
問 2	市民 自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	194	163	32	49.9	45.1		56.7	48.6			
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	157	187	46	40.4			40.5				

前年度との比較表（設問別幸せ感）①

問・項目	設問	R1		H30		前年度からの動き		順位	
		「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	左の順位	「はい」の割合(%)	順位		
問1	生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.9	14	40.0	14	0.9	↗	→
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	58.4	8	51.4	11	7.0	↗	↗
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	75.8	2	70.9	4	4.9	↗	↗
	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	90.8	1	88.1	1	2.7	↗	→
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	56.0	10	50.6	12	5.4	↗	↗
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	48.9	13	52.7	10	△3.8	↘	↘
	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	58.6	7	61.5	7	△2.9	↘	→
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	73.5	4	73.2	3	0.3	↗	↘
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	25.5	15	30.4	15	△4.9	↘	→
	心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	60.9	6	65.6	6	△4.7	↘	→
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	55.8	11	60.8	9	△5.0	↘	↘
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	69.9	5	70.1	5	△0.2	↘	→
	大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている	49.1	12	45.8	13	3.3	↗	↗
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	58.1	9	61.5	7	△3.4	↘	↘
		あなたの暮らす地域が好きだ	73.8	3	77.0	2	△3.2	↘	↘
問2 市民自治	あなたの暮らす地域のことに普段から興味もっている	49.9	/	56.7	/	△6.8	↘	/	
	自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	40.4	/	40.5	/	△0.1	↘	/	

前年度との比較表（設問別幸せ感）②



- 問1の各設問において、「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。
- 問2（市民自治）については、「はい」と答えた人の割合が高いほど、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっていると判断します。

アンケートは、この割合を用いて、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分について分析を行います。毎年度異なる人にご協力をいただいておりますので、経年比較は傾向としてとらえることになります。

(1)「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

問1設問全体で、「はい」と答えた人の割合は、59.7%となっています。

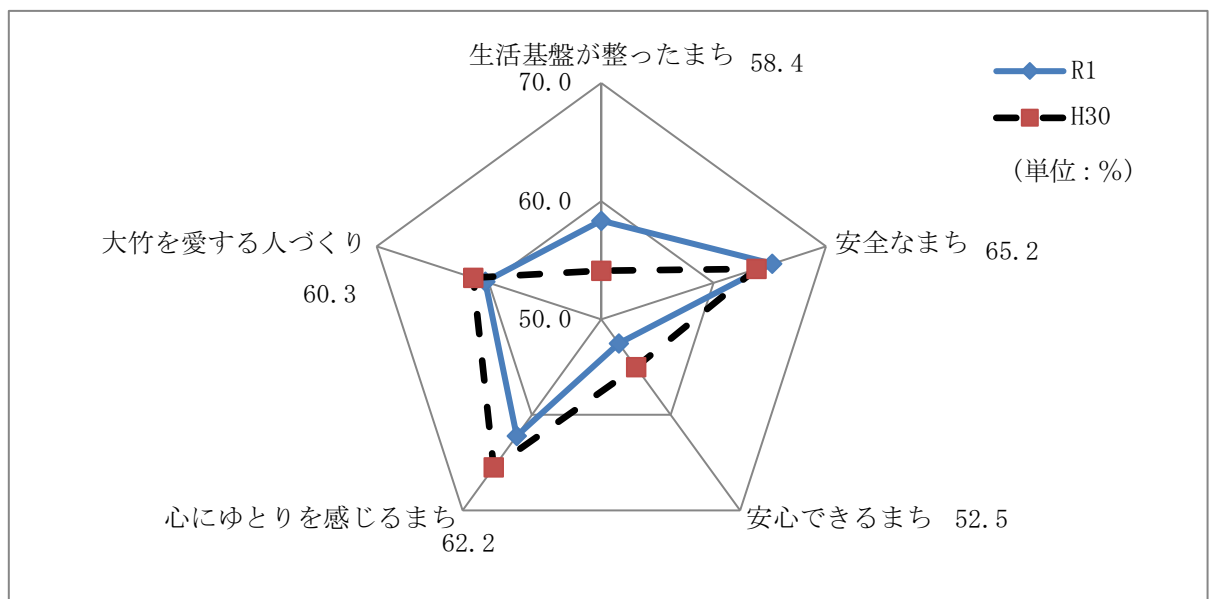
漠然とはありませんが、約6割の人が幸せを感じながら日々の生活を送っているようです。前年度とほぼ同じ結果となりました。

①項目別順位

項目比較での幸せ感の順位は、次のとおりです。前年度と比べると3位以外は順位が変動しました。「生活基盤が整ったまち」は全設問でポイントが上がっており、前年度に比べ4.3ポイント増加し、最も大きな伸びとなっています。

全ての項目で前年度との比較は、5.0ポイント以内であり、大きな変動ではないため、全体的に前年と同程度、幸せを感じている人がいるものと思われます。

順位	項目	R1割合（対前年比較）	H30割合（順位）
1	安全なまち	65.2%（↑1.4）	63.8%（2）
2	心にゆとりを感じるまち	62.2%（↓3.3）	65.5%（1）
3	大竹を愛する人づくり	60.3%（↓1.1）	61.4%（3）
4	生活基盤が整ったまち	58.4%（↑4.3）	54.1%（5）
5	安心できるまち	52.5%（↓2.5）	55.0%（4）



②設問別順位

幸せ感の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

9年間の調査で初めて上位3位及び下位3位の設問に変動がありました。

順位 []内は前年度	設 問	割合(%) []内は前年度
1 [1]	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	90.8 [88.1]
2 [4]	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	75.8 [70.9]
3 [2]	あなたの暮らす地域が好きだ	73.8 [77.0]
・ ・	・ ・	・ ・
13 [10]	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	48.9 [52.7]
14 [14]	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.9 [40.0]
15 [15]	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	25.5 [30.4]

③特徴

項目「生活基盤が整ったまち」（4位：58.4%）

「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位：40.9%）は、前年度と同じ順位ですが、0.9ポイント増加しています。

また、「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（2位：75.8%）は4.9ポイント増加し、前年度より順位を2つ上げ、幸せ感は増していると考えられます。

項目の幸せ感はず年度より4.3ポイント増加し、1つ順位を上げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安全なまち」（1位：65.2%）

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位：90.8%）は、前年度より2.7ポイント増加し、2位とのポイント差は15.0ポイントと昨年度から広がり、依然として他の設問に比べ幸せ感が高くなっています。

「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（13位：48.9%）の幸せ感はず年度から3.8ポイント減少し、前年度の10位から3つ順位を下げました。

項目の幸せ感はず年度より1.4ポイント増加し、1つ順位を上げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安心できるまち」(5位:52.5%)

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」(7位:58.6%)は、前年度と同順位でしたが、2.9ポイント減少し、6割を切りました。

「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」(4位:73.5%)は、前年度と比べて順位が1つ下がりましたが、0.3ポイント増加しており、幸せを感じている人の割合は増えています。

「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」(15位:25.5%)は、前年度から4.9ポイント減少し、幸せ感は最も低くなっています。

項目の幸せ感は昨年度より2.5ポイント減少し、1つ順位を下げており、昨年度と比べて幸せを感じる人の割合は減り、幸せ感は最も低い項目となっています。

項目「心にゆとりを感じるまち」(2位:62.2%)

「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」(6位:60.9%)と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」(5位:69.9%)は、前年度と同順位ですが、それぞれ4.7ポイント、0.2ポイント減少しました。

「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」(11位:55.8%)は、前年度の9位から順位を2つ下げました。また、幸せ感は5.0ポイント減少し、全体で一番の下げ幅となっています。

全ての設問で幸せ感は減少しており、項目全体としても一番の下げ幅で3.3ポイント減少しました。

項目「大竹を愛する人づくり」(3位:60.3%)

「大竹のよいところを知っている」(12位:49.1%)は、前年度より3.3ポイント増加し、前年度から順位を1つ上げ、アンケート開始以来の1番高い順位となり、約半数の人が幸せ感を感じています。

「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(9位:58.1%)は、前年度から3.4ポイント減少し、順位は2つ下がりました。

「あなたの暮らす地域が好きだ」(3位:73.9%)は、前年度から3.1ポイント減少し、順位は1つ下がりました。

前年度と比べて幸せ感が1.1ポイント減少しましたが、項目の順位は3位と変わりはありませんでした。

④特徴（設問と問3の自由記述（P43～55）〔設問に付随した心配に思っていること〕から）

項目「生活基盤が整ったまち」

◆ 設問「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位）

15設問中14位で、幸せ感も40.9%と、平均値を約20ポイントも下回っています。駅前や商店街など身近なところを参考に回答された人が多いようで、昔に比べて個人商店が減り近所で買い物をするところが少なくなってきたことなどを心配する意見が多く見られました。また、駅前に商店が少なくなり、まちに活気がなくなってきたという意見もありました。

◆ 設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」（8位）

前年度より3つ順位を上げ、幸せ感は7.0ポイント増加し、全ての設問の中で一番の増加率となりました。車がなければ、移動手段がないなど車を運転できなくなった時が心配という意見が多く、バスの増便やエリア・ルートの見直しなど、公共交通機関の充実について、様々な意見が出ています。また、渋滞の改善、小方駅の設置などを求める意見も寄せられました。

◆ 設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（2位）

前年度から4.9ポイント増加し、順位は2つ上がり、7割を超える人が暮らしやすさを感じています。一方で用水路や道路、街灯の整備を要望する意見が寄せられました。

項目「安全なまち」

◆ 設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位）

前年度と比べて2.7ポイント増加し、90.8%という高い幸せ感で、全ての設問の中で初めて90%を越えました。今年度は平均値を31.1ポイント上回り、2位との差も15.0ポイント開く結果となりました。しかし、近年増加している豪雨等が引き起こす災害への心配、交通事故への不安は少なからずありました。

◆ 設問「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（10位）

前年度と比べて5.4ポイント増加し、順位を2つ上げ、5割を超える人が地域の防災意識、危機管理意識は高いと感じています。

また、不安を感じている人の意見として、災害が少ない「安全なまち」であるが故に、防災意識が低いという声や、消防団や自主防災組織などの活動について、よく分からないという意見がありました。

◆ 設問「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（13位）

前年度と比べて3.8ポイント減少し、順位を3つ下げましたが、約5割の人が自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと考えています。

参加しない理由としては、組織や訓練の内容などが分からないという意見もありました。

項目「安心できるまち」

- ◆ 設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（7位）

前年度より 2.9 ポイント減少しましたが、順位に変動はありませんでした。約 6 割の人が安心だと感じている一方で、高齢化や地域住民のつながりの希薄化により、困った時に相談できる人がいないという意見も多くありました。

- ◆ 設問「生活習慣病の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（4位）

順位は前年度から 1 つ下がりましたが、0.3 ポイント増加しました。健康については多くの人に関心を持ち、例年高水準を保っています。病院の充実や、働いている世代が参加しやすい健康増進イベントの開催を希望する声もありました。

- ◆ 設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」（15位）

前年度より 4.9 ポイント減少し、調査開始から最下位が続いています。ボランティアの内容や参加方法などが分からないなどの意見が寄せられていました。

項目「心にゆとりを感じるまち」

- ◆ 設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」（6位）

前年度と同順位ですが、幸せ感は 4.7 ポイント減少しています。やりたいことや夢中になれることがないという意見も寄せられていました。

- ◆ 設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」（11位）

前年度から 5.0 ポイントを下げっており、一番の下げ幅となっています。伝統文化や地域行事の担い手の減少を心配する声が見られます。また、昔に比べて大竹を知る機会が減っているという意見も寄せられています。

- ◆ 設問「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」（5位）

前年度から 0.2 ポイント減少しましたが、約 7 割の人が「きれいなまち」に関して気持ちがいいと感じています。日頃から周辺のごみを拾っているなど清掃活動を行っている人が多くおり、たばこのポイ捨てなどのマナーの悪さや空き地の雑草などの処分に関する意見が多く出ています。また、工場などののにおいに関する意見が寄せられています。

項目「大竹を愛する人づくり」

◆ 設問「大竹のよいところを知っている」(12位)

前年度から3.3ポイント増加し、順位が一つ上がり、12位となりました。伝統文化が継承されていることや大きな災害が発生していないことなどが自分の暮らす地域の良いところとして挙がっています。

◆ 設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(9位)

この設問と次の設問は、ストレートに感覚を尋ねています。前年度から3.4ポイント減少しましたが、約6割の人がそう思うと回答しており、大竹市に対する愛着が感じられます。

◆ 設問「あなたの暮らす地域が好きだ」(3位)

前年度から3.2ポイント減少し、順位は1つ下がりました。7割を超える人が好きだと回答している一方で、好きになれないところについても、たくさんの意見をいただいています。

(2) 市民自治(問2)について

わがまちプランに定める市民自治の理念は、半数程度の人に受け入れられているようで、「はい」と答えた人の割合は、前年度と同様の水準を維持しています。

「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」(49.9%)は、前年度より6.8ポイント減少し、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」(40.4%)は、前年度より0.1ポイント減少しています。

自由記述から、地域のためにやってみたいこととして、地域の伝統文化の継承、ごみ拾いなどの地域の清掃、子どもの登下校の見守りなど具体的なことから、ボランティアなど困っていることや自分にできることがあれば協力したいという意見がありました。また、実際に行っていることとしては、自治会活動や清掃活動などが挙げられています。

一方、やってみたいと思ってもできない理由として、仕事や育児・家族の介護などや、自身・家族の健康に関する問題などが多く見られました。

2 属性別分析

(1) 性別

①問1について

項目	設問	男性				女性			
		設問の「はい」		項目の「はい」		設問の「はい」		項目の「はい」	
		割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位
生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	40.1	14			42.2	14		
	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	61.5	8	61.2	4	55.8	9	56.1	4
	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	81.9	2			70.4	4		
安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	91.2	1			90.3	1		
	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	56.6	11	65.8	2	55.8	9	64.9	1
	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	49.5	13			48.5	12		
安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	58.2	10			59.2	6		
	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	75.3	4	53.7	5	71.8	2	51.6	5
	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	27.5	15			23.8	15		
心にゆとりを感じるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	65.9	6			56.8	8		
	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	62.1	7	67.8	1	50.5	11	57.4	3
	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	75.3	4			65.0	5		
大竹を愛する	大竹のよいところを知っている	52.2	12			46.6	13		
	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	59.3	9	62.8	3	57.3	7	58.3	2
	あなたの暮らす地域が好きだ	76.9	3			70.9	3		
問1全体		62.2				57.7			

ア 全体的な傾向

問1全体での幸せを感じている割合は、「男性」62.2%、「女性」57.7%と「男性」が「女性」よりも高くなっています。

イ 項目・設問にみられる顕著な傾向・特徴

項目による幸せ感の幅は、「男性」の14.1ポイント（67.8%－53.7%）、「女性」は13.3ポイント（64.9%－51.6%）となっており、10ポイント以上の差があるため、男女ともに幸せの感じ方がはっきりしているということが見て取れます。男女間で大きく幸せ感に差がついた項目は「心にゆとりを感じるまち」で、項目内全ての設問で「男性」の方が「女性」よりも高くなっています。特に設問「地域の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は11.6ポイントの開きがあり、性別によって幸せの感じ方の違いがはっきり出ています。

項目「安全なまち」の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、男女ともに1位となっており、ポイントが非常に高く、9割を超える人が「安全なまち」であると感じています。

また、項目「安心できるまち」の設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、男女とも最下位で、1つ上の順位と10ポイント以上の差が出ています。

今回の調査では、多くの項目で「男性」の方が、「女性」よりも高くなっており、「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」と「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」のみ「女性」の方が幸せを感じている割合が高くなっています。これらの項目については、買い物や近所づきあいなどにより、幸せ感が高くなっている可能性があります。

②問2について

問2の設問では、前年度と逆の結果になり、いずれも「男性」の方が「女性」より高くなっています。設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は男女ともに、前年度からポイントが減少しており、特に「女性」は11.5ポイントが減少しています。設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、「女性」が4割以下となり、「男性」と3.5ポイントの差が生じています。

設問	男性 (%)	女性 (%)
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	52.2 (53.8)	48.1 (59.6)
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	42.3 (36.8)	38.8 (43.8)

※()内は前年度

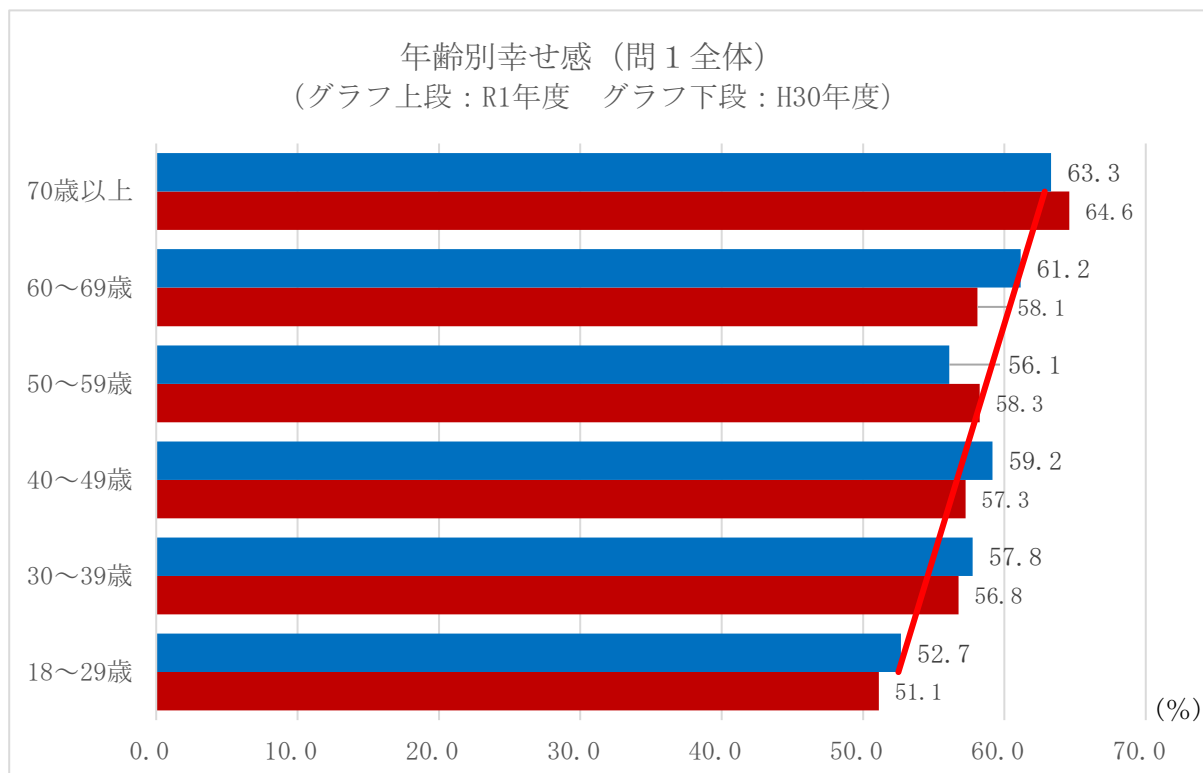
(2) 年齢

①問1について

ア 全体的な傾向

どの年齢層においても半数以上の方が幸せを感じています。

「18～29歳」の年齢層の幸せ感が52.7%で最も低く、年齢が上がるにつれて幸せ感が増加する傾向にあります。



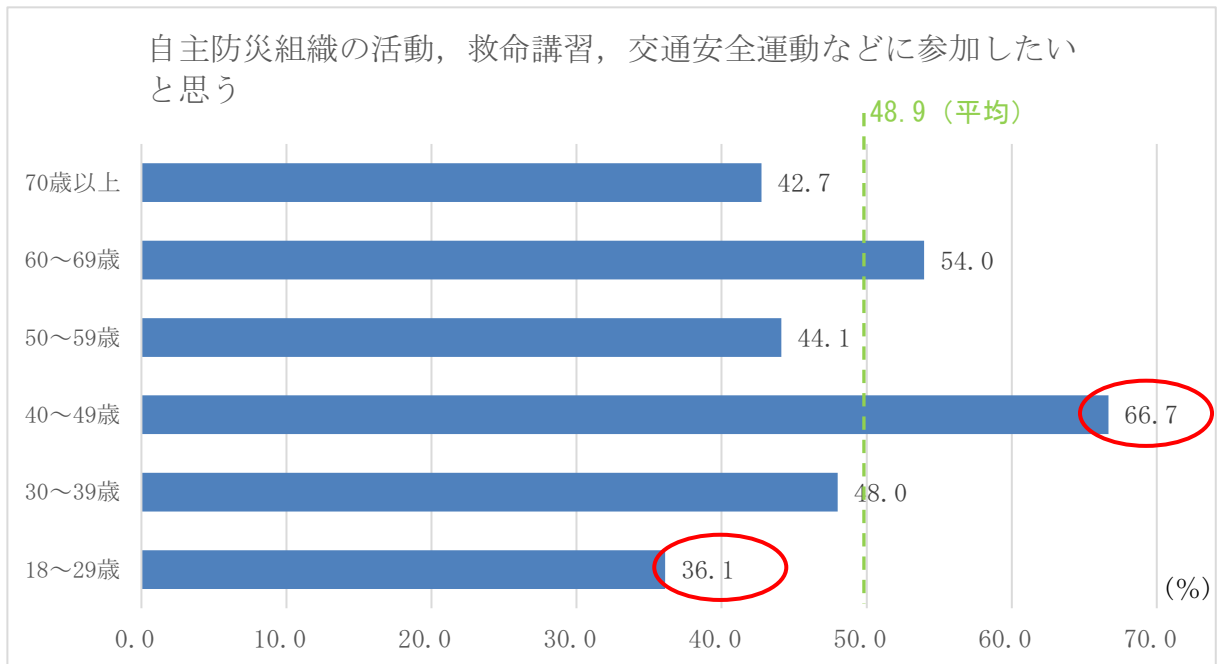
イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

全項目において、「70歳以上」の幸せ感は上位となっています。反対に「18～29歳」は、4つの項目で最下位となっています。また、「40～49歳」は、「安全なまち」の幸せ感が高く、67.4%となっていますが、「安心できるまち」の幸せ感は低く、45.4%となり、項目ごとの幸せ感で大きな差が出ていました。

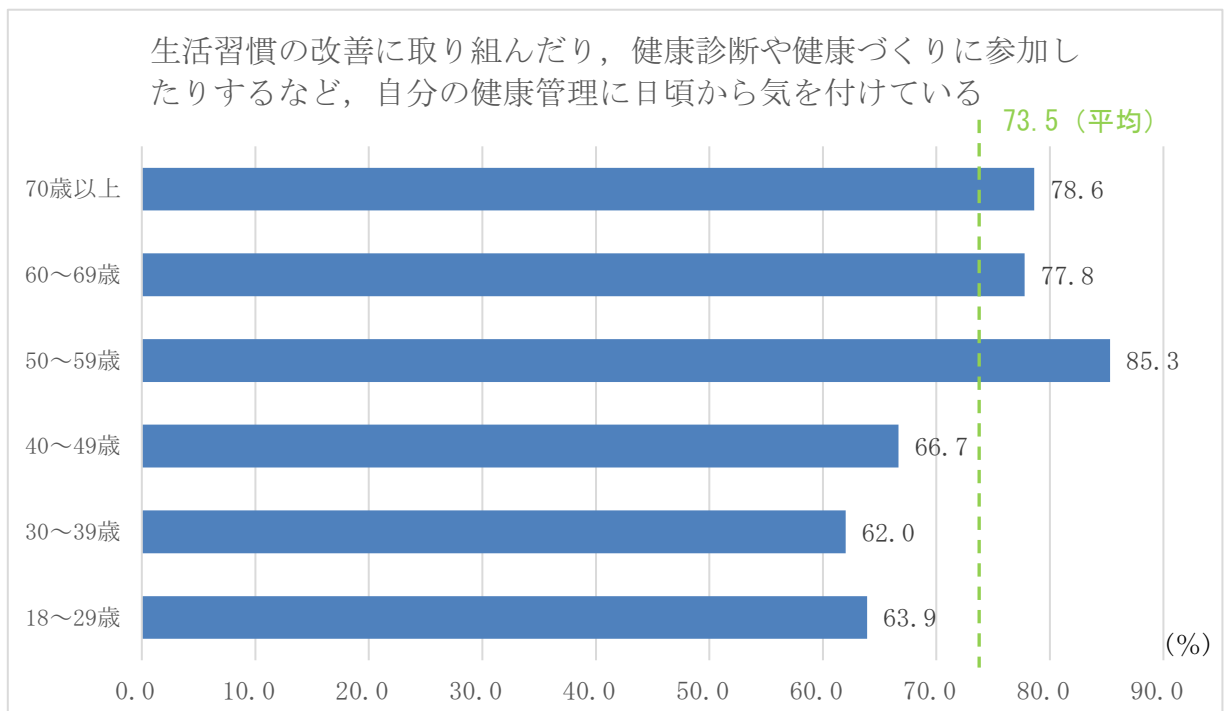
単位：%（順位）

年齢	生活基盤が整ったまち	安全なまち	安心できるまち	心にゆとりを感じるまち	大竹を愛する人づくり
70歳以上	61.1 (1)	67.4 (2)	57.5 (2)	68.4 (1)	62.1 (2)
60～69歳	57.7 (4)	70.4 (1)	54.5 (3)	65.1 (2)	58.3 (4)
50～59歳	52.9 (6)	58.8 (5)	59.0 (1)	54.9 (5)	54.9 (5)
40～49歳	59.3 (2)	67.4 (2)	45.4 (5)	57.4 (4)	66.7 (1)
30～39歳	55.3 (5)	62.0 (4)	49.3 (4)	62.0 (3)	60.1 (3)
18～29歳	59.3 (2)	58.3 (6)	45.4 (5)	52.3 (6)	48.1 (6)

年齢層別で最も幸せ感に差が出た設問は、「自主防災組織の活動，救命講習，交通安全運動などに参加したいと思う」です。この設問は、「40～49歳」の66.7%に対し、「18～29歳」の年齢層では36.1%と、約2倍の差が生じています。

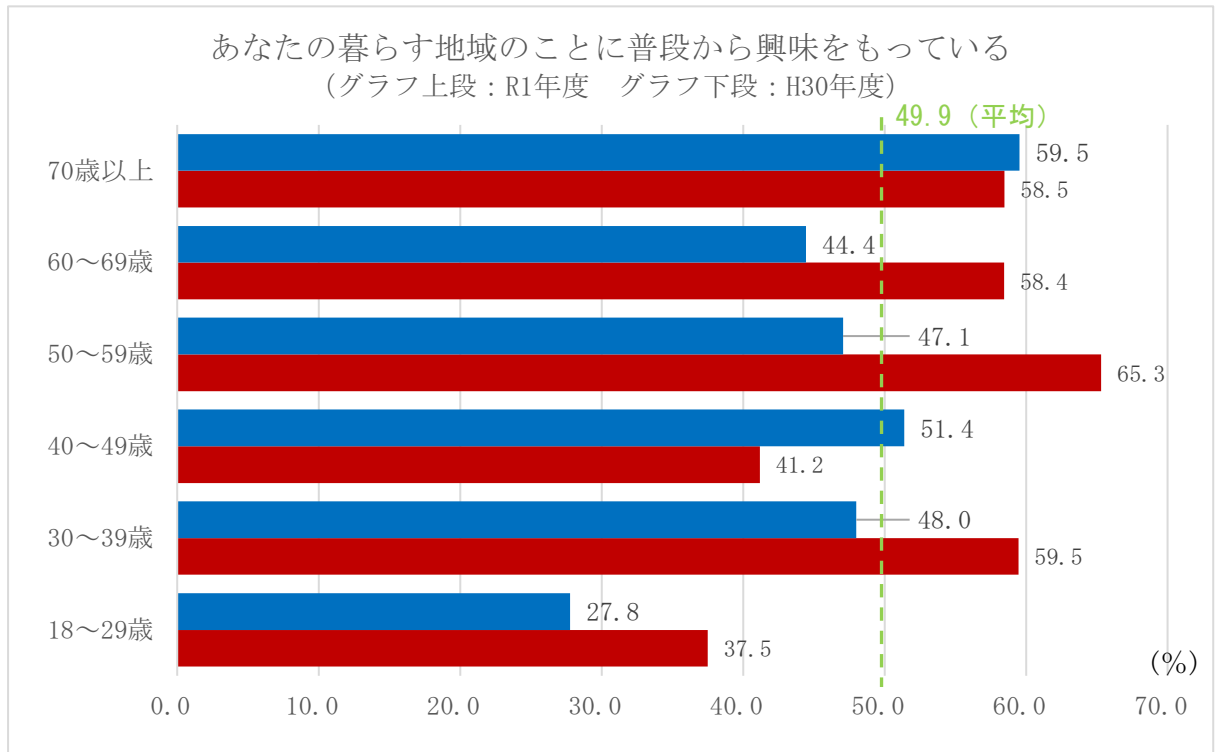


設問「生活習慣の改善に取り組んだり，健康診断や健康づくりに参加したりするなど，自分の健康管理に日頃から気を付けている」では，50歳以上から幸せ感が高くなる傾向となっています。平均値73.5%を超えているのは「50～59歳」，「60～69歳」，「70歳以上」，超えていないのは「20～29歳」，「30～39歳」，「40～49歳」と50歳を境に幸せ感に大きな差が生じています。また，「50～59歳」の85.3%に対し，「30～39歳」は62.0%と23.3ポイントの差が生じています。

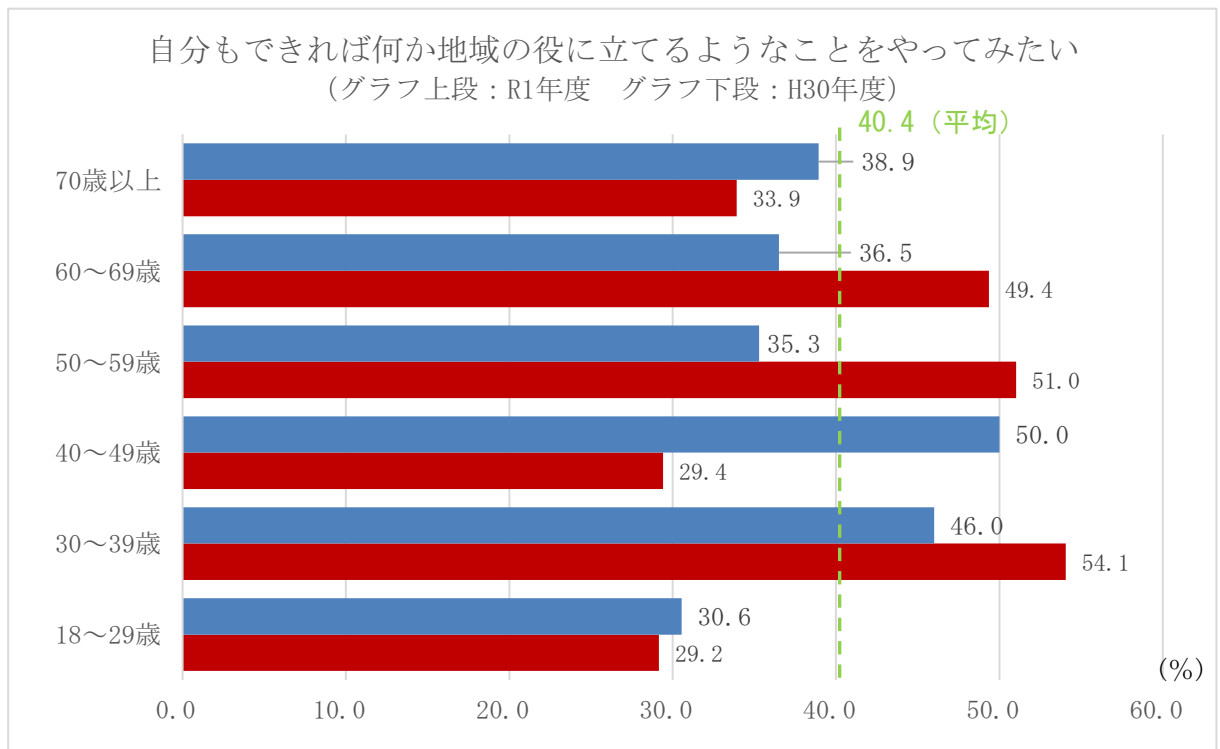


②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことについて普段から興味をもっている」では、「18～29歳」が他の年齢層より低く、3割に満たない状況です。一方で、「40～49歳」は、前年度より10.2ポイント増加して5割を超え、全年齢層で一番の伸びを見せ、2位となっています。

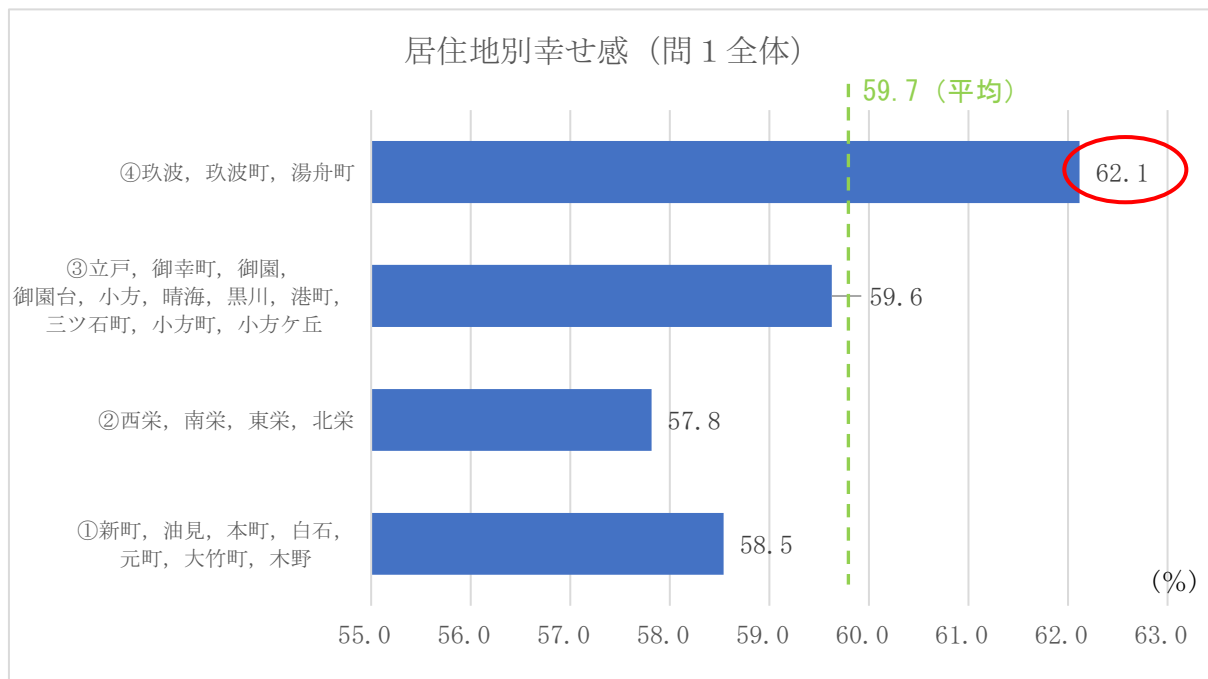


設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」では、「60～69歳」と「50～59歳」は、前年度より10ポイント以上も減少し、4割を切りました。一方、「40～49歳」は、ポイントが大きく増え、5割となりました。

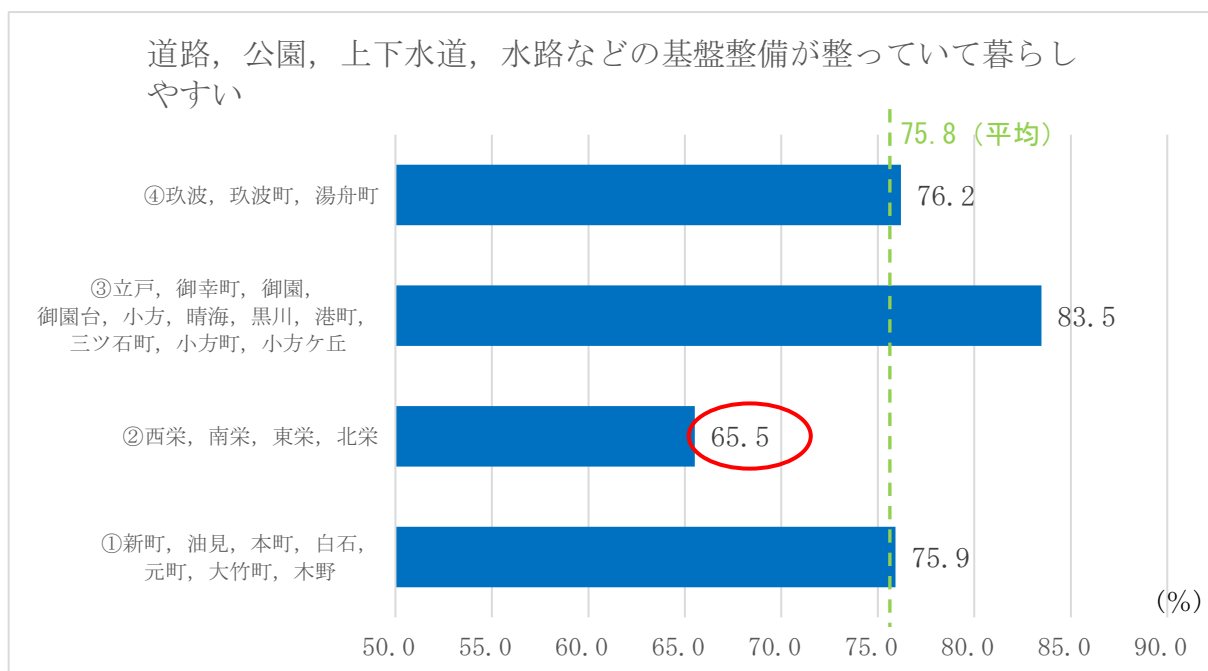


(3) 住所

回答数に大きな差があるため、問1，問2いずれも住所の違いによる特徴を分析できません。回答数50以上の4つの地域（「①新町，油見，本町，白石，元町，大竹町，木野」・「②西栄，南栄，東栄，北栄」・「③立戸，御幸町，御園，御園台，小方，晴海，黒川，港町，三ツ石町，小方町，小方ヶ丘」・「④玖波，玖波町，湯舟町」）で比較してみると，問1全体の幸せ感はいずれも60%前後となっていますが，「④」の地域が他の地域に比べやや高くなっています。



設問「道路，公園，上下水道，水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」では，「②」の地域は7割を下回り，幸せ感の平均値75.8ポイントを4つの地域の中で唯一下回り，「③」の地域と18.0ポイントの差があります。

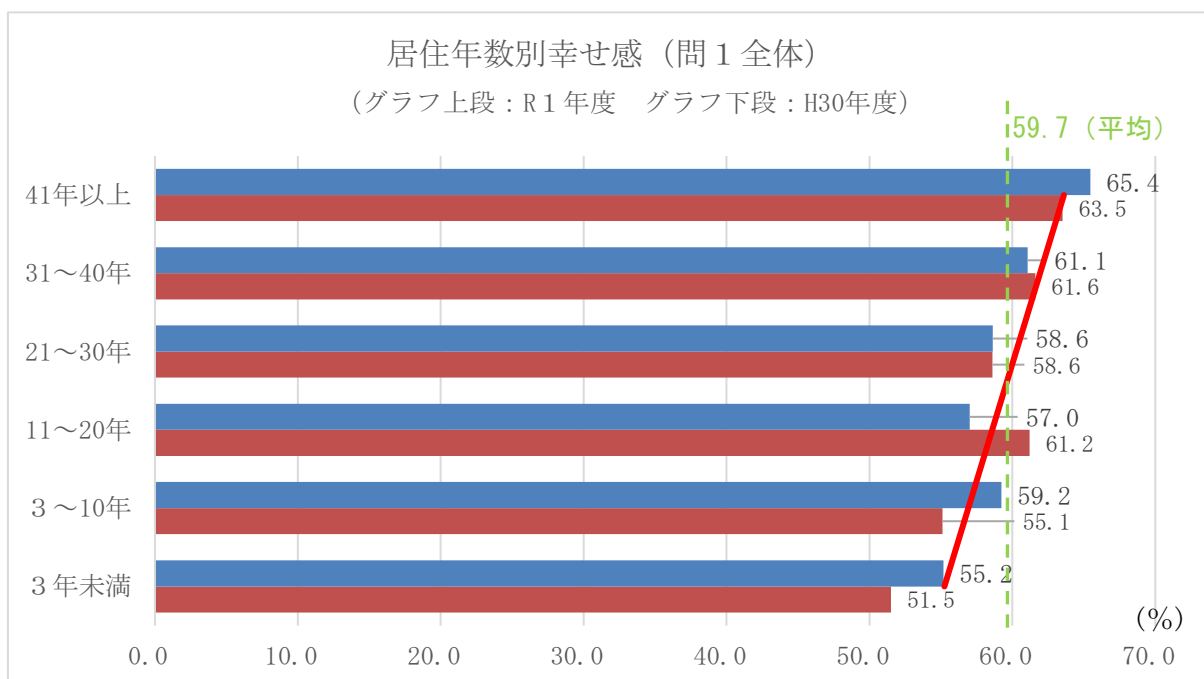


(4) 居住年数

①問1について

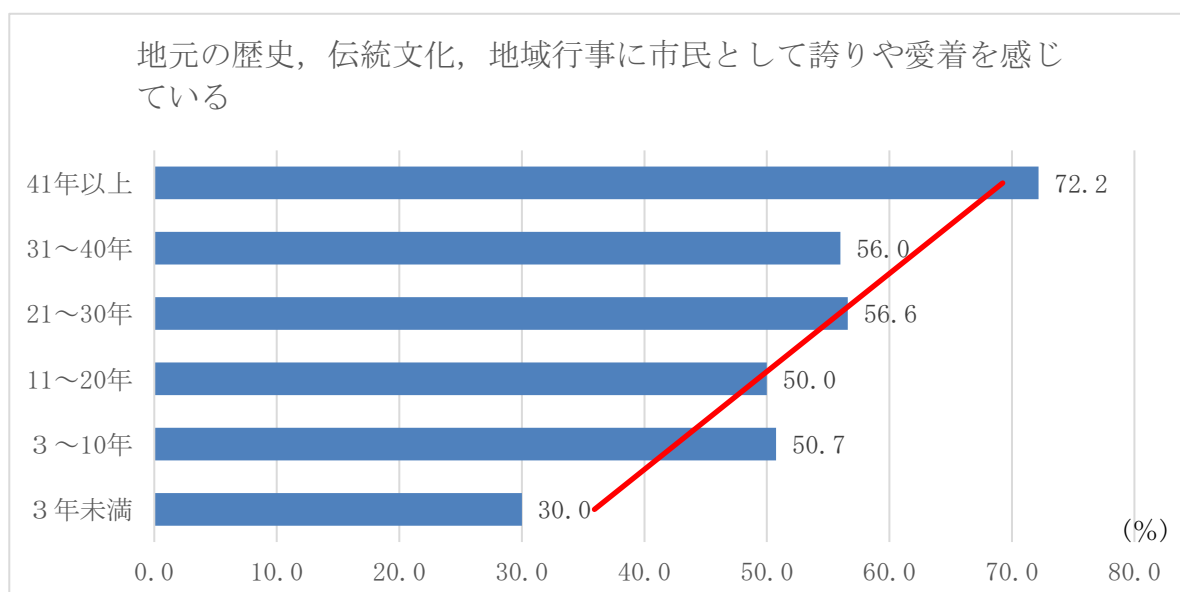
ア 全体的な傾向

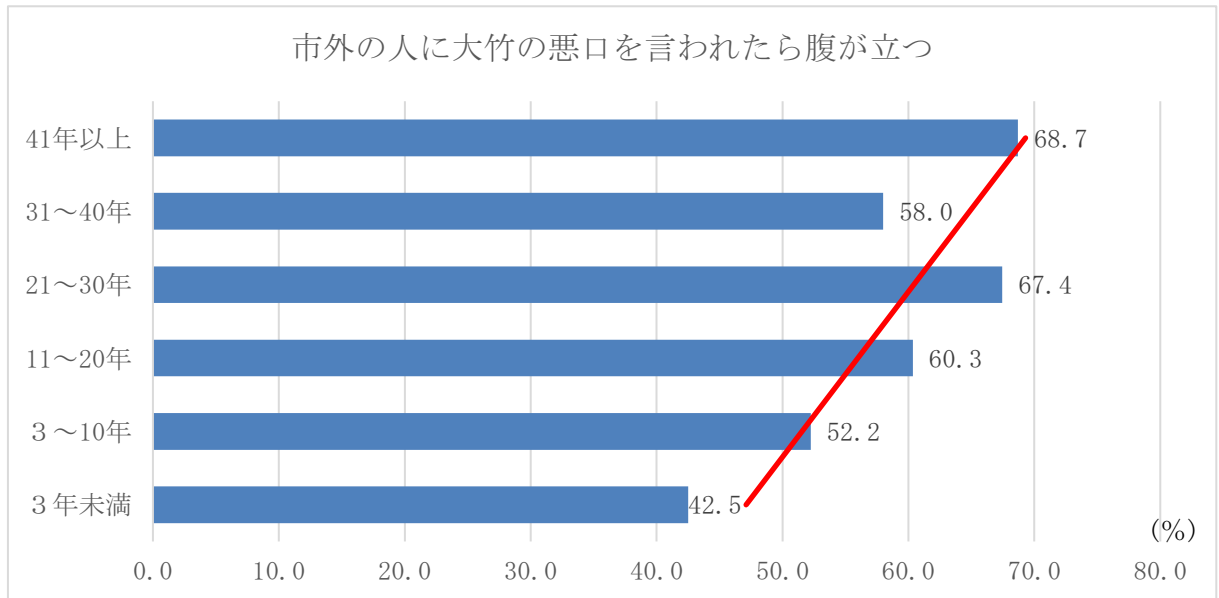
前年度と比較して居住年数が「11～20年」、「31～40年」の層で幸せ感が減少していますが、それ以外の層ではポイントが上がっています。ばらつきがあるものの、居住年数が長くなるにつれて、幸せ感が高くなる傾向にあります。



イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

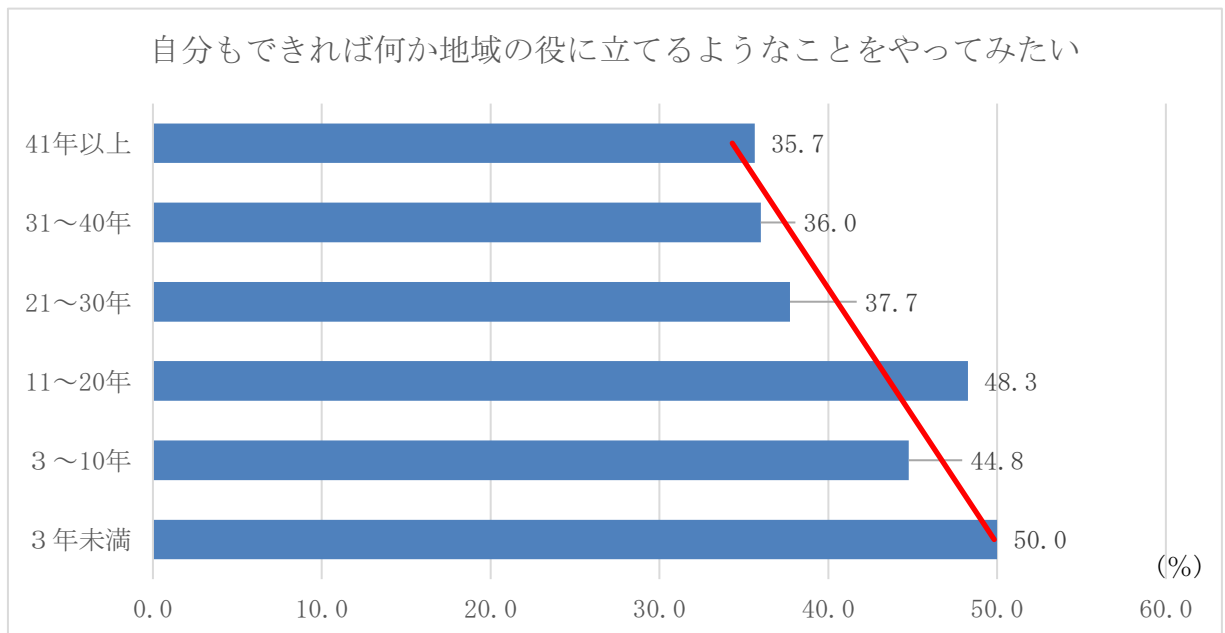
設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られます。また、設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」も同様の傾向となっており、これらの設問から居住年数が増えるにつれて、大竹により愛着を感じているものと伺えます。





②問2について

設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、問1の傾向とは逆となり、居住年数が短い方ほど「はい」と回答をしている人が増えています。



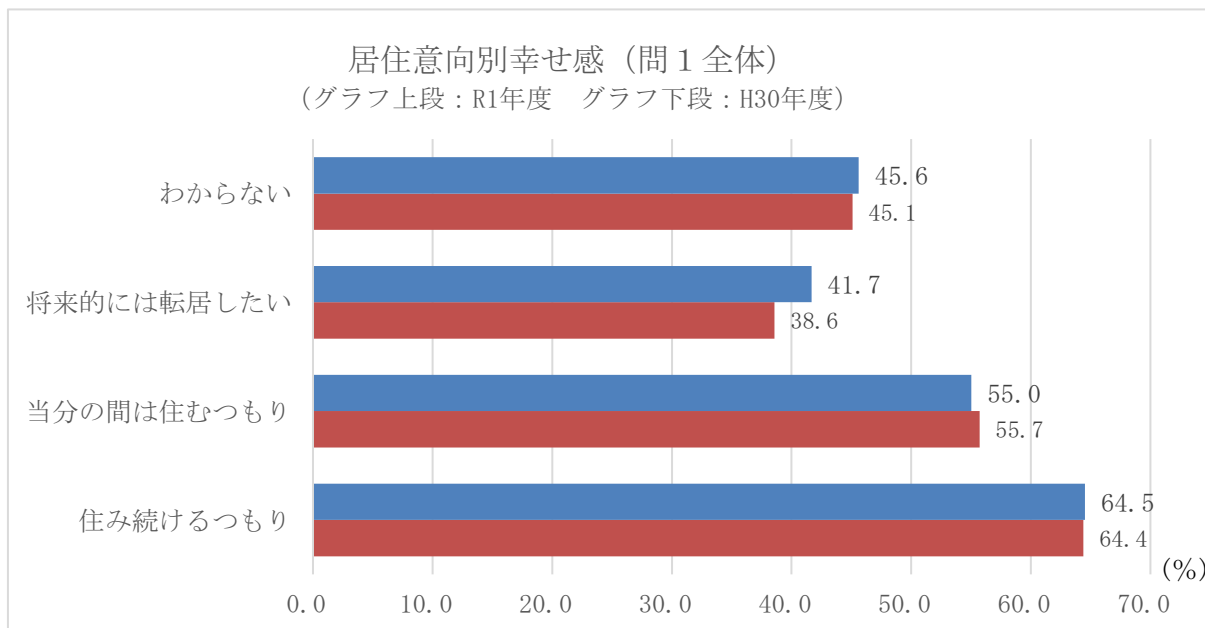
(5) 今後の居住意向

選択肢のうち、「近いうちに転居するつもり」と回答した人は、7人と人数が少なく、傾向として判断できないため掲載していません。

①問1について

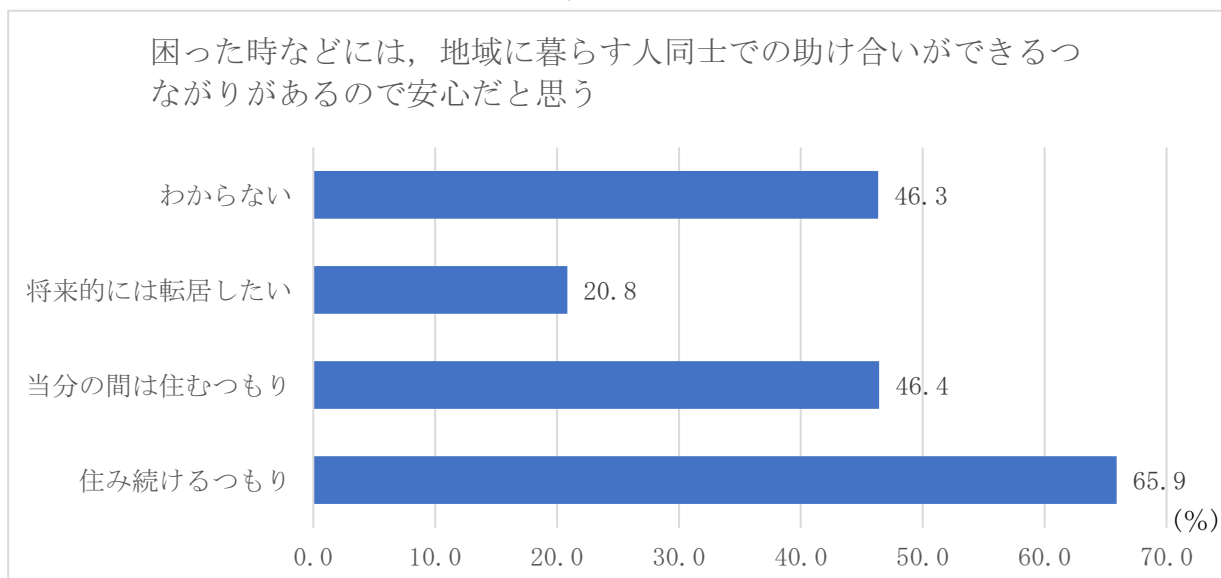
ア 全体的な傾向

「わからない」を除くと、昨年度と同様「将来的には転居したい」<「当分の間は住むつもり」<「住み続けるつもり」の順で幸せ感が高くなっており、長く住み続ける意向を持つ人ほど、幸せを感じているようです。また、「わからない」の人も、半数近くが幸せを感じています。

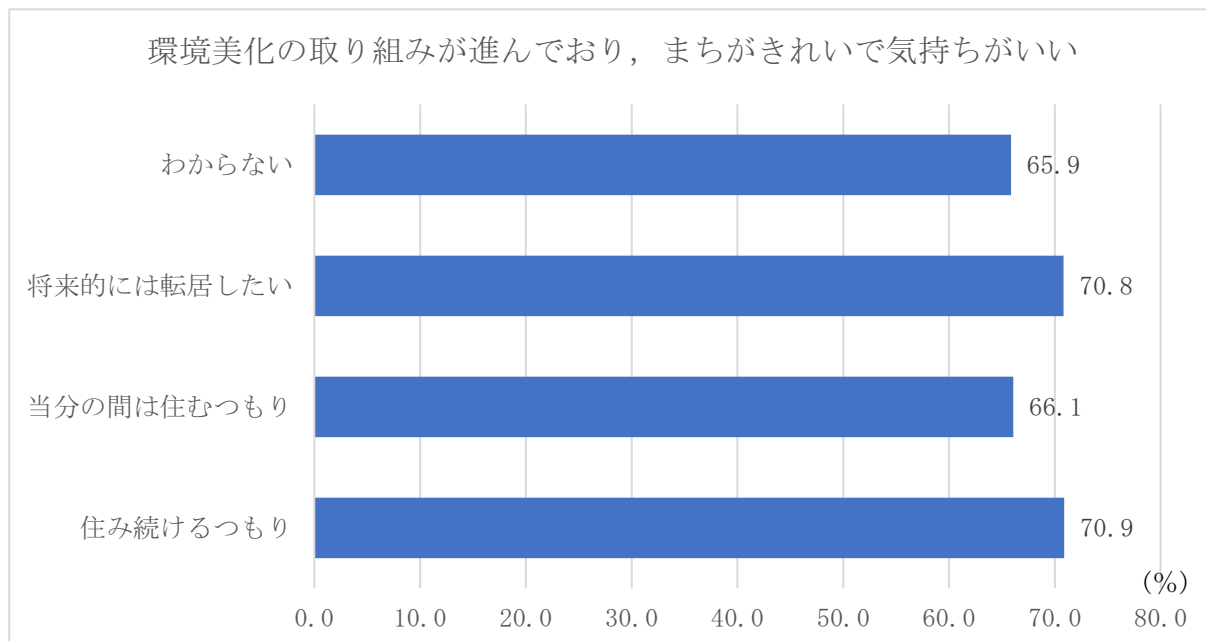


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

多くの項目において全体的な傾向と類似しています。特に設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」では、「住み続けるつもり」の人の幸せ感「将来的には転居したい」と考えている人より約45ポイント高くなっています。長く住む意思がある人は、地域でのつながりをつくる傾向にあります。

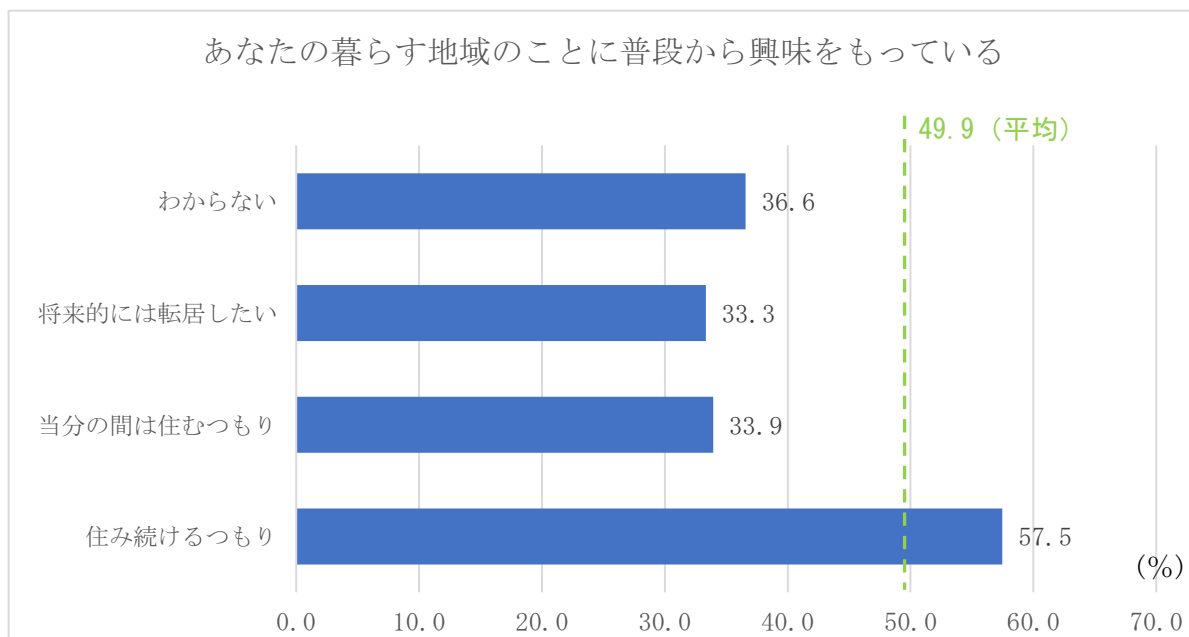


「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、7割近くの人が「はい」と回答しており、「将来的には転居したい」と考えている人も、7割以上の人が「きれいなまち」だと思っていることがわかります。



②問2について

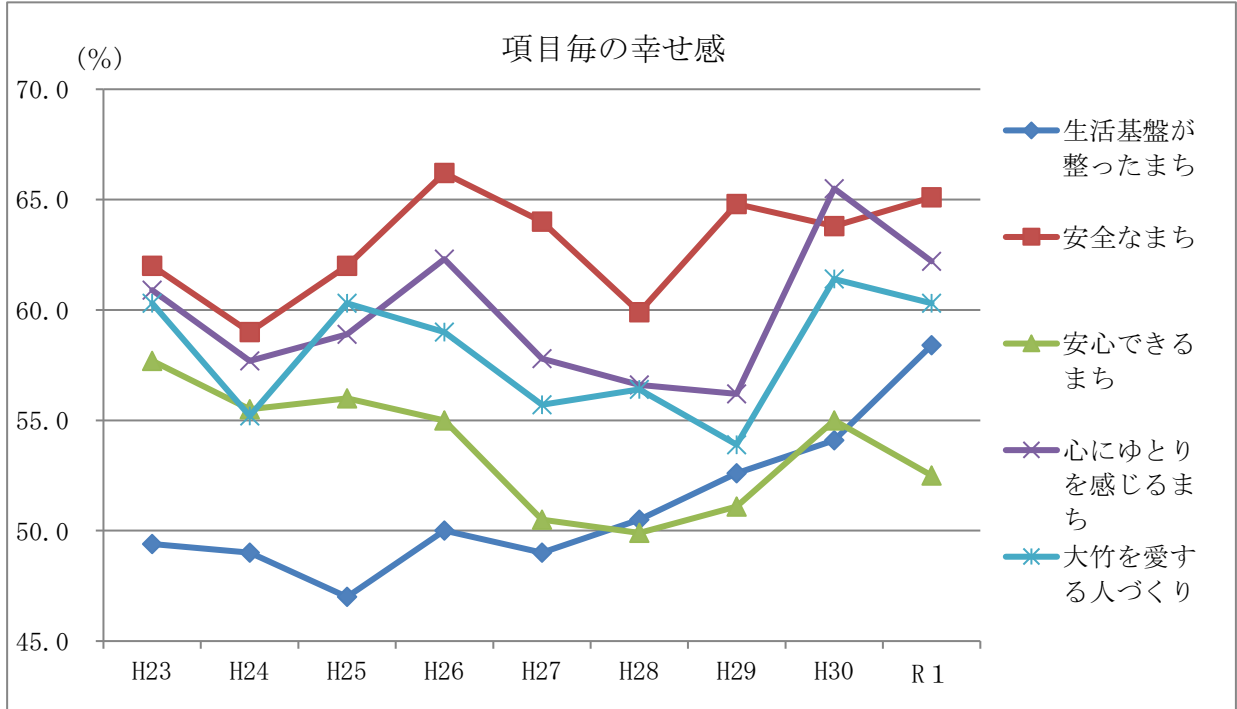
「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」の割合は、全体的な傾向と同様に今後も住み続ける意向が強いほど高くなっています。特に「住み続けるつもり」と回答した人が他よりも突出した数値となっており、地域に対する関心が高いことを表しています。



3 「わがまちプラン」中の数値の動き（過去9年間）（H23-R1）

（1）項目毎の推移

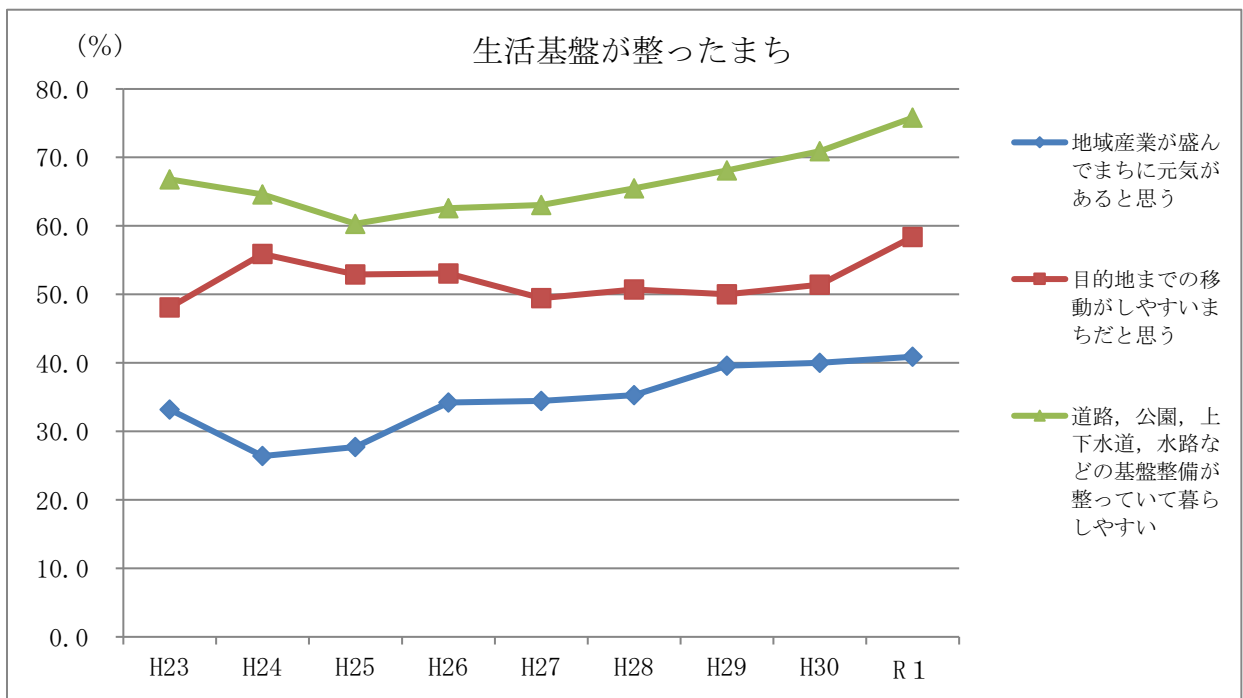
「生活基盤が整ったまち」は、増加傾向となっています。他の項目については、年度により数値が変動していますが、H28に減少傾向が近年は増加傾向に変わっています。



（2）設問毎の推移

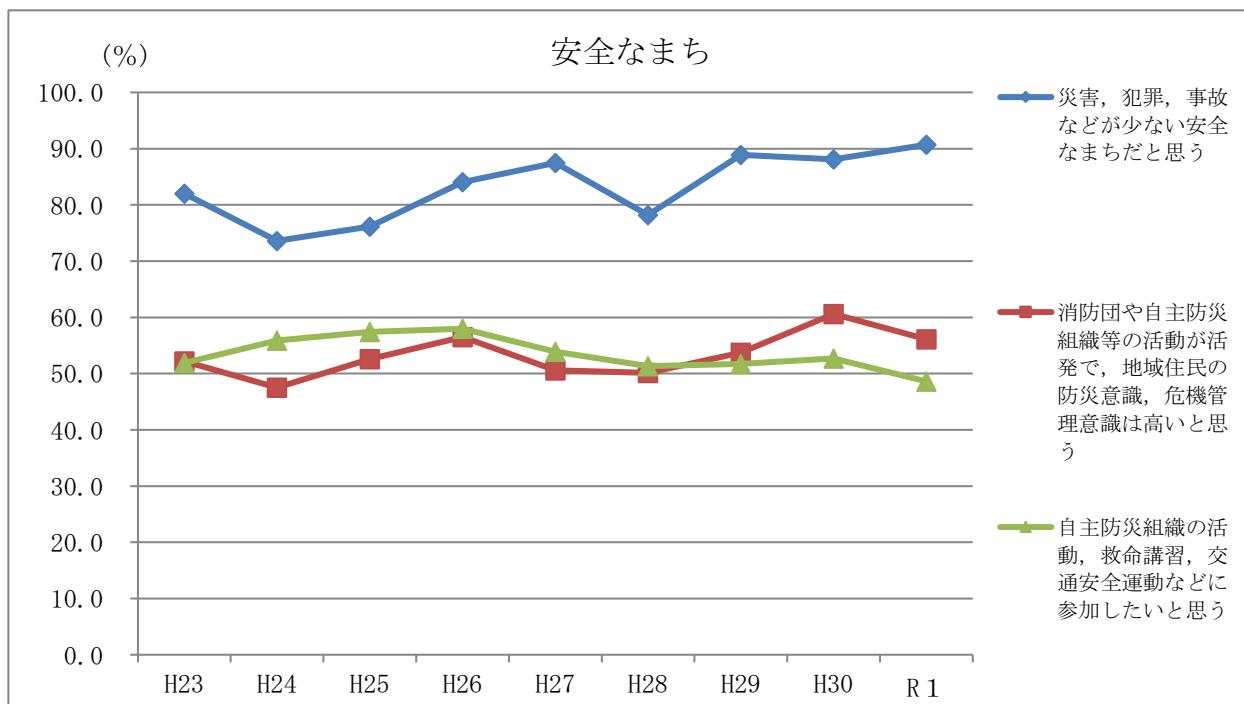
①生活基盤が整ったまち

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は常に上位にあります。H25年からは幸せ感が毎年上がっています。



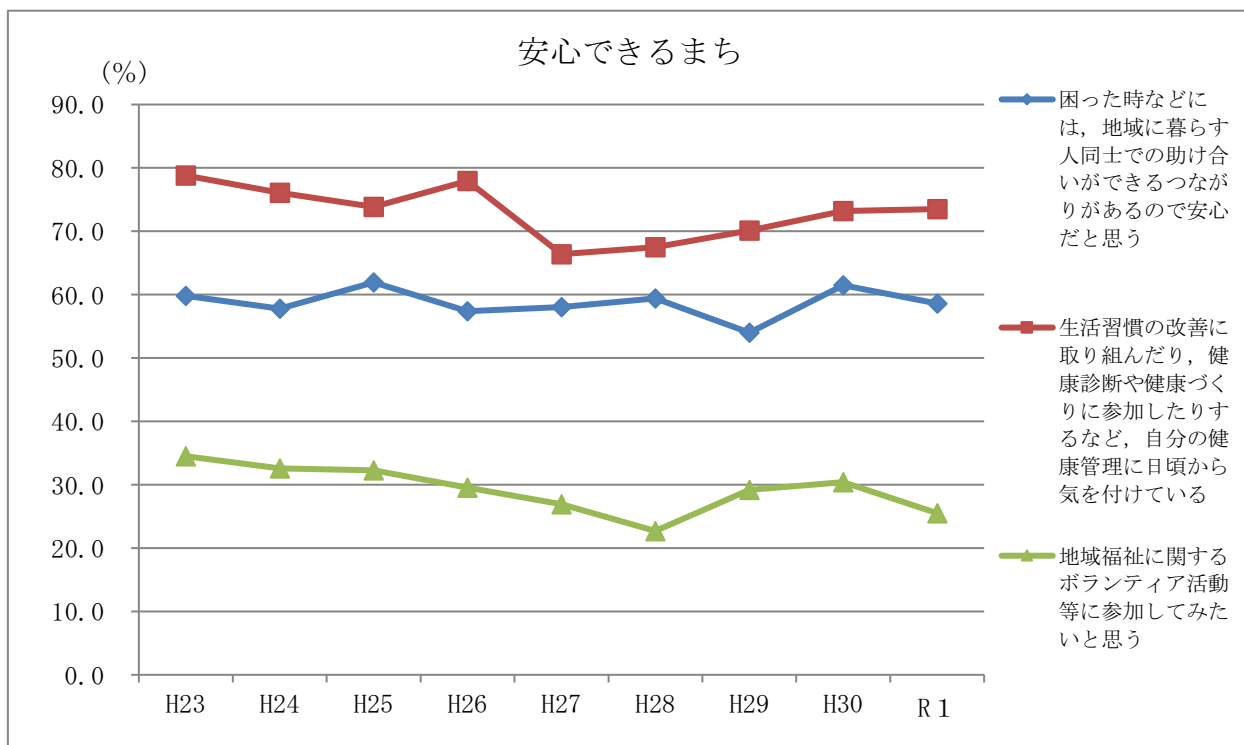
②安全なまち

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、その年に起きた事故や事件に左右されることもあります。安定して高位をキープしています。



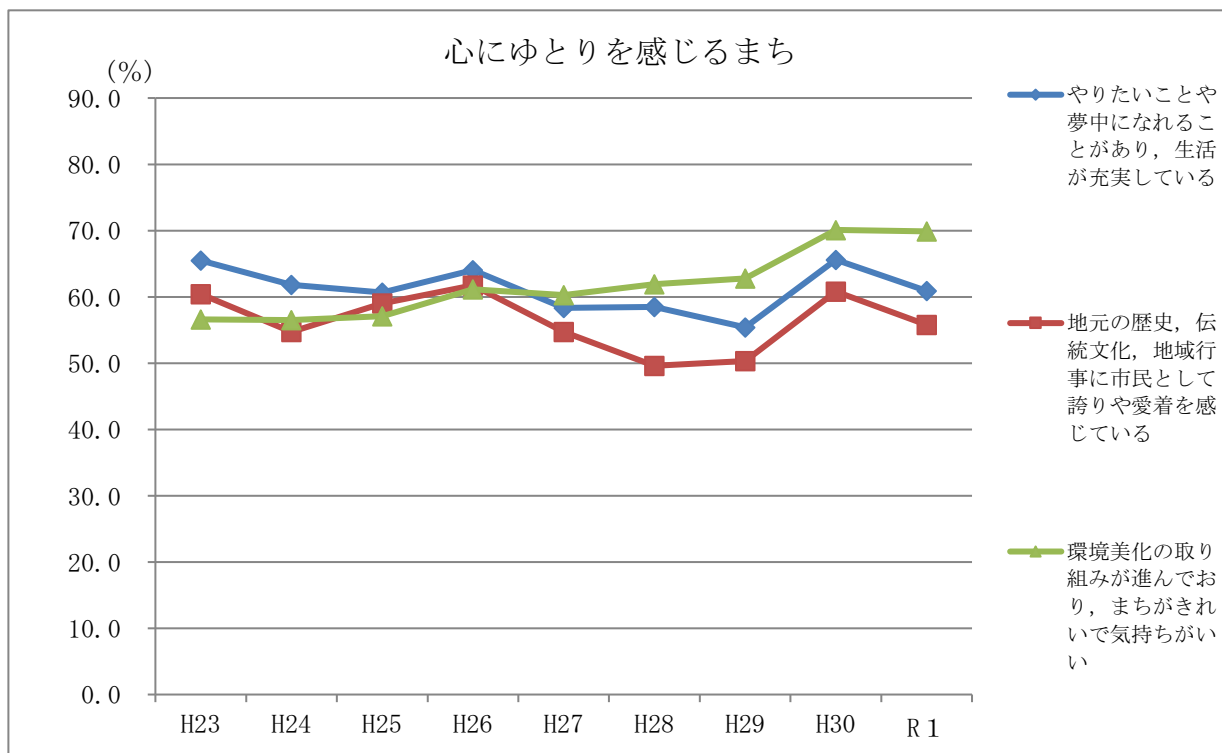
③安心できるまち

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」と「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、相関関係にありそうな設問ですが、常に3割程度の開きがあります。平時からのつながりを強化することで、いざという時に助け合える仕組みの構築に取り組んでいます。



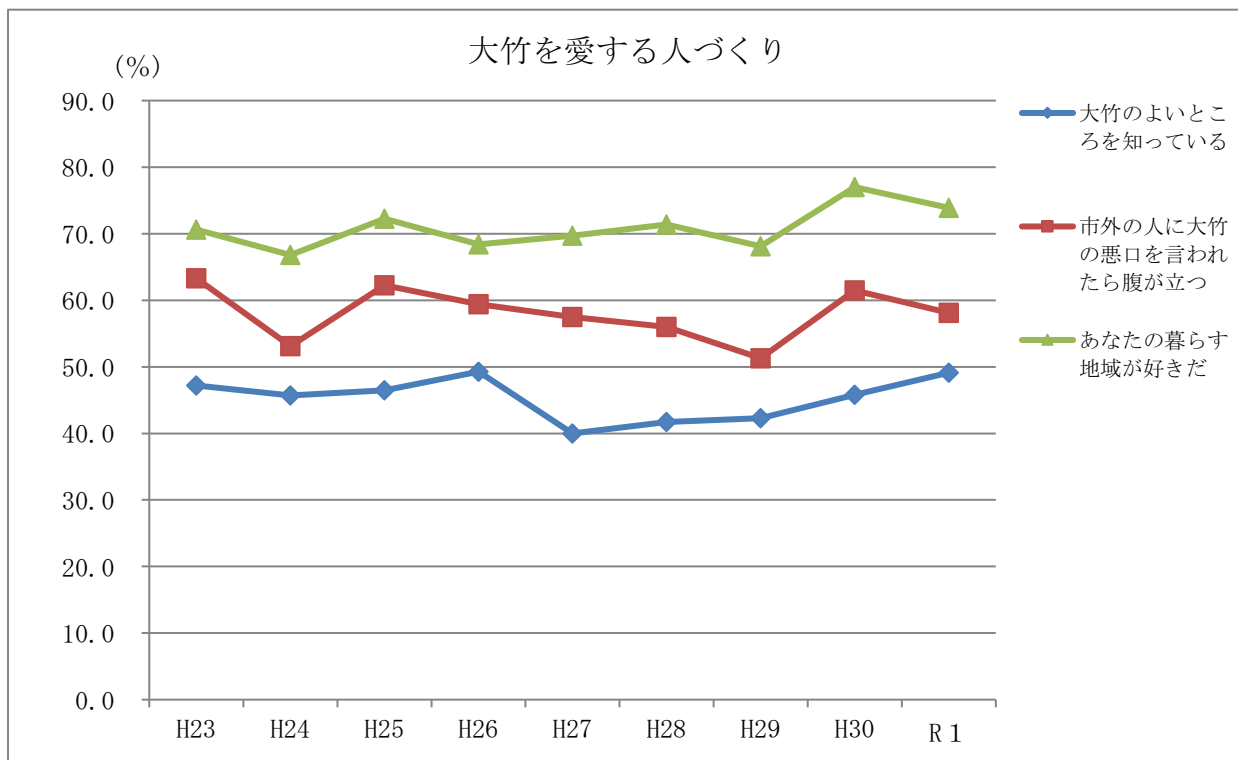
④心にゆとりを感じるまち

「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、上昇傾向になっています。



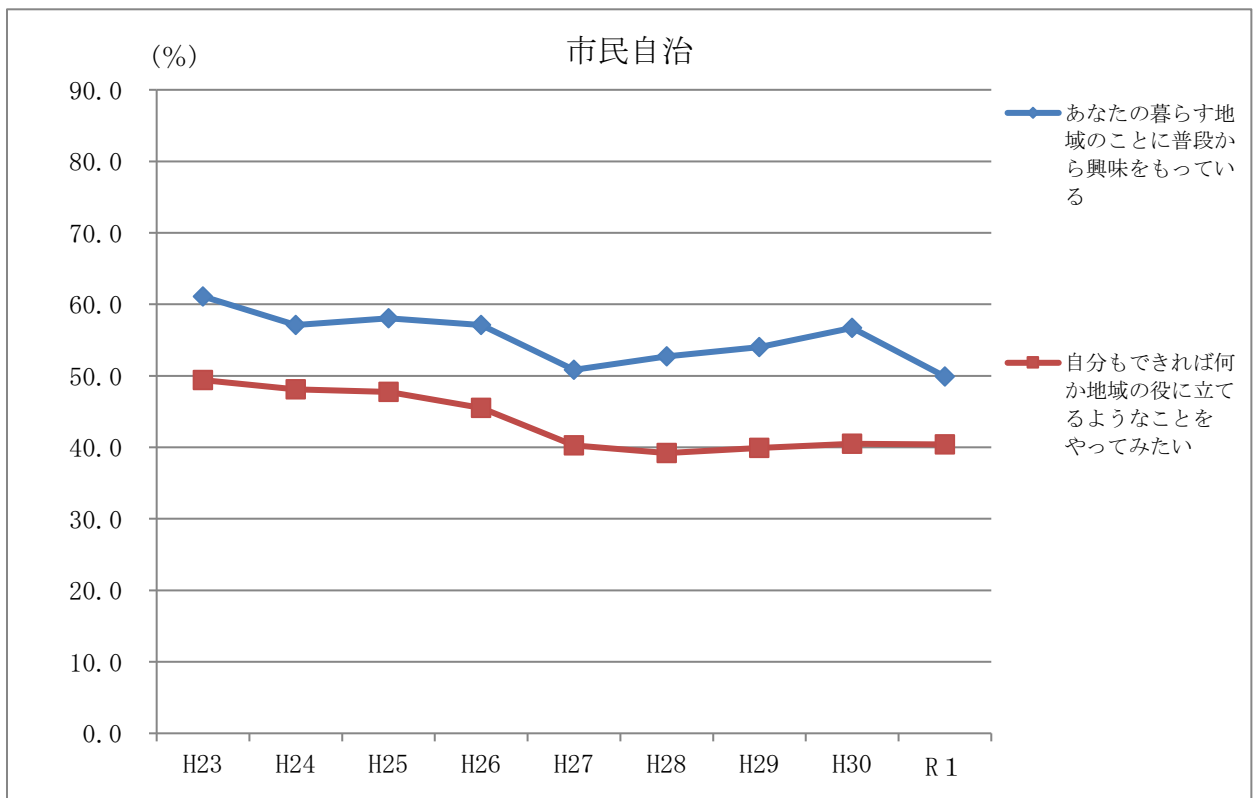
⑤大竹を愛する人づくり

「あなたの暮らす地域が好きだ」が高位をキープしており、市が行う施策において、協力が得やすい状況といえます。一方、大竹の良いところを知らない人も多く、情報発信力に課題があるともいえます。



⑥市民自治

興味をもつこと、やってみたいと思うことの間には、常に1割程度の開きがあります。



B 「モニター回答分」について

1 総括（全体）分析

単純集計結果（項目・設問別）

問・項目	設問	回答割合（回答数）						
		そう思う	少し そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	
問 1	生活 基盤 が整 った まち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	12.8%(17)	37.6%(50)	20.3%(27)	22.6%(30)	5.3%(7)	1.5%(2)
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う	26.3%(35)	36.1%(48)	14.3%(19)	16.5%(22)	6.0%(8)	0.8%(1)
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	36.8%(49)	39.1%(52)	7.5%(10)	12.8%(17)	3.0%(4)	0.8%(1)
		計	25.3%(101)	37.6%(150)	14.0%(56)	17.3%(69)	4.8%(19)	1.0%(4)
	安全 なま ち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	54.1%(72)	39.1%(52)	3.0%(4)	3.0%(4)	0.0%(0)	0.8%(1)
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	26.3%(35)	34.6%(46)	17.3%(23)	18.0%(24)	3.0%(4)	0.8%(1)
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	24.8%(33)	33.1%(44)	21.8%(29)	13.5%(18)	6.0%(8)	0.8%(1)
		計	35.1%(140)	35.6%(142)	14.0%(56)	11.5%(46)	3.0%(12)	0.8%(3)
	安心 でき るま ち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	36.1%(48)	33.8%(45)	13.5%(18)	10.5%(14)	4.5%(6)	1.5%(2)
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	45.9%(61)	39.1%(52)	9.0%(12)	3.0%(4)	2.3%(3)	0.8%(1)
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	30.1%(40)	33.1%(44)	19.5%(26)	10.5%(14)	6.0%(8)	0.8%(1)
		計	37.3%(149)	35.3%(141)	14.0%(56)	8.0%(32)	4.3%(17)	1.0%(4)
	心に ゆと りを 感じ るま ち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	33.1%(44)	39.1%(52)	17.3%(23)	6.8%(9)	2.3%(3)	1.5%(2)
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	31.6%(42)	36.8%(49)	21.8%(29)	6.0%(8)	2.3%(3)	1.5%(2)
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	29.3%(39)	44.4%(59)	14.3%(19)	8.3%(11)	2.3%(3)	1.5%(2)
		計	31.3%(125)	40.1%(160)	17.8%(71)	7.0%(28)	2.3%(9)	1.5%(6)
	大竹 を愛 する 人づ くり	大竹のよいところを知っている	26.3%(35)	54.1%(72)	10.5%(14)	3.8%(5)	3.8%(5)	1.5%(2)
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	44.4%(59)	33.8%(45)	12.0%(16)	6.0%(8)	3.0%(4)	0.8%(1)
		あなたの暮らす地域が好きだ	50.4%(67)	33.1%(44)	10.5%(14)	2.3%(3)	3.0%(4)	0.8%(1)
		計	40.4%(161)	40.4%(161)	11.0%(44)	4.0%(16)	3.3%(13)	1.0%(4)

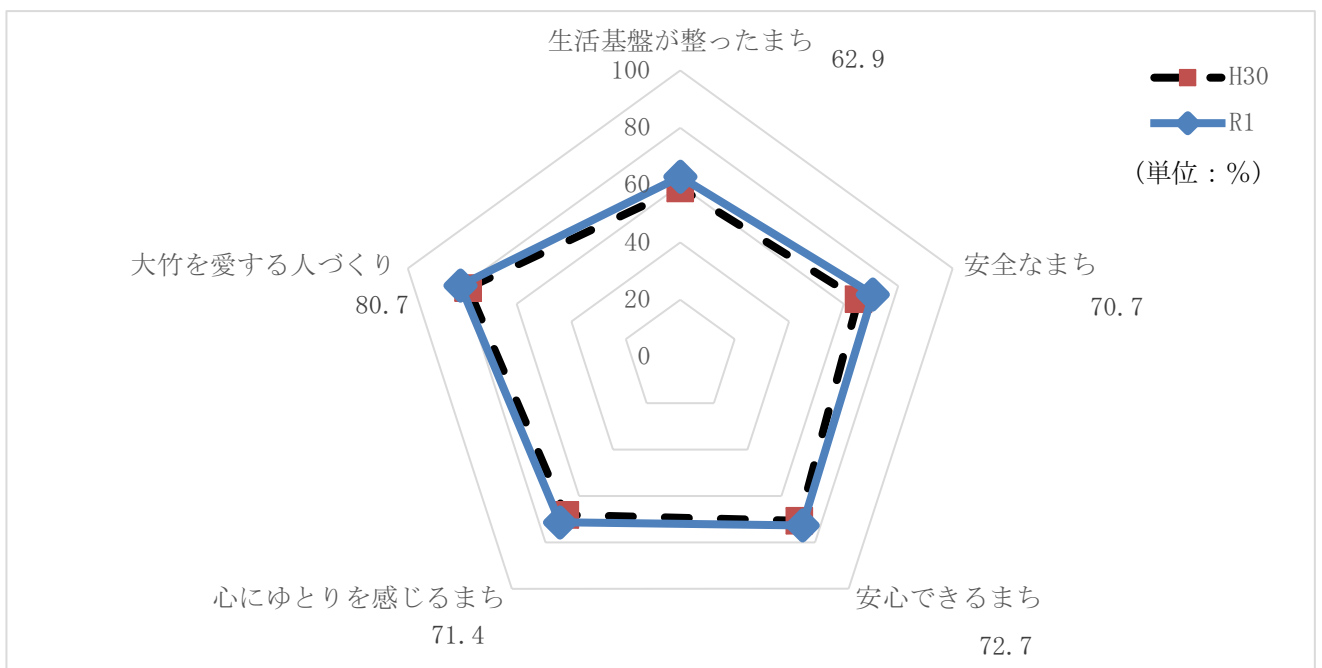
- 問1の各設問において、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」と答えた人の割合を算出し、全体に占める肯定的な回答（「そう思う」と「少し思う」の和）の割合の値の毎年の動きにより、市民の幸せ感が高まっているかどうか確認します。
- 問2（市民自治）については、問1と同様の方法により、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっているかどうか確認します。

(1) 「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

モニターには、前年度と比べて良くなっているのかどうかを伺っています。

問1全体の肯定的な回答（「そう思う」、「少し思う」）の割合は、前年度から増加し、71.7%でした。この結果から、問1全体としては、肯定的な意見が多いと考えられます。特に「大竹を愛する人づくり」の項目では、8割を超えるモニターが肯定的な回答をしています。

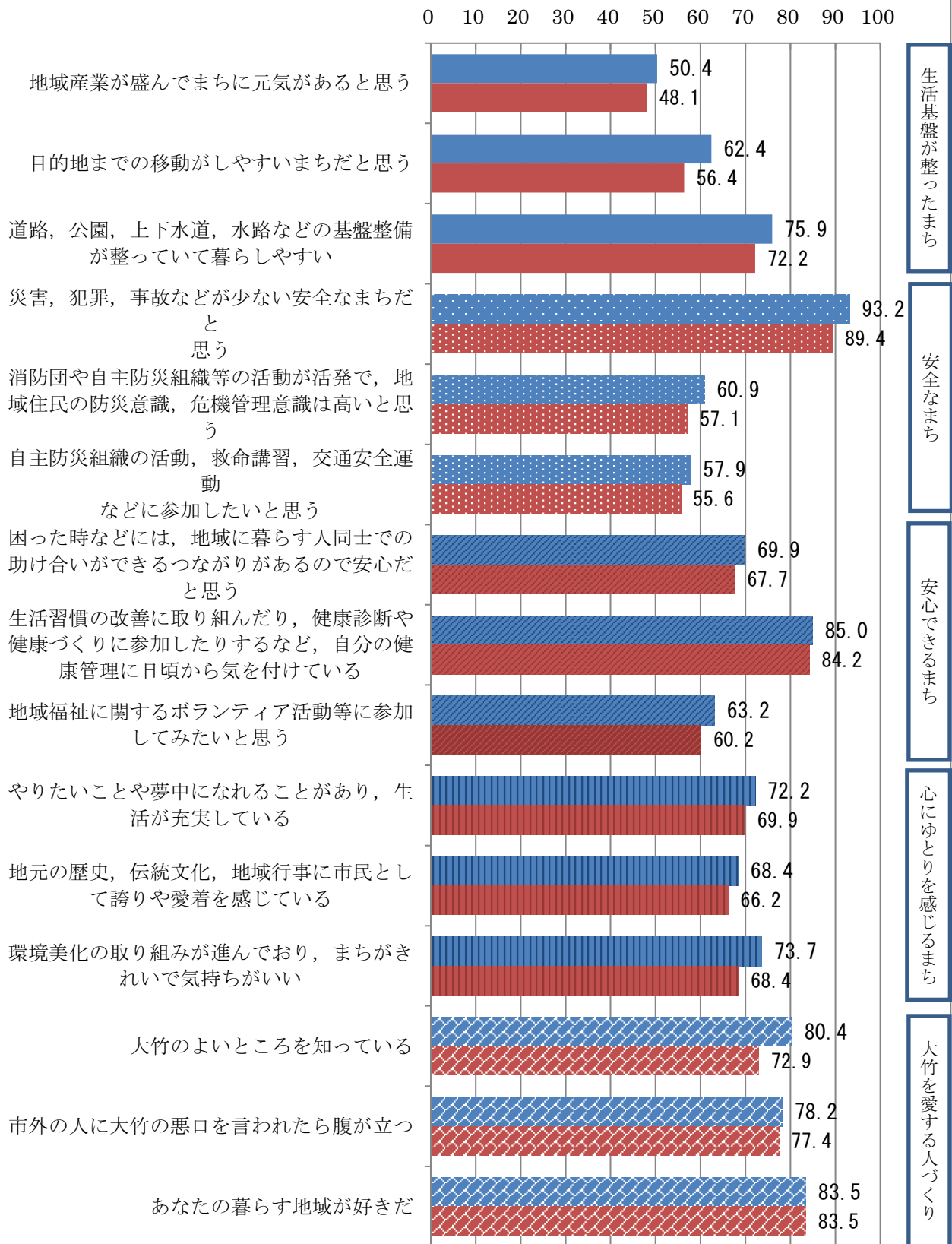
項 目	肯定的回答の割合 (%)	
	R 1	H30
生活基盤が整ったまち	62.9	58.9
安全なまち	70.7	65.4
安心できるまち	72.7	70.7
心にゆとりを感じるまち	71.4	68.2
大竹を愛する人づくり	80.7	77.9
問1全体	71.7	68.2



1年前と比べてどうかについて肯定的意見の割合

(グラフ上段：R1年度 グラフ下段：H30年度)

(%)



生活基盤が整ったまち

安全なまち

安心できるまち

心にゆとりを感じるまち

大竹を愛する人づくり

15 設問中 14 設問で、前年度より肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合が増加しています。また、前年度よりも減少した項目はありませんでした。

（２）市民自治（問２）について

問２全体での肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度より 1.9 ポイント増加し、高い水準を維持しています。

このアンケートのモニターに応募していただいた皆さんは、普段から、まちづくりに興味をもち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動しようとする市民自治の理念が根付いている人が多いようです。

設 問	肯定的回答の割合（％）	
	R 1	H30
あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	81.2	80.5
自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	75.2	72.2
問 2 全体	78.2	76.3

（３）一般の回答との比較

一般とモニターでは、尋ね方が違うので、単純に比較することは難しいですが、モニターの肯定的な意見は「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」の項目以外一般の回答に比べて高くなっています。特に「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」、「大竹のよいところを知っている」、「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」、「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」の項目は、20 ポイント以上高くなっています。

Ⅲ 自由記述「幸せ感に関するご意見、ご提案」など

※ 質問の回答になっていない記述は除いています。

1 個別の設問に関する回答(問1)

設問【自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う】について「いいえ」と回答した人がどんな活動なら参加できそうか	
子どもたちの為の交通安全	他1件
子どもがまだ幼いので一緒に参加できるもの	
地区ごとに少人数での活動	
みんなが集まって楽しく過ごす場所	
簡単な誰でも出来る活動	他2件
仕事中心のため率先的に活動参加は難しい。地域でのお手伝いくらいなら参加なら出来る	
介護防災で避難したときすぐに役にたてること	
突然イベント参加案内ではなく、どんな活動をしているか参加してどんなことをするのか得られるのか説明があれば多くの人家族が参加するのではないか	
自治会など地区リーダーが住民の意見を聞くまちづくりに取り組んでほしい	
大竹市は災害が少なく自主防災を徹底することが第一だと思う	他2件
PCによる動画発信サービス	
高齢のため行動体力を要する活動には参加できそうもない。地域の清掃、美化など自宅まわりの行事には参加できそう	
地区の美化、清掃活動	他1件
仕事で参加できないと思う。救命講習は力を入れ救える命もあると思う。	
住民全員の参加型の自主防災組織、救命講習、交通安全運動	他3件
そもそもこの間に「いいえ」で回答する人は参加したいと思わない。参加してほしいければ大竹市というコミュニティに帰属するありがたさを感じられる町をそうぞうすべき。あえて言えば参加するとともにしたら、過去2回近所で火事があったとき初動の遅さを感じたので初期消火の助けにはなりたい	
学生や社会人が参加できる交通安全、防災活動に関したボランティア。市民運動会などでバケツリレーなど火災が起きた際役立つような協議を導入	
高齢者であるため、各種活動のリーダーになるのは無理。隣近所の連絡や会議に出席する程度なら出来る	
大竹市でどんな災害が起こりやすくどんなとき、どんな状況で必要な活動なのか明確にしたうえで活動なら	
地域の中でお互いに安全確認をする	他1件
有名人などいれば参加したい	
講義	
仕事があるので時間に制約のないもの	他3件
年に数回程度で都合がつけば	
行政まかせでなく自治会活動で積極的に行うべき	
救命講習など参加したが実際に活用するには少し物足りなかった。もっと現実に直結する活動があれば参加してみたい	

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が参加してみたいボランティア活動	
健康づくり、イベント	
子どもに関わること	他1件
本の読み聞かせに使用する本の整備など手伝う	
見守りボランティア活動	他1件
高齢者福祉	他4件
清掃活動、高齢者の日常生活支援	他1件
地域の清掃活動など	他7件
ごみのポイ捨てが気になり散歩の途中に時々拾って帰ることもありますが、地域の人と協力してごみ拾いなどボランティア活動があれば参加したいです	
地域清掃や災害ボランティアに登録するなど	
ホタルなど自然保護活動、まちの災害ボランティア	
災害復旧活動	他4件
自治会役員	
自治会、消防団、地域・市民団体、NPO法人	
イベントのお手伝い	
短時間で単発で参加できるもの。過度な親睦を深める。ボランティアの必要な風土	
時間に余裕があればいろいろやってみたい	
一緒に楽しんで取り組めるもの	
背伸びするのではなく、声掛けなど自分出来ること。お花が咲いたら届けてあげるなど	

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が今実際にやっているボランティア活動

子ども食堂	
朝にラジオ体操	
2年前山口県のゆめ花博に障害を持つ子どもと遠足に行くボランティアに参加しました	
青少年育成市民会議	
NPO法人「ハローの仲間」	
小学校の下校時のパトロール, 老人会の会長, 駐在所の定期会合, 自治会集会所や公園の美化	
踊りや歌で老人ホームなど慰問に行っている	
月1回お年寄りと運動したり, ゲームをしたりする活動をしている	
老人会のリーダー	
高齢者の相談生活などを受けている	
生き生きサロン・百歳体操	
地域福祉活動として日本舞踊の指導, 老人施設の慰問, 26年間続けています	
難聴者・中途失聴者との相談役	
足の不自由な人の送迎	
すでに参加している(点字)	
お互い様の気持ちで困っていたらお手伝いしてる	
地域の防犯パトロールをしているがあまり関心を示さない人が多い	
ご近所や道で会う人に話しかけてつながりを持つように気を付けています	
楽器演奏, 歌, 踊り	
道づくり活動	
神社総代	
自治会活動など	他4件
自治会の清掃活動の参加	他2件
大竹里山登山道の整備	
ポイ捨てはしない。ペットのフンは必ず持って帰る。ごみの分別	
一人で街路に花などを植えたり。草を抜いたりしている	
葬儀の世話	

設問【環境美化の取り組みがあれば、教えてください】

道路に落ちているごみ拾い	他10件
公園の草取り, 花壇の美化	他15件
地域の美化作業への参加	他12件
ごみ袋をカラスがつつき, ごみが散らかっている。気が付いたときは周りをきれいになっている	
自分の家の周りの歩道や公園の清掃	他11件
自分の土地について草刈りや花を植える	
近所の空き家周りをきれいになっている	
野良猫対策	
ごみの分別をきちんと行う	他6件
外出中に出たごみは持ち帰るようにしている	
ごみの回収する場においてネットをかけられない事例でカラスが袋からごみをつつき散らすことがあった。1年に過去5回ほどごみをまとめた	
ごみを減らすよう心掛けを常にしている	他3件
スーパーなどにエコバック持っていく	
里山登山道の整備	
道づくり活動	
墓地などの空き地に花を植えている	
大竹祭無形文化財と共に大瀧神社の建物も近郷近辺にまれに見る立派なお屋敷。大竹の先人の遺産の紙すき, 生糸などの財によって造られた。大切にしたいもの。大竹市も応援よろしく願います	

設問【大竹のよいところを知っている】について、「はい」と回答した方が考えるよいところ	
海・山・川など自然が多い	他25件
海山両方ある。自然がたくさん。ストーンアート	
海山が近く、山陽本線や国道2号線が通っていて生活が便利。工業商業のバランスもほどほどで良い	
海山に近い自然が多い。伝統文化を大切にしている	
海山もある。鉄道・高速道路・空港も近い。平地で自転車で活動しやすい。コンパクトシティ	
山海に囲まれて住む場所としては最高。西の錦帯橋、東の宮島の間で何か知恵を	
海山が近く自然が豊か。市街地に鉄道、高速道路、国道2号線が通っている	
海山川など自然が豊か。JRや錦帯橋空港など交通機関が身近にある	
海山がある中ゆめタウンなど栄えた場所もあり暮らしやすいまちだと実感している	
海山が近く環境がよい。高速道インターチェンジJR駅が近く、地域へのアクセスに便利	
自然がいっぱいで山海でのレクリエーションがやりやすい	
栗谷の空気がとても澄んでいて、とても落ち着く。田舎に行くほど人のやさしさが伝わる	
栗谷は自然に恵まれ水も美味しく、お米も評価が良く自慢出来ること	
三倉岳、自然の多さ、海の近く、交通の便よい	
三倉岳	
三倉、蛇喰、キャンプ場	
住み始めてからまだ少しなので、これから大竹市の良いところを知りたいと思います。三倉岳のみみじがとてもきれいでした。今年は登山ができたらいいなと思います	
自然が多く気持ちがいい、買い物や病院駅が近く便利	
家の前にきれいな花を植えてる。心がなごみます	
安全なまちだから	他1件
災害が少なく、生活の中心となる買い物する場所の便利が良いこと	
大きな災害がなく、自然がいいから	他1件
地形の関係で災害が少ない。まちがコンパクトなので移動が少なくで済む	
地域の方が子どもの登校を見守り、休日でも仲良くし、気にかけてくれて感謝しています	
地域の人たちがやさしい。広島市内、山口も近く県外の人受入れも寛容	
行事に参加し顔見知りも増え、これからも参加したい	
人と人が近く温かい地域。交通の便利は良い	
人が親切でやさしい	他8件
皆がやさしくてよくあいさつをする所	
市民は比較的相互協力意識が強く団結力があると思う。また公的活動にも理解が深いと思う	
どの年代の方も手軽に話しかけて下さり、人と人のつながりを感じることができる。市役所も相談しやすくとても良い	
近所付き合いが良い	
住んでいる人が大竹に愛を持っている人が多い	
住民がやさしい、初心者でも運転しやすい道路、危険運転がない	
公民館で働いている方など活気がある。楽しいイベントが多い	
公民館や体育館での文化、運動などグループ活動が盛ん	
大竹は道路を走る車がゆるやかで都会から帰るとほっとする。住人もせかせかせずにのんびりしている	
人口が多すぎないところ	
人が多すぎず、ある程度の産業があり国道と鉄道が通っているため、落ち着いて快適に生活できる。犯罪や災害が少なく、安心できる	
田舎だけど色々な背景を持った人があつまっているの閉鎖的ではない。海も山も近いので自給自足生活が楽しめる	
大竹の田舎で生まれ育ち。まちの中で長く暮らしていると捨て難い人間関係が出来ていて愛着のあるまちと言っているところ	
コロナウイルスの中で教育施策について大竹市のみ取り組みや教育活動の方向性の決定が早かった。良い印象を持っている。感染者がまだ大竹市は0ということも市の施策と市民の思いが一致しているからその数字なのは	
今回のコロナでの給付金の対応も県内の他市より早く良かったと思う	他1件
市役所の職員の対応が良い、自然がいっぱい、公園整備など人が集まる	
福祉が充実している	
地域のサロン活動が活発	他1件
地域でのいろいろな活動	
コンパクトシティでコロナウイルスの中で市外に出ず、生活できた。海山川が揃っている	
小さなコミュニティながら地域全体で繋がってられる連帯感がある。必要最低限の施設にも恵まれ、全体としてコンパクトなまちとなっている	
小さなまちであるが、必要な施設がそろっていること。海山川と自然が豊かで近くにある事	
コンパクトだが何でも揃うので住みやすい。コロナでも市内の生活で大きな苦痛なく過ごせた	
大きすぎず小さすぎないコンパクトな市	他1件
都会すぎず自然豊かで病院などが多くあって住みやすい	
住みやすい。どこに行くにも近い	他5件

三ツ石地区, 栄地区, 川手から坂上地区などに連絡バスを走らせ各地区の交通手段が確保されている	
私はあまり利用することはないが, こいこいバスに助けられている人々が多い。パトカーの巡回が多くみられ安心です	
交通の便が良い, 山海に囲まれ自然が豊か, 人口が少なく, 学校の生徒数も多すぎないので, クラス全員が顔見知りになれる	
広島へ行くのも駅が近い。電車も本数が多い	
山口と広島どちらへもアクセスが良い。ただ2号線が寸断されたら孤立するのが恐ろしい	
大都会にも自然にも近く, 立地条件に恵まれていると思う	
広島県のはしであるところ。以外と地名が知られているところ	
のどかなところ, 騒音が少ない	
まちが静かなこと	
祖父母が住んでいた田舎に帰省することが毎年楽しみだった子供のころノスタルジーを今も感じる。山に入れば田舎独特のにおいやたけのこ。祖父とはやを釣った思いで。しいて言うなら「あつ森」のようなフィンキを感じれる数少ない地域だと思う	
生活するには十分だが適度に田舎	
のんびりして平和なところ	他2件
現在まで大きな事故事件もなく平穏無事に過ごしてきている	
最低限の生活ができるところ犯罪も少なく夜も静かで暮らしやすい	
特に良いところ悪いところがあるわけじゃなく, フラットに暮らせる良さ	
大きな会社があり働くところがある	
お店も数, 種類が充実している	
ゆめタウン方面の買い物	
商業施設があるから	
食料や日用品など必要なものがすぐに購入できる。子育てにおいていろいろな支援が整っている	
駅, 高速, ショッピングセンター, 公園, 病院と揃っている。都会すぎない田舎すぎないちょうどいい	
体育館, 図書館などの公共施設が整っている	
公園や道がきれい	
公園が多い	
大きな公園がある。海山がある。こいこいバスがかわいい。母子手帳がキャラクター。市の財政が潤っている。小学校が校舎がきれい。コイ・こいフェスティバル楽しい。(消防士さんの寸劇やパトカーに乗れたり)子育て支援センターの栄の毎月手形アートがかわいい。宝物	
晴海がきれいに整備されている	他5件
晴海臨海公園, 亀居公園	
よく考えてみるとスゴイまちより良いところがあります。水が多いところ。水道料金が安いことです。それと石の	
アートも面白いです。晴海公園も進化していますね	
まちが整備されている	
上下水道, 水路など整備されている	他3件
上下水道が完備され, 水道料金が他の地域に比べ安いところ	
数十年前からの計画が進められていたり良いと思う	
工場の夜景がきれい	
工業がさかん, 自然豊か	
風光明媚, 工業が盛ん	
戦後のコンビナート地帯へ。各都道府県民の方が大竹市民になって。住みよさランキングの当県では1位が大竹市だと聞いて誇りが持てた。また考え方が保守的でない方々が多い	
玖波港の堤防の裏の砂浜	
亀居城	
和紙のまち	
FBで大竹の歴史を知るイベントなどよく目にする。みんなで一緒に頑張ろうと思える	
地域のイベントは他市町村と同じく行われている。大竹祭は伝統があり愛着もあるが近年自治会の運営が厳しくなり全体的に変えなければと思う	
昔から続いている祭や雛流しなど伝統文化がある事。イルミネーションは毎年楽しみにしています	
伝統的な祭りごと	他2件
大竹祭を毎年継続している	
秋大竹祭, 伝統を大切に, 地域全体で守っていているところが良いところだと思う	
歴史があり人もやさしい	他1件
歴史のあるまち, 有名人も出ている, 産業のまち	
昔ながらの行事をしたり, 新しいことにも取り組んでること	
玖波1丁目公民館のラジオ体操	
弥栄まんじゅう	
大竹が好きです	
ほとんどが消えてしまいました	
普通	
良いところがない	

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「はい」と回答した方が、特に好きなおところ	
55年大竹に住んでいるので立戸からは離れたくないです	
あいさつが良く行われ、人情味がある	
安全なまちであること	他1件
田舎すぎない	
田舎なところ落ち着く	
犬の散歩で公園に行くけど市民の皆さんの人柄が良く、話しやすい。環境整備が良い。工場の夜景がきれい	
犬のフンの処理やごみをポイ捨てしてない、社会的ルールを守ってること	
海が近いので	
海川が近いので散歩すると気持ちがいい	他1件
海山も見える	他1件
駅、銀行、コンビニが近くにある	
駅が近い。電車が見られて子どもが喜ぶ(大竹駅北側線路沿い)	他3件
駅が近いし、静か	
駅が近く、昔ながらの商店街がある	
小方に住んでいるので、ショッピングセンター、郵便局、病院、市役所、コンパクトにまとまっている	
小瀬川沿いのランニングコース	
小瀬川に立派な遊歩道があるので散歩を楽しんでる	
落ち着いてる	
思いやりがあってコミュニケーションが良い	
買い物の便利さ	
買い物も市役所も自転車で時間をかけず行ける	
亀居城公園が静かで良い	
川がきれい	
川が近く散歩も遊歩道があってよい。駅も徒歩で行けて便利	
環境も温暖で暮らしやすい。特に不便を感じない	
気候が温暖、災害が少ない	他1件
教育機関が近く、通いやすい	
近所付き合いが良い	他6件
近所同士が仲が良く、何かあったら子どもを預けたりしている。子どもが大切と思える近所の人が多いのでありがたい	
近所同士の挨拶、川、山	
近所の方もやさしく、良い人である。買い物も便利で行きやすい。幸い災害も少なく安心だ。住宅も住みよい	
近所の人が良いしてくれる。JRの駅も近い。	
近所の皆さまに親しく接してもらって安心。悩み事も言えたり出来る	
近所はほぼ平地で自転車での移動も楽	
区域的には広くも狭くもないが海山が堪能できる。人情がある	
空気がきれい	他1件
具体的にはないが、生活しにくい環境ではない	
グループホームさくらで過ごしている	
下水道の完備。災害が少ない	
公園が充実、生活の利便が良い	
工業のにおいが嫌で他の地域の人から指摘されたり嫌がられますが、静かで落ち着きます	
高速道路の便利の良さ。文化向上の意識が高い	
交通が便利。ストアが近い。習い事が沢山ある	
交通事故も少なく、犯罪もゼロ(団地)。山も海も歩いて行ける	
交通も便利。車でも三倉岳・栗谷の田園風景・ダムも整備されている。川もきれい	
子どもたちが走り回っています。活気に満ちあふれている	
子どものときからいままですべて同じ地区に住んで愛着がある。でも昔と違って住民の付き合いは少ない	
この町に長く暮らしているため	
コンパクトシティ、すべてが近く、凝縮されている	他3件
災害が少なく住みやすい	
災害や犯罪がなく安心して過ごせる	他2件
最近引越してきたばかりですが花壇を良く目にするので気持ちが安らぎます。公園も整備されているように思います	
市街に住んでいて人の従来がそれ程多くなく静かまちである事がすき	
静か。買い物が近くて便利	
静かで暮らしやすい	他7件
静かで生活しやすい。警察署が近くにあるため、安心できる	
自然、道路など美化整備	
自然に囲まれて鳥のさえずりを良く耳にする	
自然の豊かなところ	他5件
自宅の前をきれいにしています。やさしい人が多いです	

自宅のまわりに生活に必要な店舗や公共施設が揃っている	
自治会活動や人と人とのつながりに昔ながらの「ほどほど」の距離感があり気疲れしない	
自治会で色々考えながら住民が参加できる仕事をしている	
自治会の人達が大変良い	
市内や県外から帰るとほっとする。静か	
自分のまちだから	
住人同士仲が良く、助け合いや挨拶もちゃんとしている事	
上下水道が整備されている	
ショッピングがある程度便利だが、もっと増やしてほしい	
人口が少ない分、人とのつながりや仲の良さが感じられる	他2件
スーパーがたくさんあり便利	
スーパーや公園ドラッグストアがあり住みやすい	
住み慣れている。地域の人子どもに良くしてくれる	他2件
住みやすい。どこに行くのも近い。平和。まったりのんびり	他3件
住んでいる地域が比較的新しく整っている	
住んでいるところだから	他4件
住んでいる人がこの地域を愛している。近所の人同士話しやすい	
生活するなかでほどよくお店があるので困る事があまりない	
生活の便利さ(ショッピングセンター・大竹インター・市役所に近い)自然に近い	
全体的に住みやすく、いいところだと思う	他3件
大膳川	
高台にあり、眺めが良い点	
田畑があり大変ではあるが楽しみもあり体力が続けば空気も良いいところ	
地域住民のつながりが安心	他3件
地域性によって多少の性格が違う感じがする	
地域の交流が多いところ	
地域の人たちがいつも気にかけてくれる。やさしい。困っていたら助けてくれる	
地域の人達と慣れ親しんでいる。地理感からもふるさとという安心感がある	
地域の人々はおっとりしているところ	
人間関係が良い	
地域の歴史文化	
小さいころから住んでいるから。伸びしろはありそう	
小さいころの楽しい思い出が忘れられないと思います	
小さなコミュニティながら地域全体で繋がってられる連帯感がある。必要最低限の施設にも恵まれ、全体としてコンパクトな街となっている	
近くに大きな店があり買い物が楽に行ける	
都会すぎず田舎すぎないところ。地元なので知り合いが多い	
都会でなく田舎に近く自然がある。地域の人やさしい	
長く住み自治会活動を通じた交流	
長く住んでいるので近所の様子が分かり、住めば都といったところでしょう	
長年大竹で暮らしているから、他の町で暮らしたことがない	
西栄に住んでおり、愛着がある	
年齢構成のバランスが良く自治会活動も安定している	
のんびりと生活ができている	他1件
母の実家も大竹、父の実家も和木なので生まれたときから大竹なので親戚も近くにいる	
晴海公園散歩コースによく使用する	
晴海公園周辺、蛇喰、三倉岳	
晴海は店が近くにあり、手の届くところにすべてが揃っているので生活しやすい	
晴海臨海公園	
犯罪が少ないと思う	
比較的安全なところ。通過する車で結構危険を感じる	
低山の登山が出来る。自然環境、都市も近い。交通が便利で広島に行きやすい。早く駅を整備して東口を作ってほしい	
人があたたかい。助け合いができる	
人があまり多くなく、のんびりしているところ	他1件
人がやさしい	他2件
人々が好き	
病院・お店全体的に暮らしやすいところ	
表現することがない	
福祉が手厚い	
福祉とか地域活動などが盛んです	
平和	
平和だと思います。子どもたちをも守ってくれる年配の方々には頭が下がります	

便利の良さ	他2件
ほぼ歩いて行ける	
町が小さいので移動が少なく最低限必要なことはほぼ近くで済ませる。高齢者には楽で良い	
まちきれい。玖波一大竹バスがある。トライアルが出来た。24時間営業	
街並み	
街の人みんな子育てをしているような関わりを持っているところ	
マロンの里など大人、子どもも自然に楽しめる	
周りにめんどくさい人がいない	
皆さんとても良い方ばかりで安心して生活が出来ます	
皆さん良く笑顔であいさつしてくれる	
みんなが協力する	
昔からいる人新しい人の交流がもっとできればいいと思う。基本的にやさしい人が多い	
目的地まで移動がしやすい	
山風川風がとても気持ちが良い。静かで良い人が多い	
山川緑に囲まれ自然豊かでとても心地よいです。温泉がひいてあるところも大きな魅力です。桜が咲くときは最高に美しいです	
山野	
友人・知人が多く暮らしているし、愛着があるから	他1件
ゆめタウン。トライアル、コメリ、大型遊具のある公園、高速ICがあり、子育てに適した環境が整っている。瀬戸内海に面して景色が良い	
夜は静か	
立地的には良いです	
自分が生まれ育った町であり、住みやすく愛着が持ってる	他4件
周りにスーパーなどがあり、歩いて行けるところだから住みやすいし、欲しいものが欲しいときに手に入る	

設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「いいえ」と回答した方が、好きになれない理由	
秋祭りをもっと自由に	
空き家が多い	
田舎ならでは近所の干渉が強い。世間がせまい	
今はコロナで自粛中にて静かであるが時々オートキャンプ場で大騒ぎ、爆音でキャンプをされている方がおられるのが残念です。キャンプ場の方は注意事項として伝えていらっしゃると思うのですが	
岩国基地(飛行機)の騒音	
生まれ育ったまちではない	
うるさいおばさんが多い	
駅前をはじめ旧大竹町内の商店街、公園など人の行き交い	
大雨の際、道路が冠水してしまう。夜に街灯がなく暗い	
大竹市外へのアクセス道が整備されていない。近隣市町より福祉への支援取組が悪いと感じる	
価値観の違いかな	
活気がない。商店が少ない。レジャー施設が少ない	
近所でもあいさつしない。ごみは8時半以降に平気で出している	
近所にアパートが増えすぎた。土に触れられる場所が減少した	
空気があまり良くない	他1件
空気が臭い、爆発が時々ある	
空気がくさい。となりの岩国市では給付金がプラス2万円、大竹市はないのはなぜ？	
玖波にはお店がない	
公共施設の利用に差別があるから。市税を払っているのに市の設備を利用してもいいのでは	
公共の道路での子どものボール遊びがひどく車の運転が苦痛です。学校での指導をきちんとしてほしい	
工場からの悪臭が気になる。小さい子を育てているので心配	
工場から排出されるガスの関係でにおいのあるまちだ。朝夕の渋滞はひどすぎる。津波対策など行われる心配がない	
交通の不便さ	他1件
交通量が多く、窓を開けられない	
高齢者が多い今日、いまだに大竹駅にはエレベーターもエスカレーターもない。サントピアのプールも予算がないということで12月に故障したのに修復してくれない。高齢者の福祉にはとても冷たいと思っています	
子育て世代、子どもたちへの福祉をもっと充実してほしい。	
子育て世代でもない孤独には特にここに住むことのメリットを感じないし、他に比べ住民税が高い	
子育て世代にもう少しゆとりを持てる援助をしてほしい	
子どもたちが道路で遊ぶのが当たり前の地域。親も一緒になり、キャッチボールしたりバレーボールしたり自転車で住宅の中のあちこちの道から当たり前に飛び出す。車なんて気にしないで、よその車にボールを当てても気にしない。自分の地域に限らずどこもなのかもしれないが道路は通路であって公園ではない	
子どもたちの関わりが難しくなっています。もっと子育て支援に力を入れてほしいです。競争社会であること、ゲームなど人との関わりが少なくなったこと	

子どもの遊べる場所がなく、いざ遊んでるとクレームがつく。もっと子どもたち、若者を大事にしてほしい
細かく嫌みが耳に入る
自己中心的な人が多い
仕事がない。雇用をもっと増やしてほしい
市民プールや小方小学校跡地がそのままの状態になっていて改善の方向性が見えない
地元じゃないし、あまり好きではない
地元ではない。工場が多い。遊べる場所がない。考えが古い。子育て支援がない。年寄が多い。若者が少ない。働ける場所が少ない。工場が臭い。いい病院がない
地元の人で凝り固まって他を寄せ付けない
渋滞が多い。道路が狭い
住民同士の連帯感がうすれている
商業施設が立地が不便な所にある
商業施設も学校や幼稚園、病院などすべてが必要最低限のものしかなく、何かをするにも近隣の市へ移動しなくてはいけない
白石地区の道路の悪さ、段差、大竹小学校前の道路の草、大竹市役所の玄関周り、国道から正面を見ると花木の手入れがおろそかに、他県の人がなんと汚いと言っていた。油見みどり橋のごみ、草、土、取り除くようにしてほしい
住まいの場所が悪いので大型トラックがうるさい。ほこりっぽいので洗濯物が干せない
住み始めたばかり
他2件
住んでいる地域は自治会のメンバーが変わらないので何の変化も取組もない。親が班長をやっても達成感を得ることがなく、言いくるめられ議会なども自治会を監視しないのか？(御園2丁目)市営住宅もまわりの人を考えず自分勝手にしてる人が多い。生活保護の人が贅沢しすぎ。きちんとしている人が損する市になっている
高い物価
端的に言えば娯楽がない。2号線がある事による騒音。ルールを守らないごみ捨て
地域との関係が希薄。娯楽が少ない。子どものころいじめを受けた思い出がある。市外に出ないと買いたいものが売っていないので買えない
地域のお墓がない
地域の格差があるため
地域の活動をする人が限定されているので幅広い人の参加ができる仕組みがあればいいと思う
地縁、血縁のないものにはやりにくいところがある
町内に商店がない。ちょっとした個人商店が全然ないのでわざわざゆめタウンに行くしかない
年寄りには住みにくい。店などがなし自動車が多い
人間関係
人間関係が自己中心の人が多い。他県より来る人を何年たっても受け入れない
人の悪口を地域全体に言う皆で行動起こし、やりきれない
1人でいたい
プールが使用できなくなり、足の調子が悪くなった知人が何人もいる。障がい者仲間。プールのトイレが破損したときも一年以上改善されなかった
毎日ではないが外の空気が悪いときがある。においが気になる
他1件
元町に住んでいるが自治会の運営が厳しい。地域コミュニティがなくなってしまう。自治会なんて必要ないと思っている人が多い。高齢化が進み若い世代への負担が多く脱退する人もいる。自分もそうした方がいいと思う。そういうまちには住みたくないと敬遠されるかもしれない
若者が住むことに魅力を持たない
悪口に対してあえて反論するつもりはない

2 市民自治について(問2)

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人がやってみたいこと	
医療系の仕事なので医療福祉にかかわること	
看護師の免許があるので役に立つことがあればと思います	
運動	他1件
お年寄りの手伝い	
グランドゴルフ	
現在もやっていますが玖波の伝統を引き継いでいる	
公民館活動の輪を広げる	
高齢化が進む地域なので高齢者の手助けになる活動に参加したい	
子どもたちとスポーツをしてみたい	
子どもの安全にかかわる活動	他2件
ごみ拾いのボランティア, 花壇の世話	
すべての場所の草取り, 車で走りながらももう少しきれいにして道が美しくなれば公園に花々を咲かせている	
コミュニティFMラジオ局	
市議員を減らすこと	
市政に参画する	
自然をより豊かにする活動。花いっぱい町づくり	
自治会を盛り立てること	他3件
自治体独自のハザードマップづくりや戸別の避難方法と声かけ助け合いの仕方のマニュアルづくり	
市内に花壇, 花, 木を増やしたい	
大和病院から元町2丁目の三国醸造まで土手川岸に毎年咲く宿根草を植えたい	
市民の為の健康作りなどのイベント	
環境問題	
地元の歴史伝統文化地域行事	
スポーツ指導	
地域が高齢化している。高齢者が楽しく話せるまちづくり	
地域住民の皆さまの健康に寄与したい。医療職志望	
地域で困っていることがあれば助けたい	
地域におけるコミュニティの振興	
地域のイベントへの参加	他2件
地域の子どもたちとの交流機会の向上	
地域の伝統行事の保存に協力していきたい	
地域の美化活動	他2件
地域の見守り, 見回りなど	
小さい子たちに手作りの竹細工などを教えてみたい	
老人から子どもたちが出来るスポーツ活動	
老人ホームと幼・小学生の交流。空き家を民泊に貸し出し	
地方を元気にする老人を目指している	
同年代の子どもを持つ親との交流	
日常の生活の中で自然にできる市民自治	
農地改革	
範囲は自宅の近くでときに資格を持たない自分でもお手伝いできる作業	
日頃の仕事を通じて実践している。自分も高齢者だが今は元気がないので困っている高齢者に何か役に立ちたい	
人とコミュニケーションをとるのが好きなので民生委員みたいなことに興味がある	
人の役に立つこと	
歩道に花を植えたい	
ボランティア活動	
街の清掃美化, 三世代の交流, 老人の生涯	
民生委員など, ただし年配により引退している	

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「今実際にやっていること」	
福祉委員	
清掃活動	他1件
狭い庭の手入れ	
地域の役割	
老人会の役員	
大竹里山登山道の整備	
自治会活動への参加協力	他2件
知人友人子どもたちとその家族で集まって運動グループを作っている	
近所の人仲良く助け合えるところ、協力したいと思う	
自治会役員	他5件
ご近所であつたらあいさつ	他1件
一人暮らし高齢者訪問、話し相手となりコミュニケーションをとってる	
微力ながら地域の高齢者サロンの続行に努めている	他1件
今は忙しくてできない	他1件
玖波公民館活動は本当に素晴らしい	
サークル活動	
サービスに行ってる	
まちを美しくみんなが気持ちよく過ごして心が和み気分転換ができれば。公園に花々を咲かせている	
年配で役に立つことはできない	
老人福祉	
市政の情報を集める	他1件
将来この地にて働く準備として様々な修行を積んでいる	
仕事している	
奉仕活動には参加している	
地区の有志の活動を主導から役割を担っている	
地区役員、自主防災組織	
地区の自治会の役員や環境の美化など協力	
ごみの分別	他1件
足腰の強くて自分のことは自分でやる	
声をかけている	
市議会議員、FMおおたけ、消防団、自治会役員	
大竹駅伝のお手伝い、地域の清掃など	

設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が、やってみたいと思ってもできない理由	
いつどこで何をしているかわからない	
今の階段では特に自ラ力不足および住民の皆さまに関して理解の不足	
大竹市の地域性、人間性が嫌い	
夫の介護と自分の体調不良	
学業が忙しい	
可もなく不可もなく	
気持ちはあるが何をしたら良いかわからない	他5件
現在は会社員で働いているので現実的ではない。将来やってみたいこと。毎日活動されている方々は素晴らしいと思う	
工場などの局地的な温暖化現象	
子育てと仕事が忙しく、休日はゆっくり過ごしたいから	
子どもが幼く常に一緒に行動となる。もうすぐ育休が終わり職場復帰するため	
子どもが小さいので大きくなって自分の時間がもてたらやってみたい	他2件
手がかかる子どもがいるので	
作品を見せる場所がない	
参加できる日程はいつも合わない。市の行事全てに参加できなかったことがないのでわからない	
市議会議員を若い人がやれる環境をつくる	
時間が不規則な仕事なので計画が立てない	
今は仕事が忙しく時間がないから	他20件
仕事が多忙で合間に実家で親の世話や手伝いがあったりするので体がついていかない	
仕事が早いときは5時～夜10時になることもあります。帰ってきて翌日の段取りがあるので時間がない	
仕事や生活のゆとりができれば自分なりに地域に役に立てる事を見つけてみたいと思います	
仕事で疲れるので休める日は休んでいたい	
仕事や私生活が優先されるため	
仕事を持っているし高齢なので実際は無理だが犬の保護活動	

自治会自体が他人が良くなることは協力しないため地域全体良くならない	
自治会の考え方が古いから若い人が意見すると「だまれ」と言う人がいる	
自治会の理解	
世話をするのかリーダーがいない	
体調が良くない	他5件
体力がない。お金もかかる	
体力に不安がある	他2件
体力の減退、一人暮らし、介護施設入所の妻が心配	
健康面で無理なことが多い	
身体が不自由なため、行動することが出来ない	他2件
気持ちがあっても体力、気力が続かない	
地域の皆さんは年を取って家からでません	
定年になったらやってみたい	
高齢のため	他15件
役立ちたいと思いますが年齢的なこと。体調を考えたり自信がありません	
腰が痛い	
出来れば役に立ちたいが普段は仕事しているので実際は難しい。休日は家のことがある	
なかなか日時が合わない	
バカなので手先が不器用だし不得手ばかりなので何もできません	
恥かしい。時間がない。情報へのアクセスする手段がよくわからない	
働いていたり家事があると周りのことに気を使えない	
母と妻の介護で手一杯	
若い人たちは市民自治に無関心。参加することへのメリットを持たない	

3 心配に思っていることと解消する方法(問3)

◎項目「生活基盤が整ったまち」

○設問【地域産業が盛んでまちに元気があると思う】

心配に思っていること	解消する方法
複合施設がない	子どもも大人も楽しめる施設があるといいと思う
高齢化が進み若者が少ない	-
駅付近の商店街に活気がない	-
仕事があり、人手も足りないのに若者がいない。空き家がたくさんあるので移住プランや移住特典を考え田舎への移住者を増やす働きかけをして欲しい	-
産業が盛んとは思えない	若い人の就職を増やす
仕事がない	-
ファミリーレストランがない	-
元気のあるまちとは思えない	-
大型スーパーに客が吸収され個人商店はシャッターを下ろし、本通りでも住宅が建ち「商店」が減って淋しい	売れないのか夕方の閉店が早い。もう少し時間をのばせば
若い人たちが魅力を感じ働きたい仕事先がない	魅力ある働き先を作る
商店がないので買い物ができない。飲食店もないので活気がない	駅前を中心に店舗ができるように。空き家とか未利用地に店舗を整備できるように
まちに元気があるとは思えない。買い物、日用品は一応そろうが他の地域に行く事が多い	-
コンビニ以外の企業の誘致の展望	市内には山間部が多くありこの部分の開発を展望してみる
住民へのアピール不足	住民へのメリットがスマホでも確認できるようにする
大竹駅周辺の活気がない	開発を促進させる
市としての魅力のアピール力	三倉岳や阿多田島等をもっとアピールし観光に注力する
名の通ったチェーン店でも閉店すること多い。2号線が通っていて空き地が多い。まちが死んでる	誘致を上手にする
工場が多いわりに何を作っているのかよくわからない。ふるさと納税の返礼にゴルフボールがあることを知ったがどこで作られているのかわからない	会社名をもっと宣伝し、見学会を開いたり広報に毎月1社ずつ載せるなどした方が良い
閉店するところが多い	-
回転すし、ユニクロがあったらいい	-
地元企業の顔が見えない	法人税収入ある。大竹市のPRが不可欠
シャッターの閉まっているお店が多い	若い人が入ってくる必要がある
商店街が土日に閉まっているので行かなくなった	-
駅前商店街の活気がない	地域に関する物や特産物を売ってみる
以前に比べて商店が減った。規模が大きいところしか生き残れなくなっている	市としてもっと助成や活気が出るイベントなど行ってもいいと思う
皆が集まってくれる場所が少ない。大竹でどんなものを作っているのか詳しく知らない	晴海公園がせっかくできたので道の駅みたいに大竹で作られたものを売れる場所や食べれる場所があるとよい
大きな工場が多く目立っているが過疎地にも農産物自然の豊かさなどいいものがたくさんある	産直のものを売る場など
土日のスペイン通りの静けさ。商店街がさみしい。駅前に居酒屋しかない	スペイン通りでの定期的なイベント。駅前の整備
企業誘致や事業の地区への移転防止	積極的な誘致や助成
駅使用者が多いのにいまだに老朽化を放置だし、使いがってが悪いし、駐輪場ほしい	早く着工するべき
地域産業は工場となっているのか生活するにあたって必要な施設が充実していない。救急病院、幼稚園、高校、スーパー等もう少し選択できれば良い	-
もう少し娯楽の場所、お店がほしい	-
活気を感じない	フリースペースや期間限定やお試してお店を出店できるようにする。駅前など駐車場も人通りもあると思う
玖波のまちに食料店生活う用品店が全くと言っていいほどありません。お年寄りには特に生活しにくいと思います。コンビニも玖波3丁目に来たら嬉しい	市議会委員が沢山いらっしゃるのだからお年寄りが生活する上で困らないように考えて即行動してもらいたいです
商店街に元気がない	カフェや若者向けのお店、オシャレなフォトスポットを作る
アミューズメント	海山川など自然を使った施設。年齢にあった
大竹駅前をはじめとし、商店街や商業施設に活気がないと思う	催し物の開催頻度を増やし集客を目指す。またその機会を利用し、その土地の産業の魅力について参加者と共有し、地域全体へ広める
地域商業に対する支援	宮島から岩国へ観光ルートの中に大竹も入れるような名所を考える
古くから和紙生産が盛んだったが、機械生産により衰退。後継者がいなくなった	こいのぼりを作り、インターネットで海外に発信
人口が減少し、活気がない	観光誘致をもっと積極的に考えることが望ましい
店が少ない	-

特産物が分からない	-
大手企業は多くあるがまちが成長しているとは思えない	-
駅前商店が寂しすぎる	大竹の顔の部分であり、整備する
大竹ならではの産業	市主導での方針づくり、誘致活動
地域産業はまちの経済をよくしている。現役を離れると実感が分からない	市政の地域ごとの説明会をする
地域産業のアピールする場所が少ない	道の駅など人の集まる場所
スーパーが少ないのと1つの場所に集中している	分散してあるとよいと思う
産業が沈んでいく	若い人が働きたいと思う場所の提供
地域産業が存在するのかを認識していない	地域産業の活性化が我々の生活をどのように支え、変え得るのか具体例を交えた情報発信
中小企業への積極的な支援企業支援	-
カフェなどがある街並み	-
若い人が働ける仕事が少ない	先を読む力がある企業できれば良いが20~30年同じ仕事で生活の糧を得るのは今の時代難しい
多くの若者の地元就職が難しい	地元企業と学校の連携による地元就職の推進
起業しやすい環境	小さなコミュニティなので思い切った施策をとっても良いのではないか？スタートアップ支援金とか市民にスタートアップに向けた投資できるポイントを配るとか
特に飲料店。寿司屋さんが欲しいです。自然環境を生かした事業への取り組み	新規オープン助成策。近年ブームのキャンプ場オープンは活気が出るかもしれませぬ
他のまつかからも来たいと思うようなお店が少ない	若い人がチャレンジして出来るよう、融資する。他の県からなど
晴海公園が出来て、子どもの遊び場も増えて良いが室内で遊べる施設がほしい。大竹の人口を増やし、市政として若い年齢層の確保が必要なのでニーズにあったお金の使い方してほしい	-
駅前がさびれてさみしい	大型商業施設をゆめタウンともう1つ出店してほしい
温泉や健康ランドがない	-
駅前が寂しすぎるせめて喫茶店やレストランがほしい	-
楽しく場所、施設がない。人が集まらない。ただの通過地にすぎない	成功している地域に学ぶ
労働形態の固定化や未知の業種への参入の障害の解消	そもそも大竹市の知名度や関心度を上げる必要がある。広告塔、例えば農業への参入のハードルの緩和・放棄地の活用からの付加価値
産業は盛んでも人口の減少	-
居酒屋を増やしてほしい	店舗を増やす
休日はみんな廿日市にでかける	-
まちに元気がない	大竹市の人口が増えること
映画館カラオケ温泉等の娯楽施設が足りない	誘致できるように道路の基盤整備
子どもを作りたくても産婦人科がないので本当に不便。子どもに対するものが少ない	病院をつくる
人口減少に歯止めがかかっていない。中小店等の後継者育成	大竹市での起業立地の優位性を他県にPR

○設問【目的地までの移動がしやすいまちだと思う】

心配に思っていること	解消する方法
市内の移動は良いが、バスで他市へ行けると良い	-
車がないと生活しづらい	バスの運行ルートの実充。商店街、徒歩圏内の施設、お店が充実
高齢者移動手段の絶対的不足	循環バス抜本的見直し
車の運転をしない人は移動方法がない	バスを充実するしか今は方法がない
こいこいバスの便数が少ない	-
公共バス路線の追加	-
年配の人は駅の階段がつかなく、よその駅までタクシーで帰っています	エレベーターを作る
交通の便が悪い。タクシーを利用しなければいけない	-
車がないと不便	交通機関との連携
バスの数が少ない。停留所も少ない	両方増やすこと。和木町の様々なタクシー割引券を考えてほしい。現在は無理を承知で車を使用している
小方ヶ丘から駅に出るまでの手段が少ない	1日数便、バスを運行させる
道路を広くし歩道の確保	市に頑張ってもらう
道がせまい	-
目的地まで移動しにくい	もう少しバスの便を増やしてほしい
晴海公園や大型商業施設が郊外で、車でなければ行けない	さかえ公園しかり、もう少し市内の中心部にも子どもが遊べる少し大きめの公園とかがほしい
信号踏切が長い	地下道を作る

交通手段が少なすぎる	大竹駅東口を早く作る
車で移動できるうちは不便を感じないがそれが難しくなったとき	バスが家の近くを通ってくれたらありがたい
バスが市内のみなので広電バスとかほしい	-
移動が思うようになりません	こいこいバスが元町の方まで来てほしい
公共交通の便が悪い	バスの路線や駅が遠いのでどちらかでも増えてほしい
車がないと目的地まで行けない	ネット通販の活用
もう少し細かいところまで交通機関が必要では	-
坂上線のバスの便を増やしてほしい。乗り継ぎでゆめタウンに行けるようにしてほしい	-
道路が少ないので渋滞する	道路の整備を急ぐ
国道が渋滞しているため住宅街の道路の交通量が多い	長距離車用の道路ができれば解消できる
国道が混んでいる	生活道路がもう少し広げればよい。水路が多いので離合しにくい
高齢者の方がガタガタ道を歩いている	バスなどの交通整備よりも整備された車歩道
山間部が多いため交通の便や基盤整備などが難しい	-
老人が買い物に出かけること	バスの時間を増やしてほしい
バスが通っていない場所がある	-
今は自転車に乗っていますが足が悪く乗れなくなったら	こいこいバスを利用
バス路線が十分でなく高齢者には不便な点	バス線路拡充
買い物が不十分	こいこいバスを大和橋までのぼしてほしい
今ところ自分で移動できるのでありがたい	タクシーが気軽に利用できるとよい
巡回バスの停留所が少ない	停留所を増やす
山奥の方面に行く。バスの便の数が少ないと思う	公共の乗り物の便数を増やす
交通の便が悪い	車移動できない人へのバスの便を増やす
駅まで遠い。バスがあるみたいだが少ない	土日でもバスが利用できるとよい。本数が増えると良い
車がないと買い物等の生活がしづらい	レンタサイクルを導入する。カーシェアを増やす
小方駅を至急お願いしたい	-
こいこいバスの便数が少ない	便数を増やす
こいこいバスのバリアフリー化, 通院, 商業施設	-
バス, タクシーも夜は使えない。広島まで車で1時間, 電車で50分は遠い, 渋滞が多い	快速を増やす。車道を増やす
幹線道路が乏しく常に渋滞	新たな道路が早急に必要
病院や買い物の交通便がない	-
JRの駅が少し遠い	バスなど公共施設機関の整備
国道2号線の渋滞	広告道路バイパスとして無料化
今は健康で車や自転車を使っているが公共交通が少なく不安である	便を増やす
交通の整備	バスの増便
車がないと不便なのでバスを増やしてほしい	バスを増やす
バスがあるが年寄りの方など荷物を持って買い物は大変だと思う	町内ごとの乗り合いタクシーなどあれば買い物に行く回数も増えそう
山間部に広がるまちなので公共交通をもう少し増やしてほしい	-
渋滞	-
今は車で移動できるが老いてきたときバスは通っているが買い物など近くにスーパーやコンビニがないため, 不便になるかなと思います	難しいとは思いますが, 近くにコンビニがあると助かります
夕方の渋滞がづらい	道路の拡張整備
高齢者の移動が不便	-
こいこいバスの本数が少ない	バスの本数を増やす
高齢者にとって移動する手段がない	-
免許証を返納したら, ゆめタウンまで食料を買いに行く事ができない	唐船浜に住んでいるのでマイクロバスや小型車は玖波と大野の境まで来てほしい
ぐるりんバスの再開, プールの再開, バスの市内拡大	市が頑張してほしい。財源は市会議員の人数減
目的地が分散している	病院, 商店, 市庁舎, 文化市施設などを一カ所に集中し, 交通網を一本線にして合理化を図る
新町, 本町, 白石, 元町の交通網では, 高齢者になり車の免許証返納すれば即買い物難民になる	巡回バスの運行
バスや電車のアクセスが悪い	小方駅の新設
一部地域にバスが通っていない	コースの変更
小方ヶ丘行きのバスがあれば	-
車がないと不便。バスもどんどん減っている	-
大竹駅へのアクセス	線路の両サイドに改札を設置
地域で言えば玖波にはスーパーがない。駅前もない。ゆめタウンにバスで行けるが高齢者などはどうなのかなと感じる	経営があるため, 厳しいとは思いますが

駅がとても不便	早く大竹駅の東口が出来てほしい
JR駅までの通勤通学に利用できるバスがない	-
バスの増便, 100円/人(大人)	-
車を乗らなくなったときの移動手段	白石地区にバスを
こいこいバスの停留所が不便。人家がない場所になっている(飛石港)	交通のことやいろいろ考えて設置場所だと思いますが, 利用者の利便性を考えてルートを変更しても良いのでは

○設問【道路, 公園, 上下水道, 水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい】

心配に思っていること	解消する方法
公園の数, 草がたくさん生えている。砂場の整備	-
高齢者が歩行困難, シルバーカーも転倒の危険がある	工事
道路がいろんな方向で車で走りにくい	-
公園の遊具	-
狭い道の整備がされていないように思う	道路の整備をお願いしたい
ライフラインは最低限のことと思う	上下水道, 水路, 道路の安全
大竹市内を走るバスが復活してほしい	みんなが利用しやすい値段や路線を考えてほしい
大雨の際冠水しやすい	冠水が起こらないように排水整備を早くしてほしい
むき出しの水路が各所に残っている	整備をすすめる
小方小学校跡地の開発整備	小方駅を整備し, マンションに接続する
市道があまり整備されていない	少しづつでもいいから直した方がいい
大雨が降ると道が沼になる。水路がおかしい	市民から苦情が出たらすぐ対策する。大竹は数年前から変わらず他市にくらべ対応が遅い
上下水道料金が高いのもう少し安くしてほしい	-
上下水道管が古く赤サビ色の水が出る	水道管の交換
街灯がない, 歩道がきちんと整備されていない	歩道を広げる
自宅前水路の整備は何年たっても行われず, 大雨時増水したりする	水路を整備し, 水の流れを良くする
道路段差をなくすこと	-
道路の整備が美しくない, 道がせまい	市で美化に対してもう少し力をいれてほしい
溝に草が生え, 砂などがたまっている	何年に1回ぐらい掃除してほしい
子どもから大人まで楽しめるような場所が少なくない	公園などにウォーキングをする場所を作ってたくさんの方が集まれるようにしてみる
車の量の方が多いため, 整備が追い付いていないと思う	他の狭い道路を広げる
立戸地区は溝が多い。臭い, 汚い	溝にフタをしてほしい
とにかく街灯が少なく怖い	-
下水道がまだ出来ていないので早急に現実してほしい	-
ボールなどを使って遊べる公園がない	大きい公園を市内にまんべんなく設置。雨でも遊べる公園
朝晩渋滞はひどい。信号のタイミングが悪く渋滞の原因になっている	道路整備計画をもっとスピード感を持って進めてほしい
道路がデコボコ	補装してほしい
道路の整備をしたら良いと思う。アスファルトが古いから	-
山の方へ行くと道路の脇が雑草だらけで整備されていない	清掃車の活用
電柱が多く運転しづらい所	電柱をできるだけ減らしてほしい
歩道が狭い。小さい子どもと歩いていてすぐ隣に大型トラックが走り危険。用水路がいたるところにあって危険	歩道の整備。柵等の設置
大竹高校油見トンネルの道路	-
公園が少ない。小さい公園しかなく設備も古い	小さな応援を売却して集約できる用地を確保する
公園はあまり整備されていないと思う。子どもが遊べる場所ではない。立ち寄りたと思う公園があまりない	-
一方通行や道幅が狭い	区画整理してほしい
標識や道路が古くてわかりにくい	-
整備が遅れている	スピードアップして工事等を進めてほしい
国道添いに飲食店ができ, 対向車側から入りづらい	裏路地の拡張
整備はされているけれどスポーツ公園など使いきれてないのでは?	晴海公園などもう少し広報活動をしたら
道路に雑草が生えすぎ	-
道路がデコボコで車を運転していても危ない	-
上水道の不備	-
道路はデコボコ。空き家が多い	人口を増やして経済効果のある事を実践してゆく
歩道が平坦ではなく非常に通行しにくい	沿道の家への出入りを優先しすぎ
国道186号線の草木が伸びすぎている	予算的に少し整備しても
きれいな公園が少ない	公園を整備, 晴海公園は良い。ドックランがほしい
小さい子が遊ぶ公園が少ない	増やしてほしい
踏切周辺の道路が狭く危険である	道路を整備する

公園は遊具だけあり活かされていない。晴海周辺に何も無い	団地の公園に1Fスイミングスクールや市営プール、2Fジム(会員制と自由の方)団地の総体は低コストで残す。1会場の映画館、ドライブシアター
さかえ公園のような所が市民が憩いの場として使えるところが少ない	-
みどり橋の容量不足、渋滞が常態化	-
晴海公園遊具は充実しているがその他は充実してない。土日は売店などあってもよいのでは。屋根のあるところがほぼないので見守る親はつらい	雨が降っても楽しめるような施設、動物を飼育するなど改善すべきところはあると思う
晴海の運動公園等、真夏日にはどこで休めばいいのか	緑のある大きな木が植えられないか
側溝や用水路がむき出し、子どもが落ちそう	-
大竹駅が古くエレベーターやエスカレーターがない	まちの顔の一つだと思うので駅を早く改修工事をしてほしい
駅がしょんぼり。広島に近く便利で住みやすいと思うが県内でのインパクトが弱い	早く駅の東口をつくり、駅周辺を整備する。広島駅も整備発展していくので、それと歩調を合わせる
タクシーを利用しないと目的地にはいけない	-
高齢者が車を使えなくなり、買い物にも行けない	買い物バスなど交通機関
街のアスファルトにデコボコがけっこうある	応急処置で市民の申し出にアスファルトの支給はできないか

◎項目「安全なまち」

○設問【災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う】

心配に思っていること	解消する方法
近年の気象の変化により、災害がどこでもあり得るので亀居城跡地下水路の補修	亀居城跡地下の水路の補修
大雨の後、水害が起こりやすい	排水ポンプの強化
犯罪を犯しても平気で生活している	定期的に警察の人に訪問してもらう
事故が多いところはやはり減らず、再々事故がある	カーブミラーを付ける、事故防止につとめてほしい
車事故が多いように感じる	事故が起こりやすい場所をもっと周知すべきだと思う
JRがストップすると県外には行けない。交通の便利が悪い	-
大雨ときに土砂災害のリスクのある地域がある。夜間うるさい暴走バイクを時々見かける	崖、山の整備。取り締まり強化
国道2号線の事故が多い	警察が取り締まるために隠れ見張っているのではなくもっと目立つ場所にたてば運転する人も無茶な運転が減るはず
道路がせまいのにスピードを出す	-
車の運転が適当な人の割合が他の地域に比べて多い。安全確認せず曲がったりする人が多い	長年の習慣、クセなので運転者の方を変えるのは難しいかも。子どもに「横断歩道を渡るときは青信号でも確認してね」と教育する
街灯が少ない	街灯をつける
強制わいせつ罪で加害者は中学生のため情報は流されていないが、いつ、他の児童も同様に被害にあうか分かりません	せめて、大竹小学校保護者、生徒、地域住民に注意喚起するべき
犯罪防止の強化	防犯カメラ
子どもの通学路での路上駐車が多く、危険	時間帯によって歩行者天国など駐車の本数を減らす
大雨が降るとがけ崩れが心配	総合市民会館まで行くのが大変
小瀬川反乱の可能性の対処	堤防拡充
街灯が少ない、古いので暗い	設備投資
大竹駅までの道が暗いところが多い	駅までの道をもっと電灯を増やすべき
川の底がめくれて、大雨のときが心配	-
大雨で道路が冠水する。洪水対策	地下トンネルの設置
街灯が少ない	-
国道2号線で爆音で暴走族が走っていても取り締まらないのに、ちょっとした違反を徹底して取り締まり検挙してる	悪質な者を徹底して検挙すればいいのに
災害内容の放送が聞こえない	響かずに聞きやすくしてほしい
市からの防災無線が唐船浜では聞き取れない	唐船浜に来て聞いてみてください
自然災害が少ないと思うがそのことのPRが足りていないのではないかな？	もっとマスメディアで取り上げられるよう努力をしてみる
ゆめマート裏の道路はお年寄りがまったく車を意識しておらず危ない	地区で発信すべき
災害はこれからもやってくるので避難場所など確保	学校など近くに逃げやすいところにしてほしい

○設問【消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う】

心配に思っていること	解消する方法
大きな災害などあまりないほうだと思ひ込んでる人が多い	避難訓練や各自備蓄し、防災の意識を高める
防災について、自治会でも特に話はない	地震・水害があった場合、避難方法を自治体単位でどうなってるか話をする機会があればと思う
大竹市は現在まで大きな災害がないため	-
自治会活動の充実	自治会に対し行政が後押し
防災意識危機管理の意識が少ない	危険な場所を具体的に地域的PRや研修の機会をつくっては？
災害などが少ないので住民の防災意識は高くない	-
活動に参加する人が少ない	若い人が参加できる体制づくり
地域住民の防災意識	自主防災訓練を活発にする
田舎の町で人口が少なく、基本平和であると思っているので	災害や犯罪に対しても講演会等を歩いて行ける範囲で
ほぼ無理矢理消防団に入れられ、こんな人数が必要なのかと思っているためやる気を感じず、もし火事が起きても消火作業はできない	狭い道と密集する家で火事を想定した活動をしてほしい。数が多すぎなら数年交代にしてはどうでしょうか
今まで大きな災害を経験している人が少ないので危機感がない	多くの市民が参加するイベント等で災害についての講演等を行う
あまり訓練などない気がする	地域のふれあいを増やし自主的に参加しやすい環境づくり
地域のごみ置き場	各地域のごみ置き場を地形に合った施設に整備する
消防団が活動していること	自主防災活動とは具体的に何をしているのか
四国沖に地震津波が発生したら、何時間くらいかかるのですか？	高台はどこまで逃げればよいですか？
消防団の存在が分からない	消防団の実績を広く市民に広報し、団員希望者やその存在の支援者を発掘する
消防団の分団ごとの意識の差、自主防災組織との連携	-
自主活動などが地域住民にあまり知られていない	広報を含め普及活動をすすめ、住民全体の活動へのつなげていく
防災意識。住民の方々がどう思われているかわかりませんが、大きな災害とか起きていないので、想定されているかは。福祉施設ではそういった意識も高く持っていると思いますが。市役所からの放送は山に響いたりして聞きづらい	-
組織以外の参加意識が低い	災害のシュミレーション訓練

○設問【自主防災組織等の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う】

心配に思っていること	解消する方法
同じ人しか参加していないように思う	職場などで参加できると仕事の一環として参加し経験しやすい
学校の行事があるため参加をするが小学校を子どもが卒業すると参加機会がない	-
行政にまかせきりである	-
交通安全の教育をしてほしい	-
救急講習があるのは知ってるが参加したことはない。地区で講習をしていることは知らない	平日に何度か救急講習を消防でしてほしい
ハザードマップ等を分かりやすく防災無線がわかりづらい	-
足りていないわけではないが、アフターコロナに対応なまちづくり	小さなコミュニティなので、大竹市内だけで市民の生活が成り立つまちづくりに取り組んでみては？
高齢者ドライバーが増えている。危険運転を起こしやすいので安全教室など身近に参加できる場所があるといいと思う	-
若者がコミュニティに帰属するコスト	若者一人一人がコミュニティに帰属してる意識を感じてもらい、返報や代価を払うだけの価値を感じてもらおう。そして地域全体で助け合う必要性を
活動や案内を目にしたことがない	-
地域全体でもっと本気で防災に取り組む	各地区で担当する住民を集めて、教育、意見交換する災害訓練を定期的にする

◎項目「安心できるまち」

○設問【困ったときなどには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う】

心配に思っていること	解消する方法
若い人がいないので活気がない	-
地域活動へ参加したげらない	基本的に自分のことや金儲けしか興味を示さない
自治会等の参加平均年齢が高くなっており、思った活動が出来ない	若い方の積極的な参加
人と人との関係が希薄になっている	自治会活動基盤の整備
近所の人と助け合いは若い世代には難しい	人付き合いがなかなかできない時代になってきた。根本的に考えないと解決は難しい
高齢者が多い形で「行政で現実にとった方法を考えてほしい	高齢者の有効活用。働ける人にその場の提供等
声かけあって	昨年より近所の人と話し合っって台風のとき総合市民会館に避難しました。ありがたいです。
高齢者はつながると思うが20～50代の人達はない	20～50代が参加しやすいイベントや行事を増やす
地域の人とのコミュニケーション不足	地域の人との交流を活発にする場所を作る
地域に暮らす人々の気持ちがだんだん都会的になってきたようである。利己主義の人間が多くなってくる	もう少し人間が触れ合う場所づくりが大切であろう。たとえば集会所を増やす
近所付き合いがない	-
地域に暮らす人同士の助け合いができてない	一人暮らしで買い物も不便だし昔みたいに近所付き合いはない
当地区御園台において助け合い活動が具体的にあるのか？	市の自治会単位への「知る・助け合い」指導政策
近所付き合いをみんなしないこと	-
人間性が悪いので無理	人間性が悪いので無理
住んでいる地域は全く交流がない	必要性をもっと訴える。例えば募金の大切さ
地区社協の充実	-
新しく転居された方が増えている	地域ごとの集まりを増やす
他人とのつながりを深く望まない人が多い	仕方のないことであり対策は不要
不安や心配ごとがあってもここに行って相談しようと思う場所がないため	もっと自分の気持ちをひらけるような気が漏らせる場所があれば良い
同じ班のなかでもめったに会うこともなく相談しにくい	月2回くらい班の人達で集まり、食事会でもあればと思う
近場でいうなら近所付き合いがないのでコミュニケーションがとりづらい	-
そこまで近所付き合いがない	-
災害時の避難所が遠く、単身高齢者が避難しにくい	避難所の増設(民間施設等の協力依頼等)
自治会が機能してないように思う	-
住民同士の横のつながりが少ない	自治会活動をもっと活発化
テレビやスマホで若い人たちは関心がなくなっている	青少年は一度在籍すると制度を確立。将来自治会役員として活動する
地域づくりのリーダーがいない	地域リーダーの養成をする
地域の高齢化が進み活動が難しい	若い人の取組と理解
自主防災の意識の普及、個人情報問題、コミュニケーション不足	自治会役員が理解すること。情報を共有すること。行事を通してコミュニケーションを図ること
まわりの住人は老人が多い	子ども世代が帰って同居
働く人が増え、家を留守にし近所付き合いが減っている	-
実際に困ったときに頼れるかどうか	-
空き家が多く人がいない	-
近所のつながりが少ない	個人が努力する
レオパレスが増えているので誰が住んでいるかもしれない	逆に聞きたい。自治会費も昔ながらのやり方なので高い
自治会活動の見直し	老若の参加する組織
地域の人と対することがない	学校行事に絡めて接する機会を増やすこと
高齢者ばかりで近所付き合いが少なくなった	できるだけ声かけするように心がける
隣に住んでいる人が誰なのか知らない	自治会や団地会など共同体がリーダーシップをとって共同体内のつながりを密にしていく
助け合いの心が少ない	おばさんが思いやりの心を持つ

○設問【生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気をつけている】

心配に思っていること	解消する方法
シニア向けの講座が多く、30～40代向けの健康づくりの講座がない	仕事している人が多いので夜間や土日に計画すると思う
インフルエンザ予防接種の補助があると良い	インフルエンザ予防接種の補助をつくる
病院の種類と数が少ない	増やしてほしいが採算がとれないので難しいと思う
がん検診に力を入れてほしい	無料クーポンを配る
風邪ひいたときの子どもの医療費を無料にしてほしい	-
若者向けの健康イベントが無いように思う	-
スポーツジムが少ない	-
市街化調整区域を取り除き土地を有効に使い若い世代の人が住めるような地域	-
病院の充実	-
学校で無理矢理給食を食べさせるには虐待。無理矢理食べて家に帰ってから嘔吐する児童もいる	-
産婦人科がない。また耳鼻科も一軒しかないのでもそが無くなくなったとき不安。助産院も利用しているが先生が引退されたとき次にどこを頼ればいいのかかわからない	-
娯楽施設がない。年寄り向けが多く若者は少ない	-
自分の健康は自分で考える	人の中に出ていく

○設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】

心配に思っていること	解消する方法
ボランティア活動に参加する60代の人がない。ボランティア活動も高齢化が進んでいる	声を掛け合う。イベント等に参加して良い部分を見て理解してもらう
活動状況がよくわからない	-
ボランティア活動の情報がわからない	スマホへの情報発信
ボランティア活動があればいいが情報がない	-
地域清掃	-
地域内で介護について相談するところ	支援センターを作る
一部の人がやるので固定化されている	もっとオープンにすべき
ボランティア活動への参加者が減少しているため	周知、啓発の強化
ボランティアの否定ではなく、小さい地方都市では発展はない。広い角度で考えるべき	有償ボランティアを高齢者は少ない金額で良いのだが、お小遣いになれば頑張ると思う
参加したことがないため	もっとボランティア活動をいどこですのかアピールしてほしい
体育協会などの働きかけが足りないのでは？	体育スポーツを愛するものはボランティア活動において頼りになると思う
情報が不足している	-
必要性の周知	ボランティアが当たり前になるまちをつくる
老人福祉施設でのボランティア活動	-
今は時間がなくて出来ないが、市からボランティアの募集があれば教えてほしい	-
宣伝アピール	スマホの活用
地域福祉と言われるとハードルがあがる気がします	-

◎項目「心にゆとりを感じるまち」

○設問【やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している】

心配に思っていること	解消する方法
お店が少ない。大竹市以外に買い物や食事に出かける	土地はたくさんあるのだから有名な名の知れたお店を誘致したら良い
やりたいことをするには自分が癒される生活を送りたい。市営アパートの騒音で毎日イライラ過ごしてる。人々の生活ストレスを解消してくれるまでは難しい	市、管理会社の対応が悪い。面倒なことには関わりたくない感じ。相談者の気持ちを考えてほしい。騒音のないストレスのない生活がしたい
大竹市は終の住処か労働のための移住地になっている。	大竹市は日々の生活、労働者は生活のための労働で余裕がない。大竹市が労働者の子育てにサポート。労働者が大竹市の障害を取り除く等、共存の関係をきずけば、余裕が生まれるのではないかな？
娯楽施設が少なく感じる	玖波駅周辺にカラオケ、コンビニエンスストアなどあればいいと思う
全体的に娯楽がない。規制がある(公園でのボール遊び禁止)	遊べる場所を作ってほしい。何かの活動のための集まりがほしい
遊び場が少なすぎる。公園でボール遊びNG	-

生活の充実感がない。夢がない	-
図書館の本の種類	和木図書館のような種類にしてほしい
無料の講習会や運転できる会をもっと増やしてほしい	-
趣味の活動が少ない	数を増やしてほしい
夢中になれることがない。最低限の生活はできるけど	イベント事を増やしてほしい
仕事をしている大人が夕方～夜にかけて習いにいけるような施設がない	-
興味が持ってる事柄がない	イベント事を増やしてほしい
スポーツができる会場はあるが芸術や音楽が出来る場所が全くないと思う	収容人数が500人程度のホールのようなものがあるよ。アゼリアホールは体育館
活動できる施設が少ない	-
店が少ない。食べ物が少ない。ほしいもの、楽しいものが大竹で揃わない	食べ物屋さんなどを増やしてほしい
阿多田フェリー代が高い	安くすれば釣りに行く人が増える
生涯学習の高齢化	お年寄りが集まる会のようなイメージなので、子ども向けにしてみてもいい
美術館、映画館、博物館、劇場がない	求める市民が声をあげ求めれば、ここは荒野とならずにすむと思います
図書館でワークショップを聞いたりできない。インターネットが使えない。ホワイトボードがない	学生がたむろしたいと思える学問づくり。清潔で開放的で自由になにかしたいと思える作業場の空間づくり
大竹は全体的に夢中になるものがない	-
定年後に会社での経験を活かす機会がない	60代以上の方の勉強会など開催する
畑仕事もでき、グランドゴルフも出来る	身体が衰えないように市から筋トレなど続けていただきたい
場所が遠くで行きにくい。体育館、集会所	集会所は住居の中心に近いほうが望ましい。集会所を増やさない駄目。娯楽室がほしい
子どもの外遊びをあまり見かけない	大人と一緒に楽しめる公園
親は共働き、子どもは塾に行かせて他人任せ	地域で見守り、三世代で交流し、子どもたちを指導する
若い世代が福祉に参加する人的時間的余裕がない	各種ボランティア活動にポイントを付与し、市内の体育施設などで使えるような制度を作ってみる

○設問【地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている】

心配に思っていること	解消する方法
伝統文化がだんだん寂しくなった	大竹市の協力をもっと
いまだに地域の行事で行政の参加がない	予算のないことを理由としないこと
大竹市に住んでいるが、市民としての実感がない	-
亀居城の整備	子どもの総合学習で亀居城の歴史を知り、現在の姿を残念に思いました。誠を大切にしないまちは学びがないというそのときに知り、ぜひいい仕組みの素晴らしさやかつて城下町であったということが誇りに思えるような環境整備や観光資源としての整備を進めていくこと
地域行事に市民が参加したらない	老人が多く、子どもが少ない。若い家族が多く住むまちに
各自治会でやっている行事を市として企画すれば楽しくなるのでは？とんど、盆踊りなど	-
やっこの参加者が少なくなり地域に応援をお願いしている	-
新しい団地の人は県外から来てる人も多いので、いまだに私は慣れない。歴史文化もよくかわらない	気軽に参加できるイベントなどあればよい
本質的に自分のことしか関心がない	気持ちに余裕がない
現代人が意識できる歴史文化がない	100年200年後の大竹市を考える
大竹の観光パンフレットに書かれていた行者山登山ルートに登ったがパンフレットだけでは登山口がわかりにくい。登れても途中から道が草に覆われてひき返すことになった	登れない道はパンフレットで紹介しないでほしい。登山道を整備し案内の表示を充実させた方がよい
子どもの頃に比べて大竹について知る機会が少ない	市広報になるべく目を通すようにする
城跡公園をきれいにしておくこと5月中旬行ってみると草だらけ掃除すること	-
他県からわざわざ来たいと思うような施設がなにもない。目を引くものがない。自分から素通りするまちでしかない	-
そもそも歴史や文化を知る施設があるか分からない	転入した際、市役所を利用した際に案内をもらえる。以前住んでいた地域では転入の際、その土地ならではのポストカードをいただきました。気になって自分で調べて観光するきっかけになったことがあります
せつかくの伝統ある祭。参加者見物人が減っている	祭に合わせて商売で盛り上がってほしい
他から観光として呼び寄せられない	小方の地区をもっと活用する。亀居城を優先し、周りの城下町をアピールする。こんなに残っているのにもったいない
若い年層の移住後にとどまってもらうために大竹のいいところのPRをもっとほしい。家族で伝統文化を体験できるとかPRしているなら、今若い年層には伝わってないので他のツールを使用して広めてほしい	-

歴史や伝統文化が紹介されるような場所がない	歴史や伝統文化を紹介する場所を設けるチラシなどでお知らせしていく
愛着を感じるほどのものがない	-
20～50代の人たちは興味がない	小中学校で大竹のことを知ったり学べたり伝えたりが多くやっ ていく
あまり興味がわく行事がない	-
地元ではないので歴史が分かりにくい	市政だよりなどに紹介してほしい
予算が削られ縮小化している	大竹市として残していく文化財や祭りにお金を使ってほしい
アピール度が足りない	地域にアピールして市民全体に伝える
地元の人間でないので愛着がない	-
地域行事に出る市民積極性がみられない	近所とのつながりが出来ること。孤立せず地域の輪の中に積 極的に入る。伝統文化を若者に伝えていく事も大事
地域の行事に少ない子どもが参加できるものをもっと増やして ほしい	-
歴史の知識が浅い	広報などに大竹の歴史を記載する
もっと取り組みやすいもの	-
若者の参加アピール	参加者の理解と愛着
海軍の歴史、長州戦争の歴史	-
西国街道とかの説明をしていない	小学校で昔の歴史を教えてほしい
地元の歴史、伝統文化の情報発信が少ない	現在と歴史伝統文化が一体ものとして、市民に分かりやすく、 興味をひくものとなるようにする
イベントを集中させること	正直歴史や伝統に何の魅力もないと思う

○設問【環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい】

心配に思っていること	解消する方法
川の中の草が大きくのびて災害につながる恐れあり	川の中の草を取り除いて水の流れをよくする
空き家が多く草木が茂って困ります	空き家の持ち主に連絡をし、草木を刈ってほしい
小瀬川の流水は清くなったがガラス瓶の破片が時々あり素足 で入れない。	若者の両親に頼むしかない。海辺、川の中にコーラの破片が 多い
まちのあちこちに雑草が茂っている	地域ぐるみで清掃を行う
道端によくごみが落ちている	定期的にごみ拾いをする
西栄1丁目の街灯が少ない。特に中国新聞販売所からアーバ ンライフ山岡の間は暗い。ポイ捨ては当然である	街灯の増灯が重要
ごみのポイ捨て	地区地域からボランティア参加型のごみ拾い
草はのび、木はそのままのときが長く、人が暮らす景色ではあ りません	時間はかかりますが、暮らしのまわりを整えようとする家族を つくることと思います
悪臭がたまにするので空気がきれいでない気がする	-
草木花が少ないように感じる	桜とかたくさんあって桜道とかできたらいいと思います
道路のり面の草取りと歩道の除草	行政が行うべき
道路わき、草むらへのポイ捨てが多い	ポイ捨てした人、車への罰則、花壇の設置
化学工場のおいほどうにかならないか	-
草が多い	元小方中・小の所をどうにかする
動物の問題対策	ごみをあさられないようにごみ袋やネットに工夫する。去勢
空気が悪い	工場からの煙を少なくする
ごみの分別	-
ごみ捨てが厳しすぎる。	-
工場が多い市なので花園などあればいいと思う	大きな公園への花園作成
防災について。山を覆う放置竹林が招く土砂災害の危機意識 がない	竹林整備をボランティア活動してみては？
草ボーボーが多い	シルバーの班の増強
市役所の回り、雑草が生え見苦しいと思います	職員の方々に清掃作業されたら良いと思います
桜の木を植えてあるが周囲の木が荒れ放題で桜が日に当た らず枯れている。結婚・出産記念で植えている方が多いので 枯れてしまうとショックだと思ふ	見に来て周囲をきれいにされてはどうでしょうか
ごみがよく落ちている	掃除を増やすといい
臭気を排出している海岸沿いの会社。排出している会社は把 握しているはずで本当に許せない	24時間365日排煙の分析データを市に提出させるべき
国道2号線沿いの歩道がきたない	シルバーの活用
お年寄りの野焼	-
公園を子どもたちが汚している	まずは親のしつけ
きれいなことは好きだが誰がしてくれるという気持ち強い	-
草や荒れたところがあったりする	市民に花の種や苗など配ったりしてみんなで花を植えたり市 内を美しくする運動すればよい
環境美化は全く進んでおりません。白石地区は年1回の掃除 しかない	年2回にした方がよい
道路の草が生えっぱなし	狭い道路も草がなく、花々を植えて美しい町と思ってほしい

市の花サツキをもっと市内でみたい 木が多く落ち葉がすごく落ちてきます	公園や国道沿いにもっとサツキが増えるとよい 木を切ってください
道路などのごみが多い	ポイ捨て条例の制度, 市の環境美化への取り組み強化。災害 ときが避難所となる体育館に空調がない。晴海運動公園の遊 具広場に大金を投入するより先に行う施策と考える
ごみステーションを動物が荒らして困る	夜間のごみ収集にする
道路沿いの花壇の雑草のお手入れや落ち葉の処理	もう少し頻繁に手入れをするか街路樹は切る方がよい
ポイ捨てが目立つ	-
山の方へ散歩できるところの草が生え茂ったり何が事故とか あったら, 発見しづらいと思う	そういう予算を増やしてくれたら
環境美化で税金を使っているけどきれいになるのは当たり前 の話でこれからコストを維持できるか市民が見るところ。使用 率が高いところにお金を使い, 低いところは無駄にきれいにし ないこと	-

4 大竹市での「イチオシ」(問4)

◎好きなひと・もの・こと・とき・ところ

親・子・孫三代がつながる家族	
両親です	
石本美由紀。歌謡界を代表する作詞家の一人であり、記念館みたいなものを作るべき	
泉須美子	
二階堂和美	
財産は人だと思う。イチオシはそこで暮らす人々です。心豊かで誠実な人を育てることぐらいしか思いつかない	
とにかくフレンドリーな方が多い。大竹市の人が良い	
阿多田島住民のあたたかさ	
大竹の人はいい人が多い。通勤族だが今まで住んだ土地のなかでは一番良い	
年配の方が活動的、親切	
社会福祉協議会での目配り心配り活動に感謝。寄り添ってくれる職員に感謝	
自治会長、民生委員、学校の先生、子どもたちが通う学校保護者が気にかけてくれてやさしい	
市長さんをはじめ市の職員の人達が市民のために一生懸命しごとをしている	
青木線はカメラはついているのでしょうか？市長さんがやさしいところ	
大竹市長はスゴイと思う。河井あんりの件。給付金の対応の早さ	
大竹市長を4期務める入山市長。おかげさまで大竹市の借金は減り、ハコ物投資ではなく民間出身の視点で経済発展に尽力してる	
日本舞踊を習っています。元気で踊れることができますように。大竹市長は大変良い人で好感がもてる	
コイちゃんキャラクターがかわいい	
大竹で生きている	
美味しい米、阿多田のいりこ、はまち	
お好み焼き(恋さん)	
弥栄まんじゅう	他2件
マロンの里に売ってあるポン菓子	
ハマチ	
もぶりごはん	
広報おおたけ。穏やかな多島美	
広報おおたけを毎月楽しみにしている	
大竹和紙のこいのぼり	
和紙	
和紙・三倉岳	
和紙のこいのぼり	
輪切りの切り干し大根。マロン里で買える。形がめずらしく面白いし、味も濃くておいしい	
阿多田の海上釣り堀海遊です	
ストーンアート	
仕事	
コイ・こいフェスティバル	
花火大会	他1件
秋のお祭り	
大竹祭	他3件
かき祭	他1件
神楽	
弥栄ダム	
大河原山への登山	
玖波公民館体操教室	
市主催の子どもの習い事(ジュニアリーダー・放課後子ども教室)	
JR大竹駅のイルミネーションがきれいで癒されます。新型コロナウイルスで中止になったさくらまつり、花火大会などが本当に寂しかった	
笑顔でいられること	
新しいものと古いもの、伝統どちらも大切にされていること	
安心して生活ができること	
一年中いろいろな行事が多く参加でき楽しい	他1件
いろいろな道を自転車で移動しますが、ごみがなくきれいで学生もしっかり挨拶をしているところ	
冬の駅前イルミネーション点灯、子どもたちが喜びます	
駅前のイルミネーション	他2件
大竹駅が新しく建て替えされエレベーターがあるので足が悪い私にはとてもうれしい	
大竹市立戸にある「いまだ薬局」。調剤だけでなく、患者の精神的苦痛にもきちんと寄り添い、真の意味での治療を目指す場所	
上下水道が完備している	
生まれ育った町。愛着がある	
海が近いところ	他2件
海山が近いところ	

海山川, 自然が豊富	他1件
恵川に天然の鮎が生息している	
大竹市には子ども向けの大型遊具がある	
大竹中学校前や木野川近くの小さい神社は春になれば桜が見ごたえがあるところ	
大竹に来て2カ月しか経ってないのでわからない	
大竹のあさが美味しいが今少なくなっているのだからさびしい	
大竹の海, 工場と合わせてなにか観光地化できないか?	
大竹の地域です	
小方の沿岸地域に商業施設や運動場ができたので活気がある	
小瀬川沿いの自然の移り変わり(退職して毎日ウォーキングをしているので特に思う)	
小瀬川の景観	他1件
小瀬川の遊歩道は歩きやすくとても良いと思う	他1件
温暖な気候, なにより災害の少ないところ	
買い物も無難に出来る	
亀居城跡周辺より大竹市側の工場群の景色	
亀居城からの眺め。大竹の産業, インフラ, 自然など大竹の良いところが一度はある	
亀居城から見る海がすき	
亀居城の桜	
環境は静かで良いと思う	他1件
給付金などによる迅速な対応は素晴らしいと思う	
近所の人が毎日来て色々話をしてくれること	
空気がきれい	
健康で仕事が出来ていること	
こいこいバスをいつも利用している	他2件
工業地帯である事, 山川海がある事	
工場もたくさんあるが自然もまだ残っている	
工場夜景	他4件
工場夜景。この町は化学工場で支えられている。働く人たちが大竹に住んでもらえるようなまちづくり	
大竹の夜景	他1件
大竹の夜景はきれい。小さなまちであるがこれからもずっと住みたいと思います	
入所のホームの景色	
ノスタルジーに浸れる	
犯罪が少ないこと	
高速道路, 駅, 買い物が便利。コンパクトでいい	
交通が便利。静かなまち	
交通の便が良く自然が多い	
交通の便が良好	
交付金の対応が早かったです。最高です	
公民館など素敵な音楽でみんなと過ごせること	
子どもたちが元気で町に可能性を感じる	
子どもの遊び場が小方晴海に集中しているようだ。大竹地区にもほしい	
コロナ0人, 適度な田舎具合	
コンパクトで利便性の高いところは良いところ	
災害が少ない, 人間が良い	
産業が盛ん(大きい企業が多い)ただし税収がうまく使われていない	
サントピアの人に良くしてもらっている。近所に人も良くしています	
散歩しているとき挨拶をしてくれるところが気持ちいい	
三ツ石町の自然	
自然が住んでいる町に近いこと	
自然環境の良さ, 一寸足を伸ばせばスキー等も。コンパクトシティまがいで生活しやすい	
自然の景色	
自然豊かで落ち着く。近くに大型スーパーがあり, 便利で物価が安い	
自然豊かなところ	他6件
自然豊かな三倉岳	
自転車に乗ることが怖いのでこいこいバスの利用をしています	
趣味のグループ活動が盛んでスポーツ施設公民館の利用者が多い	
小学校の運動場あたりから見た宮島, 可部島の風景はすばらしい。児童の人数が激減しているのは寂しい	
職場が豊富ところ	
人口密度がそれほど多くないこと	
人が多すぎないところ。交通量が少ない。最近の道路整備等で大型トラックが中通りを通るので危ない	
人が親切	
人柄がやさしい	
人柄の良さ, 祭やイベントに行ったときによく感じる	
人通りも少なく, 道路に「信号機も少なく寂しいときもありますがそれがよいところだと思う	

人と人のつながりは豊かと思う	
福祉の人が一生懸命になってくれているところ	
みんな仲良し	
誰とでも話ができる	
住みやすい	
住みやすい。福祉が充実していること	
住みよいところ。人がやさしい	
住めばわかる良さ	
瀬戸内海から登る朝日	
瀬戸内なので台風が少なく津波の心配もない	
卓球を始めとするスポーツ等が盛んなところ	
田んぼや畑をされている人がたくさんいる。夜になるとカエルの大合唱が聞こえる	
地域のお世話を熱心にしてる方がいるので	
地域の人々との交流	
晴海公園ができたこと。子どももすごく喜んでいて、大竹市以外の人達も来て大竹の宣伝にもなって良いと思う。親同士の交流にもつながる	
晴海に商業店が出来て買い物が楽しい	
特に何も無いが良いところ	
図書館のサービス	
亀居城	
大竹駅東口が2、3年後に出来上がること	
晴海臨海公園	他7件
晴海臨海公園遊具広場は大ヒットだと思う。周辺の整備を早急に行い、他のまちからも多くの人が来場する一大公園	
晴海臨海公園をウォーキングコースとして活用している	
ロボボファクトリー	
でかい公園	
さかえ公園	他1件
普通のまち	
美味しい料理店がたくさんある	
栗谷	
栗谷、三倉岳の緑	
三倉、亀居公園、錦龍の滝	
三倉岳	他4件
三倉岳、手すき和紙、蛇喰	他2件
三倉岳の美は栗谷の田園風景	
水の質が良い	他2件
道のそばにある木々が好きです。草花もきれい。晴海のあたりが好きです	
昔から行事が残っていること	
元町にあるオレンジ橋から日の出を見て、川の流れるの音を聞き、鳥のさえずりなど自然を相手にしたとき	
野球グラウンド、テニスコート等安価で使用できる	
山海が近いので自然にあふれていること	他3件
山海が同時にあってみると心が落ち着く。川や水路の水がきれい。水道の水がおいしい。自然を生かした伝統産業がある	
山海に囲まれて住みやすい。晴海の土地の有効利用。夏はキャンプ地に	
山川海が近くにある	
山川海とスケールの大きい自然が豊富であるところ。国道2号線、山陽道、山陽本線があるうえ、岩国空港新岩国駅からも近く交通の便は良い	
油見から立戸にかけての山沿いの道からの街並みの眺め	
ゆめタウンがある事。小さな市にはなかなか	
ゆめタウンがあるため食事等が出来てストレス解消にはよい	
ゆめタウン周辺にいろいろ買い物する場所があること	他1件
歴史的文化的に価値が高いまちである	
自分が住んでいる家	
地元の小さな店	
久味屋	
駅に近いところ	
程よい田舎	
マイホーム	
マロンの里	
和木町、岩国市は昔からの地域交流圏もっと盛んに。	
新しい大竹駅が一押しになればよい	
6月にオープンするセリア	
青木線から国道2号線へつながる高架橋からみる海と工場と電車	
私は栗谷町で生まれ育ちましたが故郷の景色と人々が好きで愛しています	

5 幸せを感じる時(問5)

◎「どのようなときに幸せを感じるか」について

85歳を過ぎましたけど色々な事が出来ているので幸せを感じる	
朝起きるとき	
朝孫が学校に行き, 若い者が会社に行き, 夜家に帰り, 顔を合わせるとき幸せを感じます	
汗を流して畑仕事をしたとき	
遊んでいるとき	
当たり前と知っていることが普通に行えること	
当たり前のことが本当にスゴく幸せなこと。家庭が和やかで人と人とのつながりがある。声をかけたりすること	
アニメや漫画を見ているとき	
雨などまわりの音が消えるようなとき	
安心して眠れる住家があるとき	
安全無事に生活が出来ていること	他1件
家でみんなが楽しくしているとき	
家で休みときは楽しい時間だと思う	
生きがいづくり感を常に持ち, その達成感が感じられたとき	
生きているとき	
一日何事もなく元気で過ごしたとき	他1件
一日の終わりの食事を食べたとき	
今頑張ってる勉強がいずれまちの地域の方々へ何らかの形で活かすことができると考えると豊かな気持ちに恵まれ, 勉強へのモチベーションもより強くなった	
医療が充実している	
ウォーキングして好きなものを食べたとき	
ウォーキング中に人の家の庭がきれいで花がたくさん咲いていてそれを見たとき。天気がよく小瀬川沿いを歩くと	
恵川を散歩しながら鯉, 水鳥など楽しそうに移動しているのを見たとき	
美味しい食べ物を食べる。お風呂にゆっくり浸かる	
美味しいもの食べたとき。元気に生活出来ているとき。コロナウイルス感染拡大予防により外出自粛となったとき当たり前	
生活出来ていたことの幸せを感じた	
美味しいものを食べたとき	他2件
美味しいものを食べたときや亀居城までウォーキング	
美味しいものを食べているとき, 最近始めたダイエットでちゃんと結果が出ること	
美味しいものを食べて満腹になってぐっすり寝たとき	
美味しいレストランで食事をしたとき	
美しい食材を口にしたとき	
たくさん食べてよく寝て幸せ	
大竹にいて, ほのぼのと幸せを感じています	
お酒を飲んでいるとき	
おしゃれなカフェでランチ, 家族が元気であること	
穏やかな気候のとき	
思い出せるほど幸福を感じていない	
今二人の子供がそれぞれ頑張って生活をしていること	
姉弟家族で団らんしたとき	
家族が笑顔でいるとき。楽しいテレビを見ているとき食事をしているときいつもの日常に幸せを感じる。大きな不安がないことが幸せだと思う	
家族が円満な顔が見るとき	
家族が元気であること	他7件
家族がそろって家でくつろいでいるとき, コロナが落ち着いてきて少しずつマスクしながら外出出来たとき	
家族が近くにいるところ, 困ったとき助けてくれる	
家族が増えたこと。パパと喧嘩が少なくなったこと	
家族が無事に家で笑顔でいるところ	
家族が皆元気でともに笑顔で過ごせること	
家族がゆったり眠れること	
家族全員コロナに感染せずに元気であること	
家族全員でいるとき, 生活活動しているとき	
家族全員でたわいのない話をしているとき	
家族で一緒にいるとき	他8件
家族で過ごす笑顔あふれるおうち時間	
家族と一緒に現在の地域に住めたこと	
家族と元気に過ごせること	
家族と楽しくいること。子どもが増え充実している	
家族との夕食が楽しいとき	
家族の笑顔, 会話, 自然の風景を見たとき	
家族ノートパソコン笑顔が見られたとき	
家族の中に病人がいなくて。経済面で借金のない生活が営まれる	

家族みんなが集まるとき。やりがいのあることがあること	
家族みんなが元気で生活できていること	
家族みんなが健康で暮らせること	他3件
家族みんなが健康でそれぞれ頑張っていること	
家族みんなでゆっくり過ごせるとき	
家族みんなと楽しく笑い合っているとき	
家族や友人と過ごしているとき	他1件
家に帰れば家族がいること	
休日に家族でゴロゴロしてみな元気なとき	
今日も一日元気で過ごしたとき	
公園で子どもたちが遊んでいる姿を見た・見るときが幸せです	
午後6時に鳴り響く童謡を聞くと今日も無事終わったと考えるとき	
子どもがうれしそうにしていたのを見たとき。友だちと遊んでいるとき	
子どもが親から手が離れていったとき	
子どもが帰ったとき	他1件
子どもが家族が健康なこと	
子どもが元気に学校に通って外で元気に遊んで帰ってきたときに真っ赤な顔で汗をたくさんかいてきたとき	
子どもが外で楽しそうに遊んでるとき。大声でワイワイやらせてもらえてありがたい	
子どもが無事生まれた事。大竹市で子どもたちが元気に育ってほしい	
子どもが無事に就職した	
子どもが孫を連れて遊びに来たとき	
子どもがやさしい言葉をかけてくれるのがうれしい。幸せを感じる	
子どもたちが帰省したときに庭でするBBQ(すぐ近くに山などの自然ある)	
子どもたちが楽しそうにしているのを見守っているとき	他2件
子どもたちと元気で集まって喋ったりすること	
子どもと夫と家族全員で寝っ転がったとき	
子どもと楽しい会話ができること	
子どもと話をするとき一緒に遊ぶとき	
子どもにごみ捨て、買い物や病院に連れて行ってもらいます	
子どもの笑顔を見るとき	他4件
子どもの成長を見ているとき	他4件
子どもの誕生日に笑顔でケーキやご馳走を食べるとき。仕事で「ありがとう」と言われるとき	
子どもの寝顔を見るとき	
子どもや孫たちと一緒にいるとき	
孫、ひ孫が早く見たい	
孫が生まれて無事成長している姿を見るとき	
孫たちが元気で学校に行く事が出来るようになったこと。コロナウイルスが静止してくれますように	
孫たちが元気に大きくなりよく遊びにかえってくる	
孫たちと会ったとき	他2件
孫と一緒に遊んでから食事するとき	
孫や家族で団らん。	
妻、子どもの笑顔を見たととき	
3家族が集まり食事等するとき	
職場で子どもの成長を感じられたとき	
周りの人々の笑顔	
皆が元気なとき	
みんなで集まったとき	
息子夫婦が来て孫たちの成長を感じる	
娘たちが社会人、大学生になり家を出ました。娘たちが帰ってきたとき話をするときが一番幸せ。娘たちはこのまちが大好きです	
娘孫とのテレビ電話	
最近家族で過ごす時間が増え、主人と散歩することが日課になりました。のんびりとした時間が幸せに感じました	
大竹市にはコロナ感染者がいない。給付金がとても速く振り込まれた	
大竹市に新型コロナウイルスの感染者が発生しなかったことはすばらしい。これからも大いにみんなに協力していきたい	
コロナウイルス1号にならなかつたこと	
コロナウイルスの中で実感するのはやはり健康で当たり前前に生活が出来ること。このことが一番「幸せ」だと感じました。それと休校中に子どもたちと過ごすゆったりとした時間が本当の幸せ	
コロナが明けて、子どもたちが学校や保育園等に行けること。そういう仕事なので全員元気で揃って改めて幸せな仕事だと思います	
コロナが終わったこと	
コロナで会えなかった親族に会えて、食事等して団らんしたこと	
コロナで当たり前の日常がいかにか幸せかを感じる事ができた。家族が元気であることが一番幸せだと思う	
コロナで休校や仕事が休みになり自宅でゆっくり子どもたちと話したり、自分の時間を持てたこと	

コロナのせいで自宅にすることが多いが日ごろ大きくなった子どもと関わるのが少なかったが今は家族でご飯を食べることが多くなり幸せです	
コロナのせいで世界中が大変な事になってる今特に思うことは「普通の生活」が送れることが一番の幸せだと思います	
新型コロナウイルスに負けず感染者ゼロで本当に幸せだと感じた	
新型コロナでも年金と特別給付金をいただきありがとうございます	
新型コロナにより何事もない日常の中で元気で単に自分が動けることの幸せを気づく	
最近コロナの事で体調が良くない不安です	
自分の幸せではないが政府の10万円給付が広島県で最も早かった。素晴らしかった	
10万円が届いた	
特別給付金が早く振り込まれ家族が笑顔になったこと	
給付金の迅速な振り込みにありがたさを感じました	
災害に遭遇することもなく、温暖な土地で海山に恵まれた地域で過ごせること	
災害の少ない緑豊かなまちに住めていること	
大雨、地震、台風等が今のところ被害がないとき	
大きな事件、事故等に巻き込まれず平穏無事に過ごせた一年を振り返って	
大竹は大きな災害などもなく安心して暮らせる所	
台風、地震、集中豪雨等自然災害が多発する昨今何事もなく暮らせること	
病や災害がないこと	
最近では幸せを感じたことがない	
魚が多く釣れたときと鯛そうめんを食べるとき	
散歩	他1件
幸せを感じたことは自分で出来ること	
幸せを感じます	
時間を気にせず眠れるとき	
仕事終わって風呂に入っているとき	
仕事があってもわずかでも自分も出来ること	
仕事が順調に終わり「ありがとう」と言われたとき一日元気で過ごせたとき	
仕事が出来るとき	
仕事も大竹にあり、現在大竹の地で働いて母とおしゃべりも好きだし母と美味しいものを食べるとき幸せだなと感じます	
仕事をして人に喜んでもらったとき	
自然が身近にあるところ	
親しい仲間と久しぶりに会ったとき	
自治会でいろんな行事、体づくり	
市内でどこに出かけても知り合いに出会える安心感がある	
自分が健康であること	他1件
自分がしたいと思うことが出来ること	
自分自身家族みんな元気に暮らしています	
自分や子どもが人にやさしくされたとき。やさしさが連鎖しているとき幸せだ平和だと感じる	
自由であると感じたとき	
趣味が思いきり出来ているときに強く幸せを感じる。町内に大きな店が出来て必要なものが買えるときにいいなと感じる	
趣味の魚釣りにいくこと。家族みんなが仲良いこと	
趣味の庭いじり、将棋	
趣味や学習の場を通して仲間友人と親しく交歓できることが生き甲斐である	
作った野菜で美味しい料理を作ったとき	
旅行	
釣った魚東京都畑でとれた野菜で食事をしているとき。仕事がうまく行っているとき。友人を招いてBBQパーティーをしているとき。子ども達が太竹でできた友達と遊んでいるとき	
深刻な悩みがない	
人生あと少しなので現在出来ることを誰にも邪魔されずに過ごせること	
住み心地の良いまち、市民の心に添っている行政	
住んでいる近所が都会化が進んでないこと。人の移り変わり世代が新しくなっているが昔からの風景を見て居心地が良い	
ソファの上で横になり誰にも責められずときを過ごすことが出来たとき。このようなアンケートは3回目の回答です。どのよう	
にいかされているのか回答した者が感じられる情報の公開を求める。2時間かけて回答したので大竹市の為になることが幸	
せです。	
誕生日を迎え、家族が祝ってくれたこと	
地域住民とのコミュニケーションと一体感が得られたとき	
地域の人々とのコミュニケーションや健康	
小さな目標であってもそれを達成したときの満足感	
地区の有志や友人での活動	
転勤で地元へ帰れることが決まったとき	
歳と共に幸せを感じなくなった	
年寄りのデイサービスがなかなかだ	
歳をとるとあまりよくなるし、行動範囲も小さくなる	
独居生活に入って4年経過。毎日ではないがすることがあること。信頼できる人がいます	

隣近所の人達が親切で毎日が幸せです	
友だちや彼女に会ったとき	
長生きして孫の結婚に出られたこと	
仲良しの友達と携帯で楽しくおしゃべりが出来ること。今日も一日元気で過ごせたこと。家族と一緒に不安がなく幸せと思う	
波風がたたず、3食食べてゆっくりねむれるとき	
年金、健康保険のありがたみを感じる	
母の日にマスク100枚プレゼントしてくれた	
春に桜の開花を見たとき。大竹支所前国道から見て汚いイメージがあるのでしだれ桜を植えて美しさを	
人とのふれあいが多い	
人と話すとき(遠方に住んでいる友人たちとオンライン飲み会ができた)	
人と人のつながり、やさしさにあふれるとき	
人にやさしくされたとき	他1件
1人海に行っってボーっとする	
日々無事に終わること	
きれいに花が咲いているのを見たり、きれいな街並みを見たとき	
近所の人にはいつもお世話になり感謝している	
勤務先が岩国ですが、岩国市の人も大竹市の人も他市から来た私を温かく迎え入れてくださっていること。日々関わりで感じています	
主人80歳、私76歳今は二人とも元気で暮らしています。二人とも自転車で買い物等を頑張っています。大竹駅までもう少しバスの時間がたくさんあると便利。少し遠くのスーパーにも行けたら幸福	
敬老会。市長さんのやさしい笑顔とやさしいお言葉	
元気で成長していく孫に幸せを感じます。	
元気で働けることです	
元気で日々の生活が出来ていること	他5件
健康であること。友人とスポーツを楽しむこと	
健康で自分の事はできること	
健康で心配や不安を感じ家族と共に一日を過ごしたとき	
健康で過ごせる体と心に自分への感謝できること。平凡で平和なときを過ごせること	
健康にかつ活発に日々が過ごせて終われるとき	
健康に過ごし、食事が美味しくいただいたとき	
現在夫の介護中ですが、私の体調が優れない今、「幸せだな」と思えない日です。私の体調が戻り、いつもの日常を取り戻したとき「幸せだ」と感じることでしょ	
病気がほぼ治り仕事にいけること	
病気にせず自由に体が動き無事一日過ごせたとき	
病気をしたとき改めて健康の大切さに気が付いた	
まだ少し歩行が出来るので一人暮らしがそれなりにでき幸せと思う	
不安なく生活できること	
夫婦が健康で過ごせていること	他1件
普段の生活が出来ること	
普通の生活ができること。コロナで外出や生活がむずかしくなった今、それだけですごく幸せなのだと感じます	
平和な日々	他1件
ペットと過ごすとき。友人と食事をするとき。毎日生かされ仕事をして少しでも自分なりに役に立っているかなと思うとき	
盆、正月に子ども孫がきてくれるとき	
毎日朝起きたこと、聖書を読むとき、キリスト教の番組、世の光や松山福音センターの番組を聞いているときが落ち着きます。讚美歌やクラシックを聴いたりするときに落ち着いて幸せを感じる	
毎日が不自由なく今元気である事とコロナも出ていなく、友達子どもたち家族身内に何もトラブルがないので幸せです	
毎日元気で生活できること	他1件
毎日を当たり前前に無事に過ごせたら平安	
日々が平穩に暮らせること	
日々健康で過ごせる	
日々の生活の中でストレスも多く、笑顔になる。ほっと癒される場所・もの・人。ストレス解消は健康に繋がる	
日常で幸せを感じております。不自由は暮らしの中でも心の中は自由であると思う	
日常の生活や仕事でいつもプレッシャーを感じていますがそれも幸せなこと	
日本に住む幸せ。生活に困ったら相談できるし防災も安心です	
寝ているとき、眠れたとき。夜は静かだから	
寝るとき	
友人と将来について酒を飲みながら話すとき	
夢がかなったとき、小さな家とキャンピングカーとスポーツカー揃いました	
リビングの窓から見えるコンビナートの夜景を眺めているとき。外出自粛といっても戦時中のように命危険があるわけではないさせるべき寒ければヒーターがある。暑ければクーラーがある	
笑って生活をしていること	

アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和2年5月1日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」



※回答期限：令和2年6月8日(月)まで

日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、現在、わがまちプランに基づく様々な取り組みを行っているところです。

このアンケートでは、主に、わがまちプランのテーマでもある、「大竹市に住んでよかった」と皆さんがどれくらい感じているかをいくつかの幸せ感を量る尺度を設定し、お尋ねします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答者は、大竹市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為抽出により、1,500人（地区別層化抽出1,000人、20歳以上50歳未満から抽出500人）を選んでいます。（抽出日：令和2年5月1日）

このアンケートは令和元(平成31)年度の内容についてお尋ねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについてお尋ねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの幸せ感を量る尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問2では、市民自治について、あなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問3では、市民の皆さんの幸せ感を高めるためにあなたが大竹市について心配していることをお尋ねします。
- 問4では、あなたが考えている大竹市のよいところをお尋ねします。
- 問5では、あなたがどのような時に幸せを感じるかをお尋ねします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- お答えは直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後はこの調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月8日(月)までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

★アンケートのお問い合わせ先★

大竹市総務部企画財政課企画係

電話：0827(59)2125

FAX：0827(57)7130

e-mail：kikaku@city.otake.hiroshima.jp

調 査 票

○ あなた自身のことについてお尋ねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2)年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3)住所

1	新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野	5	防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷
2	西栄, 南栄, 東栄, 北栄	6	玖波, 玖波町, 湯舟町
3	立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去に大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

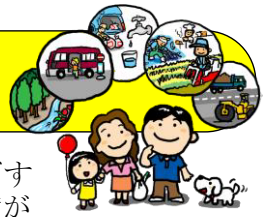
(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをお尋ねします。
次の設問に、それぞれ「はい」、「いいえ」の当てはまるほう
に○をしてください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について
ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざす
にあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が
重要であると考えています。

a	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	はい	いいえ
b	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	はい	いいえ
c	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整って いて暮らしやすい	はい	いいえ

2. 【安全なまち】について
ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。
しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまち
を見守る市民を増やしていきたいと考えています。

d	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	はい	いいえ
e	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の 防災意識、危機管理意識は高いと思う	はい	いいえ
f	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに 参加したいと思う	はい	いいえ

f2 「いいえ」を選択された方は、どんな活動なら参加できそうか、教えてください。

3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。



いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	はい	いいえ
---	---	----	-----

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	はい	いいえ
---	---	----	-----

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

i2	<p>「はい」を選択された方は、①具体的にどんなボランティア活動に参加してみたいか、あるいは、②今、実際にやっていることを教えてください。</p> <p>①についてお書きください。</p> <p>②についてお書きください。</p>		
----	--	--	--

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。



生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、活き活きと暮らして欲しいと考えています。
また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着もてるまちにしたいと思えます。

j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	はい	いいえ
---	----------------------------------	----	-----

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	はい	いいえ
---	-------------------------------	----	-----

l2	<p>あなたの環境美化の取り組みがあれば、教えてください。</p>		
----	-----------------------------------	--	--

5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m

大竹のよいところを知っている

はい

いいえ

m2

「はい」を選択された方は、あなたの考えるよいところを、教えてください。

n

市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ

はい

いいえ

o

あなたの暮らす地域が好きだ

はい

いいえ

o2

「はい」を選ばれた方は、①特にどこが特に好きか、教えてください。

「いいえ」を選ばれた方は、②好きになれない理由は何か、教えてください。

①についてお書きください。

②についてお書きください。

問2

「市民自治」について、あなたの考えをお尋ねします。次の設問について、それぞれ

「はい」, 「いいえ」の当てはまるほうに○をしてください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、自らまちづくりを自分の問題として捉え、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。
この市民自治の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながりますし、住みたい、住んでよかったと感じるまちにも近づいていくと考えます。

p	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	はい	いいえ
---	---------------------------	----	-----

q	自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	はい	いいえ
---	-------------------------------	----	-----

q2 「はい」を選択された方について
①やってみたいこと、あるいは、②今、実際にやっていることを教えてください。
また、③やってみたいと思っていてもできない理由があれば、それも教えてください。

①についてお書きください。

②についてお書きください。

③についてお書きください。

問3

あなたが大竹市に足りていないと思っていることを次の項目から3つまで選び、どうすれば、解消できると思うか、あなたの考えを教えてください。

- a 地域産業が盛んでまちに元気があると思う
- b 目的地までの移動がしやすいまちだと思う
- c 道路, 公園, 上下水道, 水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい
- d 災害, 犯罪, 事故などが少ない安全なまちだと思う
- e 消防団や自主防災組織等の活動が活発で, 地域住民の防災意識, 危機管理意識は高いと思う
- f 自主防災組織の活動, 救命講習, 交通安全運動などに参加したいと思う
- g 困った時などには, 地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う
- h 生活習慣の改善に取り組んだり, 健康診断や健康づくりに参加したりするなど, 自分の健康管理に日頃から気を付けている
- i 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う
- j やりたいことや夢中になれることがあり, 生活が充実している
- k 地元の歴史, 伝統文化, 地域行事に市民として誇りや愛着を感じている
- l 環境美化の取り組みが進んでおり, まちがきれいで気持ちがいい

(記号欄)	(記入欄) 足りていないと思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。
-------	---

(記号欄)	(記入欄) 足りていないと思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。
-------	---

(記号欄)	(記入欄) 足りていないと思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。
-------	---

問4

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きなひと・もの・こと・とき・ところなど、なんでも構いません。
ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

ここまでは、皆さんの心配や不安を取り除くよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの幸せ感を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。

しかし、皆さんが普段感じる幸せ感は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんの些細なことかもしれません。

問5

最後にお尋ねします。

あなたはどのような時に幸せを感じますか。

最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

(記入欄)

★ 設問は以上で終わりです。
皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに一步ずつ近づいていくものと考えています。市では、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、よいまちの実現に向けて、わがまちプランに基づき取り組みを進めていきます。
このたびは、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和2年6月8日(月)まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、まちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、現在、わがまちプランに基づく様々な取り組みを行っているところです。

わがまちプランでは、取り組みの成果を確認するための主要指標として「アンケートで幸せ感に関するポイントを上げる」を掲げています。

アンケートは、わがまちプランの計画期間中（平成23年度から令和2年度まで）、2つの方法により毎年実施しています。1つは、無作為抽出による1,500人の市民の皆さんにお気持ちを伺うもの（「一般」）です。もう1つは、あなたに引き受けていただいている、毎年同じ目線から昨年と比較してどうなっているか伺うもの（「モニター」）です。

前年との比較を続けるにあたっては、10年間同じ方をお願いする方が長い間の動きがわかりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、引き続き令和2年までおつきあいくださいますようお願いいたします。（令和2年度のアンケートは令和3年6月頃に行う予定です。）

アンケートは、回答者の負担を軽減するため、「一般」に比べて、設問を簡略化しています。また、この1年間、市がしてきたことが少しでもわかるように、平成31年度の当初予算から主要事業を抜粋したものを同封しています。ストレートに質問と結びつくものではありませんが参考にいただき、昨年と比較して今の大竹市がどのような状態にあるかをお答えください。

なお、「モニター」の辞退をご希望の方は、大変お手数ですが、下記の問い合わせ先までご連絡くださるようお願いいたします。

このアンケートは平成31(令和元)年度の内容についてお尋ねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについてお尋ねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの幸せ感を量る尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問2では、市民自治について、あなたがどう思っているかをお尋ねします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が不可能な場合は、恐れ入りますが、ご家族等の方が下記★までお知らせください。）
- お答えは直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後はこの調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月8日(月)までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、回収後にどなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果は、後日、広報やホームページなどで公開します。

★アンケートのお問い合わせ先★
大竹市総務部企画財政課企画係
電話：0827(59)2125
FAX：0827(57)7130
e-mail：kikaku@city.otake.hiroshima.jp

調 査 票

○ あなた自身のことについてお尋ねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2)年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3)住所

1	新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野	5	防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷
2	西栄, 南栄, 東栄, 北栄	6	玖波, 玖波町, 湯舟町
3	立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海	7	松ヶ原町
	黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘	8	栗谷町
4	阿多田		

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去、大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

大竹市について、あなたが普段思っていることをお尋ねします。
次の「a」～「o」の設問について、「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。

a	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---------------------	------	------	---------	---------	--------

b	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---------------------	------	------	---------	---------	--------

c	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	----------------------------------	------	------	---------	---------	--------

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。

d	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	-------------------------	------	------	---------	---------	--------

e	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	---	------	------	---------	---------	--------

f	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
---	----------------------------------	------	------	---------	---------	--------



3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。

いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思ふ	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。

生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、生き活きと暮らしてほしいと考えています。

また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着のもてるまちにしたいと思ひます。



j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	そう思ふ	少し思ふ	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m	大竹のよいところを知っている	よく知っ ている	少し知っ ている	どちらでも ない	あまり 知らない	ほとんど 知らない

n	市外の人に大竹の悪口を言われ たら腹が立つ	そう思 う	少し思 う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思 わない

o	あなたの暮らす地域が好きだ	そう思 う	少し思 う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思 わない

問2

「市民自治」について、あなたの考えをお尋ねします。次の「p」、「q」の設問について、「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、自らまちづくりを自分の問題として捉え、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。

この市民自治の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながりますし、住みたい、住んでよかったと感じるまちにも近づいていくと考えます。

p	あなたの暮らす地域のことに普 段から興味をもっている	そう思 う	少し思 う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思 わない

q	自分もできれば何か地域の役に 立てるようなことをやってみたい	そう思 う	少し思 う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思 わない

問3

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きなひと・もの・こと・とき・ところなど、なんでも構いません。
ひとつだけお書きください。

★ 設問は以上です。

「幸せ感」とは・・・

このアンケートでは、皆さんの心配や不安を取り除くよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの幸せ感を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。しかし、皆さんが普段感じる幸せ感は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんの些細なことかもしれません。

★ 市では、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、よいまちの実現に向けて、わがまちプランに基づく取り組みを進めていきます。

このたびは、モニターとしてのアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



大好き ♡♡♡ おおたけ
笑顔 ♪ 元気いつまでも



第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況



I 概要

1 内容

後期基本計画では、各「主要な施策」に平成31年度の「数値目標」を設定しています。この「数値目標」に向かって、毎年の「目標値」を実施計画に掲載しています。その「目標値」と「実績値」で達成度を測っていきます。

今回、「実績値（令和元年度）」は、実績値を掲載しました。（ の部分です。）特徴的な項目には、表外に分析や取組を掲載しています。また、後期基本計画の目標年度は令和元（平成31）年度ですので、後期基本計画には、目標値は設定されていません。

2 数値の見方

①	基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する 目標1-① 工業の振興 施策1 工業の振興	重要業績評価指標(KPI)							
		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
②	大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査 (広島県)]	目標値	—	—	155万t	160万t	160万t	160万t	160万t
		実績値	145万t	140万t	138万t	156万t	147万t	145万t (速報値)	
③	(1)企業支援事業(214,215)	指 標							
④	産業奨励金の措置指定件数 ※工業・サービス業等複数の業種の合計	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
		目標値	—	—	3件	5件	6件	7件	7件
		実績値	2件	1件	5件	4件	1件	0件	

◇表中の記載は、説明例として加工したものであり、数値等は実際の事業計画の記載と異なる部分があります。

①：総合戦略の体系です。

3つの「基本目標」・15の「目標」・39の「施策」から構成されています。

「施策」はいくつかの「事業」で構成されます。各施策の方向性や事業の内容は、総合戦略（後期基本計画実施計画）をご覧ください。

②：施策の効果を測る指標です。（施策評価）

施策全体を客観的に評価する目安です。めざすべき姿の実現により得られる効果で評価します。〔 〕は数値の引用元の名称です（資料がある場合のみ）。

目標値：平成26年度を基準値として設定した令和2年度までの目標値です。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（調査時期により、年度が終了しても記載できていないものもあります）。

欄外に、指標に関する分析や事業などを記載しています。なお、KPIによる施策評価は外部委員で構成される推進会議でも実施しています。

③：大事業の名称です。

施策を実現するための複数の「具体的な事業」をまとめたもので、後期基本計画の「大事業」の名称と一致します。

④：大事業の進捗状況や達成状況を測る指標です。（事業評価）

目標値：平成26年度を基準値として、令和2年度までの目標値を記載しています。ただし、H27年度以降に開始した事業の場合は基準値がありません。

〔 〕は数値の引用元の名称です（資料が有る場合のみ）。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（事業開始前は「－」となっています）。

II 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1-① 工業の振興

施策1 工業の振興



重要業績評価指標(KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
従業員4人以上の事業所製造出荷額 〔工業統計調査〕	目標値	—	—	2,741億円	2,761億円	2,781億円	2,800億円	2,872億円
	実績値	2,394億円 (H25)	2,730億円 (H26)	3,007億円 (H27)	2,615億円 (H28)	2,996億円 (H29)	2,870億円 (H30速報)	
大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査(広島県)〕	目標値	—	—	155万t	160万t	160万t	160万t	160万t
	実績値	145万t	140万t	138万t	156万t	147万t	145万t (速報値)	

目標1-② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

重要業績評価指標(KPI)		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
事業所数(卸売業・小売業)の減少率 〔経済センサス[基礎調査][活動調査]〕	目標値	—	—	△10%以 (H26⇒H28) 2年間	未調査年	未調査年	△10% (H26⇒R1) 5年間	△10% (H26⇒R1) 5年間
	実績値	△10% (H21⇒H24) 3年間	—	△4.4% (H26⇒H28)	—	—	—	
手すき和紙保存会の収入額【R1新規】 (売上及び体験講座受講料)	目標値	—	—	—	—	—	1,086千円	1,194千円
	実績値	987千円 (H26-28平均)	—	—	—	1,002千円	1,182千円	
手すき和紙作業所における体験・見学者の数 【R1新規】	目標値	—	—	—	—	—	256人	281人
	実績値	233人 (H24-28平均)	—	—	—	191人	810人	
手すき和紙作業所で生産される製品の種類 【R1新規】	目標値	—	—	—	—	—	6種類	8種類
	実績値	—	—	—	4種類	6種類	7種類	

目標1-③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
※漁業経営体の数 [漁業センサス] ※ 漁業経営体: 過去1年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所(ただし、過去1年間における漁業の海上従事日数が30日未満の個人経営体は除く)。	目標値	—	—	未調査年	未調査年	未調査年	78経営体 (H30)	78経営体 (H30)
	実績値	78経営体 (H25)	—	—	—	—	70経営体 (H30)	

施策2 農業の振興

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
耕作放棄地の面積	目標値	—	—	4.3ha	4.2ha	2.7ha	2.7ha	2.7ha
	実績値	4.5ha	4.4ha	2.7ha	1.9ha	1.4ha	1.6ha	
給食センターとの契約品目数	目標値	—	—	2品目	5品目	10品目	10品目	10品目
	実績値	—	—	10品目	17品目	23品目	※ ¹ 26品目	

参考 ※1:【目標値達成】(給食センターとの契約品目)干しシイタケ, 生シイタケ, ニンジン, サツマイモ, トマト, キャベツ, ナス, ダイコン, サトイモ, ジャガイモ, ロメインレタス, トウガン, ハクサイ, タマネギ, スナックエンドウ, キュウリ, ニンニク, カボチャ, シュンギク, ユズ, ワサビナ, ダイコンバ, レモン, シロネギ, コノメ, ゴボウ

施策3 林業の振興

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市全体の森林間伐面積 (昭和61年からの累計)	目標値	—	—	92.1ha	98.8ha	105.5ha	112.2ha	112.2ha
	実績値	78.7ha	87.5ha	91.9ha	96.4ha	103.7ha	120.4ha	

目標1-④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
有効求人倍率(求職者に対する求人の割合) 〔出典:広島労働局〕	目標値	—	—	0.80倍	0.85倍	0.95倍	1.00倍	1.00倍
	実績値	0.78倍	0.80倍	0.79倍	0.87倍	0.88倍	※2 0.94倍	

分析 ※2:【目標値未達成】就業地ベースの有効求人倍率は1.65倍と高水準であり、大手企業の就職が市外で行われている影響と思われます。

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2-① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上



重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
勤労青少年ホームのサークル数	目標値	—	—	4団体	4団体	5団体	5団体	5団体
	実績値	3団体	3団体	4団体	3団体	3団体	※ ¹ 4団体	

参考 ※1:【目標値未達成】テニス, トレーニング, バドミントンサークル, ゆるミントン(初心者向けのバドミントン)

目標2-② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
合計特殊出生率 ※広島県人口動態統計調査(当該年1月~12月)の数値により市で算出(小数点第3位を四捨五入)	目標値	—	—	—	—	1.47人 (H25-29)	1.49人 (H26-30)	1.50人 (H27-R1)
	実績値	1.38人 (H21-25)	1.42人 (H22-26)	1.46人 (H23-27)	1.49人 (H24-28)	1.50人 (H25-29)	※ ² 1.49人 (H26-30)	
JA広島総合病院の分娩制限の有無 ※産科医師・助産師の人数が不足したことにより, H19年2月からH25年6月まで分娩の受入が制限されていました。	目標値	—	—	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
	実績値	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	

分析 ※2:【目標値達成】合計特殊出生率は, 目標値を達成しており, 少子化に一定の歯止めがかかっていると思われる。

「合計特殊出生率」とは, 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。1人の女性とその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども数に相当する。

目標2－③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
家庭教育・子育て支援に関する講座の受講者割合 ※0～5歳児童数に対する同年齢層を対象とした講座の受講申込者割合	目標値	—	—	—	28%	29%	30%
	実績値	21%	21%	27%	30%	34%	32%

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
保育所の待機児童数	目標値	—	—	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	11人	3人	0人
地域子育て支援拠点の利用者数(延数)	目標値	—	—	19,000人	19,000人	19,000人	19,000人
	実績値	19,694人	18,208人	18,230人	19,425人	19,441人	17,471人
子育て支援に関するホームページのアクセス数 ※ H27年度に子育て支援の専用ページを作成	目標値	—	—	2,800件	2,800件	2,800件	2,800件
	実績値	※—	—	2,659件	2,122件	2,062件	2,088件
地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合【R1追加】	目標値	—	—	—	33%	33%	100%
	実績値	—	—	—	33%	33%	33%

目標2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
小・中学校の教育活動に満足している保護者・地域の割合 〔学校評価調査〕	目標値	—	—	75%	78%	80%	85%	90%
	実績値	75%	82%	83%	90%	90%	91%	

施策2 青少年の健全育成

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
ジュニアリーダー育成事業に協力者として参画する高校生の数	目標値	—	—	3人	4人	4人	5人	5人
	実績値	2人	1人	2人	1人	4人	7人	

施策3 学校給食を活用した食育の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
対象児童に対する調理体験の応募者の割合	目標値	—	—	—	—	5.0%	7.0%
	実績値	—	—	—	—	4.9%	6.5%

分析 ※3: 対象児童1,224人に対して、応募者80人。SNSなどを利用して、食の大切さや事業のPRを積極的に行ってきたため、応募者が増えてきたと考えられます。

参考値	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
朝ごはんを毎日食べる子どもの割合(小学5年生) 〔基礎基本定着状況調査(広島県)〕	98.6%	96.4%	91.5%	94.6%	94.2%	95.6%	

内容 家庭の個別の事情などの要因があり評価しにくく、評価指標から削除したが、子どもの食に関する重要な指標であるため、参考値としています。

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
放課後児童クラブの受入率 ※27年度までは低学年における割合。28年度以降は高学年を含む全学年の割合（法改正 27年度）	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	93.3%	100%	100%	100%	
地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合【R1追加】【再掲】	目標値	—	—	—	33%	33%	100%	100%
	実績値	—	—	—	33%	33%	33%	

基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3-① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備



重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「大竹市にずっと住み続けるつもり」と回答した人の割合 [大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)]	目標値	—	—	67.2%	70.3%	73.4%	76.4%
	実績値	64.1%	63.6%	66.1%	60.4%	71.1%	67.1%

施策2 雨水排水対策

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
浸水の危険性が改善される市域面積	目標値	—	—	—	—	2.0ha	11.3ha
	実績値	—	—	—	—	※1 ー	※1 ー

取組 ※1:【目標値未達成】平成30年7月豪雨の影響により、工事に着手できなかった。

施策3 公共交通機関の整備促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市が運行・補助する公共交通の運賃収支率 (辺地タクシー、離島航路を除く)	目標値	—	—	51.0%	52.0%	53.0%	54.0%
	実績値	41.4%	46.7%	58.9%	57.1%	55.8%	51.1%
「目的地までの移動がしやすいまち」と思う人の割合 [大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)]	目標値	—	—	55.8%	57.2%	58.6%	60.0%
	実績値	53.0%	49.4%	50.7%	50.0%	51.3%	58.4%
玖波・黒川地域に転入・転居した人数 (累計) ※ 対象地域: 玖波駅の利用が多いと思われる、玖波1~8丁目、湯舟町、玖波町、黒川1~3丁目	目標値	—	—	520人 (H27-H28)	780人 (H27-H29)	1,040人 (H27-H30)	1,300人 (H27-R1)
	実績値	256人	293人	639人	960人	1,274人	1,618人

施策4 公園・緑地の整備

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公園の利用者数 (晴海臨海公園とさかえ公園の利用者数の合計)	目標値	—	—	137,000人	144,200人	151,500人	158,800人	207,600人
	実績値	122,392人	161,814人	158,344人	152,747人	206,114人	※2 213,562人	

取組 ※2:【目標値達成】H30年度に晴海臨海公園に大型複合遊具広場を整備し、利用者が増加しています。しかし、R2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、利用者は減少しています。

施策5 環境美化の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と感じる人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%	65.0%
	実績値	61.2%	60.3%	61.6%	62.8%	70.1%	69.9%	

施策6 環境の保全

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
環境基準(大気)に適合している項目の数 〔広島県環境白書〕 ※ 環境基準の対象となる大気汚染物質:二酸化硫黄, 二酸化窒素, 光化学オキシダント, 浮遊粒子状物質, 微小粒子状物質, ベンゼン, トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, ジクロロメタンの9物質。現況では、光化学オキシダントは環境基準に適合していませんが、これは全国的な傾向であり、本市の対応のみで適合させることは困難な状況です	目標値	—	—	7項目	7項目	7項目	7項目	7項目
	実績値	7項目	7項目	8項目	8項目	8項目	県環境白書の発行が9月頃であるため実績値は現在不明	

施策7 交通安全対策の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市内での交通人身事故の発生件数(高速道路を除く) 〔広島県警察 交通事故統計〕	目標値	—	—	95件	95件	95件	95件	95件
	実績値	100件	92件	77件	67件	43件	50件	

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
他の地方公共団体と連携する事業の実施割合 ※連携中枢都市制度を活用し、広島広域都市圏内市町と本市が 一緒に取り組む「(ウ)生活関連機能サービス向上事業」の実施割 合	目標値	—	—	61.9%	90.5%	95.2%	100%	100%
	実績値	—	—	61.9%	61.9%	90.9%	90.9%	

目標3－② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
晴海住宅地の分譲区画数	目標値	—	—	29区画	32区画	34区画	41区画	41区画
	実績値	26区画	28区画	31区画	32区画	39区画	※3 42区画	
高齢者が居住する住宅のバリアフリー化割合 〔住宅・土地統計調査〕 ※ バリアフリー化住宅: 2カ所以上の手すり設置や屋内の段差解消などに該当する住宅	目標値	—	—	—	—	—	53.4%	53.4%
	実績値	47.6%	—	—	—	—	57.7% (R1公表値)	
新耐震基準(S56年)を満たす住宅の割合 〔住宅・土地統計調査〕	目標値	—	—	60.5%	67.0%	79.3%	82.2%	82.2%
	実績値	—	—	73.5%	—	—	73.5% (R1公表値)	
リフォームを実施した住宅の割合 〔住宅・土地統計調査〕	目標値	—	—	—	—	—	34.0%	34.0%
	実績値	32.0%	—	—	—	—	36.0% (R1公表値)	

内容 ※3:【目標値達成】全分譲区画数44区画。R2年1月1日付で分譲価格の見直しを行いました。

目標3-③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
訪問型サービスBの稼働数	目標値	—	—	—	1カ所	2カ所	3カ所	3カ所
	実績値	—	—	—	0カ所	0カ所	1カ所	
通所型サービスBの設置数	目標値	—	—	—	2カ所	6カ所	10カ所	10カ所
	実績値	—	—	—	0カ所	0カ所	0カ所	
生活支援コーディネーターの数 ※生活支援コーディネーター：高齢者の生活支援サービス体制の整備のために配置する人。地域支え合い推進員。	目標値	—	—	1人	2人	3人	4人	4人
	実績値	0人	1人	1人	1人	1人	1人	
離島介護サービスの利用者数	目標値	—	—	3人	7人	10人	10人	10人
	実績値	3人	4人	9人	11人	7人	6人	
大竹市シルバー人材センターの就業人数(延数)	目標値	—	—	54,000人	57,000人	57,000人	57,000人	57,000人
	実績値	53,595人	56,772人	56,146人	53,681人	54,207人	51,657人	
地域介護予防自主グループの稼働数	目標値	—	—	—	5カ所	15カ所	25カ所	25カ所
	実績値	—	—	—	13カ所	17カ所	19カ所	
敬老会の参加者数※ ※平成30年度より事業指標から移行	目標値	—	—	3,550人	3,600人	3,700人	3,800人	3,800人
	実績値	3,501人	3,561人	3,634人	3,838人	3,632人	3,909人	

施策2 地域福祉の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域福祉の推進を目的としたボランティア団体数	目標値	—	—	1団体	3団体	4団体	5団体	8団体
	実績値	1団体	1団体	3団体	5団体	6団体	9団体	
地域活動及びボランティアへの参加意向の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果	目標値	—	—	60.0%	60.0%	65.0%	70.0%	70.0%
	実績値	58.8% (H24)	—	44.7%	73.5%	62.5%	69.0%	
困ったときに助け合える近所つきあいをしている人の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	40.0%
	実績値	22.0% (H24)	—	29.2%	27.8%	16.4%	14.6%	
地域見守り協定締結の団体数(累計)	目標値	—	—	2団体	3団体	4団体	5団体	7団体
	実績値	0団体	1団体	3団体	6団体	6団体	※4 7団体	
総合福祉センターの利用者数(延数)	目標値	—	—	32,000人	33,000人	34,000人	35,000人	35,000人
	実績値	30,977人	34,092人	39,658人	36,443人	33,892人	32,140人	
生活支援コーディネーターの数 (再掲)	目標値	—	—	1人	2人	3人	4人	4人
	実績値	0人	1人	1人	1人	1人	1人	
はいかい高齢者SOSネットワーク登録者数(累計)	目標値	—	—	20人	25人	30人	35人	38人
	実績値	17人	24人	29人	35人	38人	42人	

内容 ※4:【目標値達成】(地域福祉の推進等に関する包括連携協定締結企業)山口県東部ヤクルト販売株式会社, 生活協同組合ひろしま, 日本郵便株式会社大竹市内郵便局
(高齢者等地域見守活動に関する協定締結企業)株式会社広島銀行大竹支店, 株式会社もみじ銀行大竹支店
中国電力株式会社大竹電力所, 佐伯中央農業協同組合

目標3—④ 地域力の向上

施策1 地域安全対策の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
犯罪の発生率（人口1,000人あたりの犯罪発生件数） 〔広島県警察「犯罪統計資料」から算出〕	目標値	—	—	6.6‰	6.4‰	6.2‰	6.0‰	5.8‰
	実績値	6.9‰	5.9‰	5.6‰	5.1‰	4.9‰	5.4‰	

‰[パーミル]: 1,000分の1

施策2 消防力の強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
条例定数に対する消防団員の割合	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	95.0%	100%	99.4%	99.3%	99.7%	95.4%	

施策3 災害・危機に強いまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
地域での自主的な防災訓練や防災教室の実施率 (自治会・自主防災組織単位)	目標値	—	—	38%	44%	47%	50%	53%
	実績値	35%	29%	37%	34%	40%	38%	
水や食糧を3日分程度備蓄している人の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査	目標値	—	—	—	45%	47%	50%	50%
	実績値	—	31%	39%	32%	33%	27%	
地震時のために家具等の転倒防止策を施している人 の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査	目標値	—	—	—	50%	55%	60%	60%
	実績値	—	27%	47%	40%	37%	32%	

施策4 救急・救助体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
救急講習の受講率 (対人口比)	目標値	—	—	24.0%	26.0%	28.0%	30.0%	32.0%
	実績値	20.0%	23.6%	25.2%	27.2%	30.5%	33.1%	

施策5 医療体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
休日診療所及び在宅当番医の診療科目数 ※ 診療4科目:内科, 外科, 眼科, 耳鼻咽喉科	目標値	—	—	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目
	実績値	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	

施策6 地域活動の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
自治会の加入率 (全世帯に対する自治会活動助成金の交付対象世帯数の割合)	目標値	—	—	82.0%	83.0%	82.5%	82.5%	82.5%
	実績値	81.8%	81.2%	83.2%	81.5%	79.1%	78.0%	

施策7 市民主体のまちづくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことを やってみたいと思う」人の割合 [大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)]	目標値	—	—	47.3%	48.2%	44.2%	44.2%	44.2%
	実績値	45.5%	40.3%	39.2%	39.9%	40.5%	40.4%	

目標3－⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
がん検診の平均受診率 ※	目標値	—	—	15.6%	20.0%	26.0%	32.0%
	実績値	(25.6%)	12.4%	11.6%	12.4%	16.0%	※5 19.9%
特定健康診査の受診率	目標値	—	—	37.0%	45.0%	45.0%	48.0%
	実績値	24.7%	26.6%	33.1%	34.6%	36.2%	29.0% (R1速報値)

※がん検診の受診率の算出方法が、平成27年度分から変更となりました。26年度の受診率は、新しい算出方法で算定できないため、従来の算出方法のまま掲載しています。(指標の各がん検診の受診率も、同様です。)

内容 ※5:【目標値未達成】健康福祉まつりでがんの講演会を行うなど、周知を図りました。

施策2 食育の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
食生活改善推進員の人数	目標値	—	—	40人	43人	43人	45人
	実績値	35人	35人	46人	38人	36人	35人

目標3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公民館等で開催する講座の受講者数(延数)	目標値	—	—	5,300人	5,300人	5,300人	5,300人
	実績値	5,338人	5,294人	5,749人	5,440人	6,703人	※6 8,161人

分析 ※6:【目標値達成】玖波公民館において、らんらんカレッジサマースクール「こども天国」を実施し、1日で様々なブースを設け、1,000人を超える参加があったため。

施策2 生涯学習の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
生涯学習施設の年間利用者の割合(人口比)	目標値	—	—	11.3倍	11.3倍	11.4倍	11.5倍
	実績値	11.1倍	10.7倍	10.8倍	10.6倍	10.5倍	10.0倍

施策3 スポーツの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
スポーツ大会等の参加者(利用者)数	目標値	—	—	187,000人	191,000人	196,000人	200,000人
	実績値	177,759人	193,295人	210,075人	204,151人	187,885人	189,402人

施策4 芸術・文化活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市文化祭への出展者数	目標値	—	—	280人	290人	300人	300人	300人
	実績値	276人	277人	252人	252人	274人	249人	

目標3ー⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市ホームページのアクセス数(延数)	目標値	—	—	339,000件	354,000件	369,000件	800,000件	900,000件
	実績値	290,717件	303,004件	781,855件	809,197件	944,729件	962,826件	
市内への観光客数(延数)	目標値	—	—	367,592人	377,592人	387,592人	398,800人	406,700人
	実績値	337,592人	389,170人	394,390人	393,590人	432,120人	※7 470,318人	

分析 ※7:【目標値達成】平成30年4月から供用開始となった晴海臨海公園の大型遊具の存在について、多くの人に広まったことが大きいと考えています。

Ⅲ 指標の達成状況

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1-① 工業の振興

施策1 工業の振興



(1) 企業支援事業 (214,215)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
産業奨励金の措置指定件数 ※ 工業・サービス業等複数の業種の合計	目標値	—	—	3件	5件	6件	7件	7件
	実績値	2件	1件	5件	4件	1件	0件	
融資件数(設備近代化資金) ※ 工業・サービス業等複数の業種の合計	目標値	—	—	3件	4件	4件	5件	5件
	実績値	2件	0件	0件	2件	0件	2件	
技能者等人材育成事業の増加(H27比)受講者数	目標値	—	—	15人	20人	25人	30人	30人
	実績値	—	18人	7人	30人	△3人	△11人	

(2) 工業用水道設備維持管理事業 (227)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
給水を制限・停止した件数(天災地変等やむを得ない場合を除く。)	目標値	—	—	0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件	

1-① 工業の振興, 1-② サービス業の振興

(3) 港湾施設管理事業 (224)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
大竹港(東栄地区)入港船舶数	目標値	—	—	3,950隻	4,000隻	4,000隻	4,000隻	4,000隻
	実績値	3,759隻	3,612隻	3,629隻	3,850隻	3,638隻	3,445隻 (速報値)	
大竹港(東栄地区)岸壁使用料収入	目標値	—	—	17,000千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円	17,500千円
	実績値	—	16,224千円	15,635千円	16,088千円	17,323千円	20,109千円	

目標1-② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

(1) 商業振興事業 (214,215)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
地元商店などで新規に取り組む事業の数	目標値	—	—	1件	6件	6件	6件	6件
	実績値	—	0件	4件	3件	3件	3件	
創業支援事業による [※] 創業者(起業家)数 (累計) <small>※ 商業に限定しません。</small>	目標値	—	—	4人	8人	12人	17人	20人
	実績値	—	0人	1人	2人	5人	8人	

(2) 伝統文化生産性付加事業 (214,215)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
手すき和紙作業所改修工事進捗率	目標値	—	—	—	—	100%	100%
	実績値	—	—	—	0%	100%	100%

1-③ 1次産業の振興

目標1-③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

(1) 養殖漁業経営支援事業 (213)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
漁協が自営事業として実施するブランドハマチ事業の数	目標値	—	—	1事業	1事業	1事業	1事業
	実績値	0事業	0事業	1事業	1事業	1事業	1事業
かきの採苗量	目標値	—	—	必要量の確保	必要量の確保	必要量の確保	必要量の確保
	実績値	必要量の2割程度	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保	概ね必要量の確保

(2) 漁港施設管理事業 (224)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
漁港施設で対策が必要な※箇所のうち、改修等に着手した箇所数 (累計) ※平成26年度に広島県から移譲を受けた時にa判定評価であった箇所及び移譲後に新たなa判定評価となった修繕箇所が対象	目標値	—	—	—	5	6	7
	実績値	—	—	—	3	4	6

施策2 農業の振興

(1) 集落営農担い手育成事業 (211)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
※人・農地プランの作成件数 ※人・農地プラン(地域農業マスタープラン):持続可能な力強い農業を実現するために、基本となる人と農地の問題を一体的に解決しようとするためのプランです。集落や地域でしっかりと話し合い、農地の問題を解決するための「未来の設計図」を作ります	目標値	—	—	1件	1件	1件	1件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件

1-③ 1次産業の振興

(2) 農業振興対策事業 (211)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
イノシシによる農作物被害額(農済集計)	目標値	—	—	680千円	595千円	510千円	425千円	425千円
	実績値	850千円	794千円	1,160千円	1,026千円	663千円	299千円	
農地パトロール実施地域	目標値	—	—	全地域	全地域	全地域	全地域	全地域
	実績値	—	全地域	全地域	全地域	全地域	全地域	

(3) 農業施設維持補修事業 (211)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
農道・農水路の保全計画の策定数(地区ごとに策定)	目標値	—	—	—	—	1地区	1地区	—
	実績値	—	—	—	—	0地区	0地区	

(4) ひろしま給食地産地消促進事業 (211)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
給食センター用農作物のマロンの里への出荷者数	目標値	—	—	10人	30人	40人	50人	60人
	実績値	—	—	10人	30人	30人	20人	

施策3 林業の振興

(1) 森づくり普及促進事業 (212)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
里山整備事業により整備した里山の数(累計)	目標値	—	—	1カ所	1カ所	1カ所	2カ所	2カ所
	実績値	0カ所	0カ所	1カ所	1カ所	1カ所	2カ所	

(2) 森林保育事業 (212)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
玖波財産区の森林間伐面積(昭和61年からの累計)	目標値	—	—	38.6ha	40.1ha	41.6ha	43.1ha	44.6ha
	実績値	35.6ha	37.1ha	37.1ha	37.1ha	37.1ha	38.7ha	

1-④ 雇用の促進

目標1-④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

(1) 雇用対策事業 (216)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公共職業安定所などと新規に連携して取り組んだ事業の数(累計)	目標値	—	—	—	1件	1件	2件	2件
	実績値	—	—	—	1件	1件	2件	

(2) 勤労者福祉事業 (216)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
労働金庫新規融資件数	目標値	—	—	14件	16件	18件	20件	20件
	実績値	10件	19件	12件	5件	3件	1件	
女性活躍促進セミナーの参加者数	目標値	—	—	20人	30人	30人	30人	35人
	実績値	—	30人	23人	45人	46人	26人	

2-① 出会いの場の創出, 2-② 母子保健環境の充実

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2-① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上



(1) 勤労青少年ホーム運営事業 (113)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
勤労青少年ホーム周知回数 (広報紙・ホームページなどの情報発信媒体への掲載数)	目標値	—	—	13回	14回	15回	15回	15回
	実績値	12回	12回	18回	14回	13回	13回	

目標2-② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

(1) 医療体制整備事業 (422)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
JA広島総合病院の産科医の人数	目標値	—	—	5人	5人	5人	5人	5人
	実績値	5人	6人	6人	5人	5人	6人	
JA広島総合病院の助産師の人数	目標値	—	—	26人	26人	26人	26人	26人
	実績値	26人	30人	26人	26人	25人	29人	

2-② 母子保健環境の充実

(2) 母子保健事業 (421)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
不妊治療助成制度の利用者数	目標値	—	—	—	—	10人	10人	10人
	実績値	—	—	—	—	8人	26人	
妊娠11週までに妊娠届を行う割合	目標値	—	—	94.0%	95.0%	95.0%	96.0%	96.0%
	実績値	94.0%	91.0%	95.9%	93.8%	96.2%	98.3%	
妊産婦健康診査等支援制度の利用者数【R2削除】	目標値	—	—	208人	210人	200人	200人	
	実績値	204人	200人	183人	188人	146人	161人	
妊産婦健康診査等支援制度の利用率 ※利用率の算出は、分母を「地域保健・健康増進事業報告の2(1)母子保健(妊娠の届け出数)」とし、任簿を当該年度内(4~3月)の支援費制度申請者数としているが、年度をまたいで支援制度を申請する場合があり、分子が分母を上回る場合がある	目標値	—	—	95.0%	96.0%	96.0%	96.0%	97.0%
	実績値	—	94.3%	107%	97.4%	91.8%	92.5%	
阿多田地区妊産婦健康診査交通費助成制度の利用者数	目標値	—	—	1人	2人	1人	2人	2人
	実績値	—	—	0人	1人	2人	0人	
妊産婦歯科健康診査の受診率(妊婦)	目標値	—	—	40.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	実績値	—	38.0%	43.8%	47.0%	47.0%	52.4%	
妊産婦歯科健康診査の受診率(産婦)	目標値	—	—	30.0%	40.0%	40.0%	40.0%	50.0%
	実績値	—	22.0%	35.2%	25.2%	47.0%	40.2%	
乳児一般健康診査(医療機関で実施)の受診率	目標値	—	—	80.0%	81.0%	82.0%	82.0%	82.0%
	実績値		79.2%	75.5%	77.0%	71.4%	76.5%	

2-② 母子保健環境の充実

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
生後4カ月までに赤ちゃん訪問を実施する割合	目標値	—	—	96.0%	98.0%	98.0%	100%	100%
	実績値	95.0%	98.0%	96.4%	95.3%	95.0%	90.3%	
乳児健康相談の受診率	目標値	—	—	95.0%	96.0%	96.0%	97.0%	97.0%
	実績値	95.0%	94.0%	97.0%	96.3%	95.9%	96.4%	
1歳6か月児健康診査の受診率	目標値	—	—	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	97.0%
	実績値	96.0%	95.0%	97.1%	96.1%	96.5%	97.8%	
3歳児健康診査の受診率	目標値	—	—	91.0%	92.0%	93.0%	94.0%	96.0%
	実績値	90.0%	90.0%	97.0%	97.5%	95.0%	94.8%	

2-③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

目標2-③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

(1)家庭教育・子育て支援事業 (111)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
家庭教育・子育て支援に関する講座数 ※ 家庭教育や子育て支援に関する講座は、前期基本計画期間中(H23-27年度)に大幅に増加させているため維持とします。	目標値	—	—	13講座	13講座	13講座	※13講座	※13講座
	実績値	13講座	12講座	12講座	16講座	13講座	12講座	

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

(1)子ども・子育て支援事業計画の推進 (412)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	14日	14日	14日	42日
	実績値	—	—	—	14日	14日	14日	
利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	—	1カ所	1カ所
	実績値	—	—	—	—	—	0カ所	
ファミリーサポートセンター事業の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	—	50日	25日
	実績値	—	—	—	—	—	0日	

2-③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

(2) こども医療費助成事業 (412)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
医療費助成拡充対象者への申請勧奨率	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	—	—	100%	100%	100%	100%	

(3) 特別保育の実施 (412)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
延長保育を実施する保育所等の数	目標値	—	—	3カ所	3カ所	3カ所	4カ所	3カ所
	実績値	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	
休日保育を実施する保育所等の数	目標値	—	—	0カ所	0カ所	1カ所	1カ所	1カ所
	実績値	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所	
病児・病後児保育利用可能人数(年間延人数)	目標値	—	—	750人	750人	750人	750人	750人
	実績値	750人	750人	750人	750人	750人	750人	

(4) 安全な保育に向けて (412)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
保育所アンケート安心度	目標値	—	—	60.0%	60.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績値	—	79.6%	84.3%	76.0%	70.2%	集計中	
保育所メールシステムの登録率 ※登録率は、保育所入所児童数に対する割合。	目標値	—	—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
	実績値	—	—	96.5%	97.0%	98.0%	98.0%	

2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

目標2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

(1)不登校等の対策 (112)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
不登校の児童・生徒数	目標値	—	—	25人	23人	20人	17人	25人
	実績値	27人	20人	25人	28人	30人	32人	

(2)小中学校施設整備事業<<H28完了⇒H29削除>>

◆学校施設の耐震化率 <<事業完了のためH29削除>>

●玖波小学校施設整備事業<<H28完了⇒H29削除>>

(3)教育推進事業 (112)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率【R2削除】 (県平均との比較) ★削除理由 県の「基礎・基本」定着状況調査のうち学力テストがH30年度から行われなくなったため	目標値	—	—	±0.0 ポイント	+1.0 ポイント	+2.0 ポイント	+3.0 ポイント	
	実績値	+1.3 ポイント	△1.3 ポイント	△1.2 ポイント	△0.8 ポイント	実施無	実施無	
全国学力・学習状況調査の平均正答率 (県平均との比較)	目標値	—	—	+1.3 ポイント	+1.5 ポイント	+2.0 ポイント	+3.0 ポイント	+40 ポイント
	実績値	+0.4 ポイント	+1.3 ポイント	△1.0 ポイント	△0.4 ポイント	△0.6 ポイント	△2.4 ポイント	
体力・運動能力テストで県平均以上の項目数 ※全項目数:34項目 ※評価対象:小学5年生男子・女子, 中学2年生男子・女子	目標値	—	—	13項目	13項目	13項目	16項目	13項目
	実績値	10項目	12項目	10項目	17項目	17項目	18項目	
特別支援教育支援員を配置した割合	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
いじめの認知件数	目標値	—	—	15件	13件	10件	10件	10件
	実績値	17件	11件	12件	14件	24件	18件	
学級支援員の配置数	目標値	—	—	11人	12人	12人	12人	12人
	実績値	9人	9人	11人	12人	10人	11人	
読書活動推進員の配置数	目標値	—	—	2人	2人	2人	2人	2人
	実績値	2人	2人	2人	2人	2人	2人	
中学3年生の英検3級以上取得者割合	目標値	—	—	—	—	40.0%	50.0%	50.0%
	実績値	—	—	11.7%	31.4%	29.7%	31.70%	

(4) 奨学金返還免除制度 (113)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
免除制度の利用者数	目標値	—	—	43人	45人	47人	50人	40人
	実績値	28人	41人	41人	41人	43人	37人	
新規貸付者数	目標値	—	—	15人	15人	15人	15人	10人
	実績値	—	9人	5人	3人	6人	4人	

2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策2 青少年の健全育成

(1)21世紀を担う人材育成事業 (113)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
ジュニアリーダー育成事業の参加者数 (小・中学生)	目標値	—	—	25人	25人	25人	25人	25人
	実績値	15人	29人	44人	21人	22人	23人	
ジュニアリーダー育成事業のリピーター人数 (小・中学生)	目標値	—	—	15人	15人	15人	15人	15人
	実績値	6人	13人	18人	18人	10人	17人	
中学生交歓交流事業の参加者数 (大竹市分)	目標値	—	—	12人	12人	10人	10人	10人
	実績値	10人	10人	14人	14人	13人	中止(0人)	

2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

(2) 子ども居場所づくり事業 (113)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
おおたけっ子らんらんカレッジの教室数	目標値	—	—	41教室	41教室	42教室	43教室	38教室
	実績値	41教室	39教室	41教室	36教室	42教室	48教室	
おおたけっ子らんらんカレッジ(企業・学校連携)の教室数	目標値	—	—	9教室	9教室	10教室	10教室	10教室
	実績値	8教室	8教室	8教室	8教室	10教室	13教室	
おおたけっ子らんらんカレッジの参加者数	目標値	—	—	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人
	実績値	1,024人	1,275人	1,333人	1,082人	1,330人	2,180人	
放課後子ども教室の数	目標値	—	—	10教室	10教室	10教室	10教室	10教室
	実績値	8教室	10教室	10教室	9教室	10教室	10教室	
放課後子ども教室の登録者数	目標値	—	—	130人	140人	150人	160人	170人
	実績値	128人	174人	166人	170人	185人	193人	

施策3 学校給食を活用した食育の推進

(1) 学校における食育の推進 (513)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
学校給食における地場産物(広島県産)の使用割合	目標値	—	—	26%	27%	28%	30%	30%
	実績値	25%	25%	25%	26%	27%	28%	

2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

(1) 子ども・子育て支援事業計画の推進(再掲) (412)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	14日	14日	14日	42日
	実績値	—	—	—				
利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	2③子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)2(1)を再掲						1カ所
	実績値							
ファミリーサポートセンター事業の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕	目標値	—	—	—	—	—	50日	25日
	実績値	—	—	—	—	—		

(2) こども医療費助成事業(再掲) (412)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
医療費助成拡充対象者の申請勧奨率	目標値	—	—	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	—	—	100%				

(3) 放課後児童クラブの運営 (412)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
放課後児童クラブにおける低学年の待機児童数	目標値	—	—	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
放課後児童クラブメールシステムの登録率	目標値	—	—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
	実績値	—	—	98.0%	98.0%	98.0%	99.6%	

3-① 良好な市域の整備



基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3-① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備

(1)小方地区のまちづくり事業 (221)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
小方地区の人口 ※ 対象地区: 立戸1~4丁目, 御幸町, 御園1・2丁目, 御園台, 小方1・2丁目, 小方ヶ丘, 晴海1・2丁目, 黒川1~3丁目, 港町 1・2丁目, 湯舟町, 三ツ石町, 阿多田, 小方町黒川	目標値	—	—	8,700人	8,750人	8,800人	9,000人	9,000人
	実績値	8,475人	8,365人	8,227人	8,061人	7,905人	7,720人	

(2)都市計画(都市計画に関する基本的な方針)の見直し (221)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
都市計画マスタープラン(見直し)の策定率	目標値	—	—	—	100%		
	実績値	—	—	—	—	59%	100%
立地適正化計画の策定率	目標値	—	—	—	—	100%	20%
	実績値	—	—	—	—	0%	0%

施策2 雨水排水対策

(1)河川保全事業 (311)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
改善事業に着手した浸水対策対象地区数(累計)	目標値	—	—	1地区	2地区	2地区	2地区	2地区
	実績値	—	—	1地区	1地区	1地区	1地区	

施策3 公共交通機関の整備促進

(1) 地域公共交通整備事業 (223)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
こいこいバスと支線交通の利用者数	目標値	—	—	108,300人	156,000人	156,000人	156,000人	153,000人
	実績値	103,822人	120,315人	153,927人	155,327人	149,749人	148,149人	
大竹・栗谷線と坂上線の利用者数 ※ 大竹・栗谷線と坂上線は、利用者が減少傾向のため、目標値は基準値より低くなっています。	目標値	—	—	26,000人	26,000人	25,500人	25,000人	22,000人
	実績値	26,935人	26,557人	25,641人	24,167人	23,230人	21,428人	

(2) 玖波駅西口駅舎維持管理事業 (223)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
玖波駅の乗車人数(1日あたり)	目標値	—	—	1,866人	1,878人	1,889人	1,900人	1,800人
	実績値	1,844人	1,845人	1,823人	1,798人	1,726人	1,700人	
玖波・黒川地域の住宅新築戸数	目標値	—	—	5戸	5戸	5戸	5戸	5戸
	実績値	5戸	20戸	19戸	11戸	23戸	20戸	

(3) 大竹駅周辺整備事業 (223)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
大竹駅の整備率 (事業費ベース)	目標値	—	—	—	—	20.2%	27.7%	35.2%
	実績値	18.8%	19.2%	19.6%	20.2%	20.2%	23.6%	
大竹駅周辺エリアの転入・転居者数(累計) 対象地区:北栄, 西栄1・2・3丁目, 東栄1・2丁目, 南栄1・2・3丁目, 立戸4丁目, 新町1・2丁目, 油見3丁目	目標値	—	—	920人 (H27-28)	1,320人 (H27-29)	1,720人 (H27-30)	2,100人 (H27-R1)	2,500人 (H27-R2)
	実績値	413人	695人	1,158人	1,623人	2,154人	2,746人	

施策4 公園・緑地の整備

(1) 都市公園整備事業 (226)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
晴海臨海公園の整備率(面積)	目標値	—	—	31.3%	33.8%	49.0%	49.0%	50.5%
	実績値 (I期工事完了時)	31.3%	31.3%	31.6%	36.4%	45.1%	49.7%	

(2) 公園緑地維持管理事業 (226)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公園施設の修繕・更新数(長寿命化計画に基づく優先順位に沿った整備)	目標値	—	—	30件	30件	30件	30件	30件
	実績値	0件	14件	25件	28件	30件	34件	

施策5 環境美化の推進

(1) 環境衛生・美化推進事業 (531)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市民花壇の設置箇所数(累計) (市民や市民団体などが管理する花壇の数)	目標値	—	—	27力所	28力所	29力所	38力所	40力所
	実績値	24力所	27力所	33力所	37力所	39力所	45力所	

施策6 環境の保全

(1) 環境保全事業 (532)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公害に関する苦情件数	目標値	—	—	33件	32件	31件	30件	25件
	実績値	35件	27件	40件	41件	22件	16件	
温室効果ガス排出量 (市の業務に関連した二酸化炭素等の排出量)	目標値	—	—	10,250t	10,150t	10,050t	9,800t	9,700t
	実績値	10,398t	9,974t	9,870t	9,828t	9,680t	8,080t	

(2) 環境学習事業 (532)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
環境学習会の参加者数(延数)	目標値	—	—	420人	1,600人	2,200人	3,800人	5,200人
	実績値	308人	668人	1,015人	2,285人	3,710人	4,847人	

施策7 交通安全対策の充実

(1)道路施設維持事業 (222)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
歩道床版改修事業における整備対象箇所 ^の 完了数 (整備対象6路線のうちH31年までに優先3路線を整備する。)	目標値	—	—	1路線	2路線	2路線	3路線	3路線
	実績値	1路線	1路線	1路線	1路線	1路線	1路線	

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

(1)連携中枢都市圏制度の活用事業 (621)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
広島広域都市圏内における他の地方公共団体との連 携協約締結状況	目標値	—	—	締結済	締結済	締結済	締結済	締結済
	実績値	未締結	締結済	締結済	締結済	締結済	締結済	

3-② 良質な住宅・宅地の供給促進

目標3-② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

(1)市営住宅整備事業 (225)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市営御園団地整備事業の進捗率	目標値	—	—	—	86.0%	95.0%	96.0%	99.6%
	実績値	0%	0%	43.8%	84.2%	95.3%	96.0%	

(2)住宅改修等補助業務 (225)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
住宅リフォーム補助事業の申請件数(年間)	目標値	—	—	50件	37件	14件	14件	15件
	実績値	24件	24件	19件	20件	14件	18件	

(3)空き家対策業務 (225)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
空き家バンク登録件数(累計)	目標値	—	—	2件	4件	5件	10件	10件
	実績値	0件	0件	0件	0件	0件	0件	

3-② 良質な住宅・宅地の供給促進

(4) 市営住宅管理事業 (225)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市営木造平屋住宅の管理戸数	目標値	—	—	238戸	233戸	228戸	223戸	190戸
	実績値	287戸	243戸	239戸	233戸	218戸	194戸	

(5) 道路施設新設, 改良事業 (222)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
狭あい道路を改善した箇所数	目標値	—	—	—	2箇所	4箇所	6箇所	2箇所
	実績値	—	—	—	—	—	—	

3-3 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

目標3-3 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

(1) 介護保険地域支援事業 (411)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
従前の訪問介護相当実施率 (従前の訪問介護相当サービス実施事業者数/訪問介護事業所数)	目標値	—	—	—	100%	100%	100%
	実績値	—	—	—	100%	100%	100%
従前の通所介護相当実施率 (従前の通所介護相当サービス実施事業者数/通所介護事業所数)	目標値	—	—	—	100%	100%	100%
	実績値	—	—	—	100%	100%	100%
地域介護予防自主グループの設置数	目標値	—	—	—	5カ所	10カ所	10カ所
	実績値	—	—	—	10カ所	17カ所	19カ所
地域ケア会議の開催件数(事例数)	目標値	—	—	3件	4件	4件	5件
	実績値	1件	2件	2件	8件	5件	9件
認知症初期集中支援チームの訪問件数	目標値	—	—	15件	20件	25件	30件
	実績値	1件	19件	17件	10件	17件	12件
緊急通報システム登録者数	目標値	—	—	340人	350人	355人	360人
	実績値	327人	323人	314人	300人	253人	229人

(2) 介護保険地域支援事業(包括的支援事業) ≪(1)に統合したため削除≫

(3) 介護保険地域支援事業(任意事業) ≪(1)に統合したため削除≫

3-③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

(4) シルバー人材センター活動促進事業 (411)

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
シルバー人材センターの会員数	目標値	—	—	505人	520人	535人	550人	550人
	実績値	499人	511人	505人	476人	493人	490人	

(5) 在宅老人対策事業 (411)

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
単位老人クラブの会員数	目標値	—	—	1,580人	1,585人	1,590人	1,600人	1,500人
	実績値	1,572人	1,414人	1,328人	1,284人	1,210人	1,220人	
単位老人クラブ数	目標値	—	—	48クラブ	48クラブ	48クラブ	48クラブ	48クラブ
	実績値	—	48クラブ	43クラブ	43クラブ	43クラブ	44クラブ	
敬老会の開催数	目標値	—	—	—	—	23カ所	23カ所	23カ所
	実績値	—	—	—	17カ所	25カ所	25カ所	
老人集会所設置数	目標値	—	—	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所
	実績値	—	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	40カ所	

3-3 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策2 地域福祉の推進

(1) 地域福祉事業 (415)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
民生委員・児童委員定数	目標値	—	—	68人	68人	68人	68人
	実績値	67人	67人	68人	68人	68人	68人
地域福祉活動支援員(協力員)の数	目標値	—	—	—	—	10人	20人
	実績値	—	—	—	—	0人	0人
地域福祉支援システム情報の蓄積件数	目標値	—	—	1,400件	1,600件	1,800件	2,000件
	実績値	1,259件	1,300件	1,247件	1,960件	2,573件	2,530件

(2) 地域福祉担い手育成事業 (415)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域福祉担い手育成講座の開講数	目標値	—	—	—	3回	3回	3回
	実績値	—	—	—	3回	5回	7回
地域福祉担い手育成事業の支援が決定した団体数 (累計)	目標値	—	—	2団体	4団体	6団体	8団体
	実績値	—	—	2団体	4団体	6団体	12団体

(3) 地域福祉推進のための連携事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

目標3-④ 地域力の向上

施策1 地域安全対策の充実

(1)地域安全対策事業 (312)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
青色回転灯パトロール実施車の登録車両台数	目標値	—	—	17台	18台	9台	10台	11台
	実績値	8台	8台	8台	8台	9台	13台	
青色回転灯パトロール実施者証保持者数	目標値	—	—	325人	350人	250人	260人	270人
	実績値	216人	219人	230人	193人	269人	308人	

施策2 消防力の強化

(1)消防団の強化 (322)

指 標	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
消防団の資機材の更新計画達成率	目標値	—	—	80%	85%	87%	92%	95%
	実績値	75%	75%	79%	88%	92%	95%	
消防団員の教育・研修受講率	目標値	—	—	25%	28%	30%	33%	34%
	実績値	—	21%	38%	26%	30%	31%	
消防団員の訓練参加者数(延数)	目標値	—	—	1,300人	1,400人	1,500人	1,500人	1,500人
	実績値	—	1,154人	1,341人	1,240人	1,255人	1,074人	

施策3 災害・危機に強いまちづくり

(1)防災体制整備事業 (324)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
食糧・日用品・避難場所等災害時の応援協定を締結している民間事業者数(累計)	目標値	—	—	6事業者	7事業者	8事業者	9事業者	15事業者
	実績値	—	5事業者	6事業者	6事業者	10事業者	11事業者	
防災情報メールシステムの登録者数(累計)	目標値	—	—	2,500人	4,000人	5,500人	7,000人	7,000人
	実績値	—	1,400人	1,800人	2,300人	2,829人	3,144人	
自主防災組織の加入率	目標値	—	—	65%	70%	75%	80%	80%
	実績値	62%	62%	62%	62%	63%	72%	
要支援者を支援する人の割合	目標値	—	—	65%	70%	75%	80%	80%
	実績値	50%	50%	50%	50%	50%	50%	
市と地域の連携による防災訓練・防災学習会・防災講演会等の実施件数	目標値	—	—	1件	2件	5件	5件	5件
	実績値	—	1件	1件	5件	9件	9件	

(2) 自主防災組織の育成指導事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

(3) 避難行動要支援者支援事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

(4) 災害時の相互応援(給水) (324)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
災害訓練の実施回数	目標値	—	—	4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回	4回	2回	3回	

施策4 救急・救助体制の充実

(1) 救急・救助体制の充実 (323)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
普通救命講習修了証の保有率(対人口比)	目標値	—	—	9.3%	10.2%	11.1%	12.0%	12.9%
	実績値	7.5%	8.2%	8.3%	9.0%	10.2%	11.2%	
救急車への救急救命士の乗車率	目標値	—	—	99%	100%	100%	100%	100%
	実績値	97%	97%	97%	97.0%	97.6%	97.5%	

施策5 医療体制の充実

(1) 医療体制整備事業 (422)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
救急医療体制に関する年間周知回数 (広報紙など)	目標値	—	—	13回	14回	14回	14回	14回
	実績値	13回	13回	13回	13回	13回	13回	
休日診療所の数	目標値	—	—	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所
	実績値	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所	1力所	
広島西二次保健医療圏域で、二次及び三次救急医療を担う医療機関数 ※ 広島西二次保健医療圏域(大竹市・廿日市市)	目標値	—	—	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所
	実績値	—	2力所	2力所	2力所	2力所	2力所	
休日在宅当番医制を行う診療科目の数	目標値	—	—	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目
	実績値	—	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目	

3-4 地域力の向上

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
へき地診療所の数	目標値	—	—	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所
	実績値	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	

(2)へき地医療体制 <<(1)へ統合のため【H28削除】>>

施策6 地域活動の促進

(1)地域活動の促進 (611)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
集会所建設等補助金を活用して改修などをした自治会の数(累計)	目標値	—	—	8自治会 (H25-28)	10自治会 (H25-29)	12自治会 (H25-30)	14自治会 (H25-R1)	22自治会 (H25-R2)
	実績値	2自治会 (H25-26)	6自治会 (H25-27)	8自治会 (H25-28)	8自治会 (H25-29)	19自治会 (H25-30)	21自治会 (H25-R1)	

(2)コミュニティ活動の支援 (611)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
宝くじ助成事業で備品等を整備したコミュニティ団体数(累計)	目標値	—	—	10団体 (H23-28)	12団体 (H23-29)	14団体 (H23-30)	16団体 (H23-R1)	16団体 (H23-R2)
	実績値	6団体 (H23-26)	8団体 (H23-27)	9団体 (H23-28)	10団体 (H23-29)	12団体 (H23-30)	14団体 (H23-R1)	

施策7 市民主体のまちづくりの推進

(1) 協働のまちづくり推進事業 (612)

指 標		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
新規に発足した団体数(累計) (スタート支援助成金の交付を受けた団体の累計数)	目標値	—	—	19団体 (H19-28)	21団体 (H19-29)	23団体 (H19-30)	26団体 (H19-R1)	30団体 (H19-R2)
	実績値	16団体 (H19-26)	17団体 (H19-27)	20団体 (H19-28)	25団体 (H19-29)	25団体 (H19-30)	29団体 (H19-R1)	
市民活動助成金の交付を受けた団体を対象とした情報交換会の開催数(累計)	目標値	—	—	1回	1回 (H28-29)	2回 (H28-H30)	2回 (H28-R1)	2回 (H28-R2)
	実績値	—	—	1回 (H28)	1回 (H28-29)	2回 (H28-30)	2回 (H28-R1)	

(2) 協働のまちづくり推進事業 <<(1)に統合のため削除>>

目標3-⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

(1)健康づくり推進事業 (421)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
「生活習慣の改善に取り組んだり, 健康診断や健康づくりに参加したりするなど, 自分の健康管理に日頃から気を付けている」と回答した人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕	目標値	—	—	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
	実績値	78.0%	66.4%	67.5%	70.1%	73.2%	73.5%
健康相談件数【R1追加】	目標値	—	—	—	—	1,200人	1,200人
	実績値				1,145人	1,062人	1,118人
健康増進教室(女子力UP講座)の参加人数(延べ人数)【R1追加】	目標値	—	—	—	—	600人	450人
	実績値				410人	328人	375人
節目歯科健診の受診率 ※ 受診率は, 40歳から70歳までの10歳刻みに達した方を対象とした受診者により算出	目標値	—	—	—	—	15.0%	20.0%
	実績値	—	—	—	—	16.2%	16.7%
胃がん検診の受診率 ※ 受診率は, H28年度までは40から69歳, H29年度より50から69歳までの受診者により算出 ※ H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%
	実績値	9.8%	4.1%	6.5%	5.9%	9.4%	9.0% (速報値)
肺がん検診の受診率 ※ 受診率は, 40から69歳までの受診者により算出 ※ H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	8.0%	10.0%	15.0%	20.0%
	実績値	14.8%	6.5%	5.6%	6.2%	14.5%	15.3% (速報値)
大腸がん検診の受診率 ※ 受診率は, 40から69歳までの受診者により算出 ※ H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	15.0%	20.0%	30.0%	40.0%
	実績値	31.6%	11.9%	11.3%	11.9%	26.9%	26.1% (速報値)

3-⑤ 健康づくりの推進

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
乳がん検診の受診率 ※ 受診率は、40から69歳までの受診者により算出 ※ H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	40.0%
	実績値	35.9%	19.0%	18.4%	17.1%	26.3%	25.9% (速報値)	
子宮頸がん検診の受診率 ※ 受診率は、20から69歳までの受診者により算出 ※ H30年度より国保被保険者の受診率	目標値	—	—	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	40.0%
	実績値	36.1%	20.3%	19.6%	18.9%	23.9%	23.3% (速報値)	
特定健康診査の受診者数	目標値	—	—	1,850人	2,250人	2,250人	2,250人	2,250人
	実績値	—	1,454人	1,731人	1,721人	1,701人	1,595人	
特定保健指導の実施率	目標値	—	—	54.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績値	31.3%	57.4%	20.9%	51.9%	37.0%	43.2% (利用率)	

(2) 特定健康診査等事業, 健康づくり事業 <<(1)に統合のため【H28削除】>>

施策2 食育の推進

(1) 食育推進事業 (513)

指 標		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
広報紙への掲載回数	目標値	—	—	1回	3回	3回	3回	3回
	実績値	0回	3回	2回	2回	2回	3回	
離乳食講座(もぐぱくひろば)の参加組数	目標値	—	—	85組	90組	95組	100組	100組
	実績値	—	72組	81組	60組	64組	74組	

3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

目標3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

(1) 社会教育推進事業 (114)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
地域の課題などの解決を目的とした講座数	目標値	—	—	8講座	9講座	10講座	10講座	12講座
	実績値	7講座	9講座	13講座	13講座	16講座	13講座	
公民館等で開催する講座数 (社会教育・生涯学習に関する講座)	目標値	—	—	100講座	100講座	100講座	100講座	85講座
	実績値	101講座	100講座	103講座	83講座	102講座	95講座	

施策2 生涯学習の充実

(1) 生涯学習推進事業 (511)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
公民館まつり・総合市民会館まつりの展示・発表グループ数	目標値	—	—	120グループ	120グループ	120グループ	120グループ	120グループ
	実績値	140グループ	126グループ	116グループ	118グループ	123グループ	33グループ	
市民1人あたりの図書貸出冊数	目標値	—	—	4.9冊	4.9冊	5.0冊	5.0冊	5.0冊
	実績値	4.9冊	4.4冊	4.6冊	4.5冊	4.4冊	4.3冊	

3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策3 スポーツの推進

(1) スポーツ推進事業 (512)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
スポーツ教室への子どもの参加者数(延数)	目標値	—	—	190人	230人	260人	300人	300人
	実績値	119人	203人	205人	239人	345人	455人	
市民参加型のニュースポーツ大会の開催数	目標値	—	—	3件	3件	3件	4件	4件
	実績値	3件	3件	3件	3件	3件	3件	
スポーツ推進委員の人数	目標値	—	—	19人	19人	20人	20人	20人
	実績値	18人	18人	20人	20人	19人	19人	

(2) スポーツ推進委員育成事業 ≪(1)に統合のため【H28削除】≫

施策4 芸術・文化活動の推進

(1) 文化祭等開催事業 (522)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
市文化祭の来場者数	目標値	—	—	3,200人	3,300人	3,400人	3,500人	3,500人
	実績値	3,316人	3,069人	2,426人	3,385人	3,146人	3,439人	

3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる. 3-⑦ 情報発信力の向上

(2)文化財保存・継承事業 (521)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
手すき和紙ボランティア活動への延べ参加者数	目標値	—	—	—	290人	300人	300人
	実績値	203人	356人	267人	445人	334人	443人

目標3-⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

(1)市政広報事業・観光事業 (215,623)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
情報発信回数 (特に、定住促進・子育て支援・観光資源等に関するもの)	目標値	—	—	12回	12回	12回	12回
	実績値	—	10回	12回	12回	12回	12回

(2)情報公開促進事業(市議会) (623)

指 標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
ケーブルテレビ・ホームページで発信する本会議・委員会の情報	目標値	—	—	5	6	7	7
	実績値	3	3	5	7	7	7

問い合わせ先

大竹市総務部企画財政課企画係

電 話 : 0827 (59) 2125

F A X : 0827 (57) 7130

E- m a i l : kikaku@city.otake.hiroshima.jp